

浦和競馬場設備棟弱電設備工事

- A-1000 建築 図
- S-2000 建築構造 図
- E-3000 電気設備 図
- M-4000 空気調和設備 図
- P-5000 給排水衛生設備 図
- L-6000 外構 図

2022年 4月



図面番号	図面内容	縮尺	図面番号	図面内容	縮尺	図面番号	図面内容	縮尺	図面番号	図面内容	縮尺
E-3201	図面リスト	NO SCALE	E-3249	非常放送・競馬実況放送設備 既設1号開催本部棟 ビット平面図	1/100						
E-3202	工事概要書	NO SCALE	E-3250	非常放送・競馬実況放送設備 既設1号開催本部棟 1・2階平面図	1/100						
E-3203	共通特記仕様書	NO SCALE	E-3251	非常放送・競馬実況放送設備 既設1号開催本部棟 3・R階平面図	1/100						
E-3204	特記仕様書 (2)	NO SCALE									
E-3205	特記仕様書 (3)	NO SCALE	E-3261	自動火災報知設備 凡例・注記・系統図	NO SCALE						
E-3206	特記仕様書 (4)	NO SCALE	E-3262	自動火災報知設備 1階平面図	1/100						
E-3207	特記仕様書 (5)	NO SCALE	E-3263	自動火災報知設備 2階平面図	1/100						
E-3208	特記仕様書 (6)	NO SCALE									
E-3209	特記仕様書 (7)	NO SCALE									
			E-3271	保守員・MDF室 詳細図	1/50						
E-3211	構内通信線路図	1/500	E-3272	既設組合事務所 平面図	1/100						
E-3212	構内通信線一覧表 (1)	NO SCALE									
E-3213	構内通信線一覧表 (2)	NO SCALE	E-3281	昇降機設備詳細図-1 (仕様書)	NO SCALE						
			E-3282	昇降機設備詳細図-2 (EV1)	1/50						
			E-3291	参考 別途インフラ 弱電設備 系統図	NO SCALE						
E-3221	構内交換設備 仕様書	NO SCALE									
E-3222	構内交換設備 系統図・端子盤表	NO SCALE									
E-3223	構内情報通信網設備 系統図	NO SCALE									
E-3224	誘導支援・入退室管理設備 系統図・機器姿図	NO SCALE									
E-3225	入退室管理設備 システム図・機器姿図	NO SCALE									
E-3226	テレビ共同受信・競馬中継用テレビ設備 系統図	NO SCALE									
E-3227	自動制御・警報設備 系統図	NO SCALE									
E-3228	弱電設備 ビット平面図	1/100									
E-3229	弱電設備 1階平面図	1/100									
E-3230	弱電設備 2階平面図	1/100									
E-3231	弱電設備 屋根伏図	1/100									
E-3232	弱電設備 既設3号スタンド 地階平面図	1/150									
E-3233	弱電設備 既設2号スタンド 地階平面図	1/100									
E-3234	弱電設備 既設発走員詰所 平面図	1/100									
E-3235	自動制御・警報設備 既設キュービクル棟 平面図	1/100									
E-3241	非常放送設備 システム図・機器姿図	NO SCALE									
E-3242	競馬実況放送設備 システム図	NO SCALE									
E-3243	競馬実況放送設備 機器姿図	NO SCALE									
E-3244	非常放送・競馬実況放送設備 系統図	NO SCALE									
E-3245	非常放送・競馬実況放送設備 ビット平面図	1/100									
E-3246	非常放送・競馬実況放送設備 1階平面図	1/100									
E-3247	非常放送・競馬実況放送設備 2階平面図	1/100									

1. 建築概要

工事名称	浦和競馬場設備棟弱電設備工事	敷地面積	(申請部分) 147,658.78 m ²	(申請部分当該建物以外) 391.46 m ²	(申請以外の部分) 9,591.15 m ²	(合計) 10,490.48 m ²
工事場所	埼玉県さいたま市南区大谷場一丁目8番42号	建築面積	507.87 m ²	391.46 m ²	9,591.15 m ²	10,490.48 m ²
建築主住所氏名	埼玉県さいたま市南区大谷場一丁目8番42号 埼玉県浦和競馬組合	建ぺい率	7.11 %			
都市計画区域及び準都市計画区域の内外の別等	○さいたま都市計画区域内 (○市街化区域 ・ 市街化調整区域 ・ 区域区分非設定)	延べ面積(建築物全体)	994.85 m ²	493.19 m ²	20,474.17 m ²	21,962.21 m ²
用途地域	・ 準都市計画区域内 ・ 都市計画区域及び準都市計画区域外	地階の住宅の部分	- m ²	- m ²	- m ²	- m ²
	・ 第*種低層住居専用 ・ 第*種中高層住居専用	共同住宅の共用の廊下等の部分	- m ²	- m ²	- m ²	- m ²
防火地域	○ 第1種住居 ・ 準住居 ・ 近隣商業 ・ 商業	昇降路の部分	11.30 m ²		61.99 m ²	73.29 m ²
	・ 準工業 ・ 工業 ・ 工業専用 ○ 無指定	自動車庫庫等の部分	- m ²		134.58 m ²	134.58 m ²
法定容積率	200 %	住宅の部分	- m ²	- m ²	- m ²	- m ²
法定建ぺい率	60 %	延べ面積(容積対象)	21,754.34 m ²	(申請部分983.55m ² , 申請部分当該建築以外: 493.19m ²)		(申請以外の部分: 20,277.60m ²)
その他の区域、地域、地区又は街区	第1種住居エリア: 高度地区(20m)、景観誘導区域、下水道処理区域	容積率	14.74 %			
法的な技術対応	無指定エリア(過半): 都市計画公園(浦和記念公園)、景観誘導区域、下水道処理区域	区域駐車台数	0 台	711 台	711 台	
主要用途	事務所	建築物の数	申請に係る建築物の数 5		同一敷地内の他の建築物の数 50	
工事種別	・ 新築 ○ 増築 ・ 改築 ・ 移転	最高の高さ	10.01 m (平均地盤面より)			
	・ 用途変更 ・ 大規模の修繕 ・ 大規模の模様替え	最高の軒の高さ	8.86 m (平均地盤面より)			
主体構造	○ S造 ・ SRC造 ・ RC造 ・ W造	平均地盤面の高さ	TP+11.54 m			
		設計地盤面	TP+11.40 m (設計GLの高さ)			
階数	地上2階	基準階	階高	- m	天井高	- m
耐火・準耐火建築物	○ 耐火建築物 ・ 準耐火建築物 ・ その他	面積	- m ²			
防火対象物の用途区分		主なスパン	5.5×6.7 m			
基礎地業	杭基礎	基礎下端	1FL-2.16 m			
主たる外部仕上		その他	・ 客室数	- 室	・ ベッド数	- 床
			・ 住戸数	- 戸	・ 収容人数	- 人
工事着手予定年月日		特例の適用の有無	建築基準法第56条第7項の規定による特例の適用の有無 ・ 有 ○ 無			
工事完了予定年月日	令和 4年 10月31日	特例の区分	適用があるときは、特例の区分 ・ 道路高さ制限不適用 ・ 隣地高さ制限不適用 ・ 北側高さ制限不適用			
		許可・認定等				

2. 電気設備概要

電力	引込	本線予備線受電(架空引込)方式	2 回線	6.6 KV
電源設備	変圧器	7 台	1650 KVA	
	発電機	台	V	KVA
	蓄電池	1.76V/セル	95 V	組
	C V C F	台	V	KVA
幹線	照明	単相	3 線式	210/105 V
	動力	三相	3 線式	210 V
負荷	設備容量	144.325 KW		
	基準部照明	500 Lux	光源種別	LED
監視制御	その他			
	方式	○ 集中 ・ 個別 ・ 遠方 ・ 手元		
電話	引込	100 回線		
	中継方式			
	内線容量	100 回線	回線	回線
防災	発電機	台	V	KVA
	蓄電池	セル	V	組
	火災報知機	回線		
	非常照明	・ 電池別置 ○ 電池内蔵 ・ 発電機直入		
	非常放送	W ・ 専用 ・ 兼用		

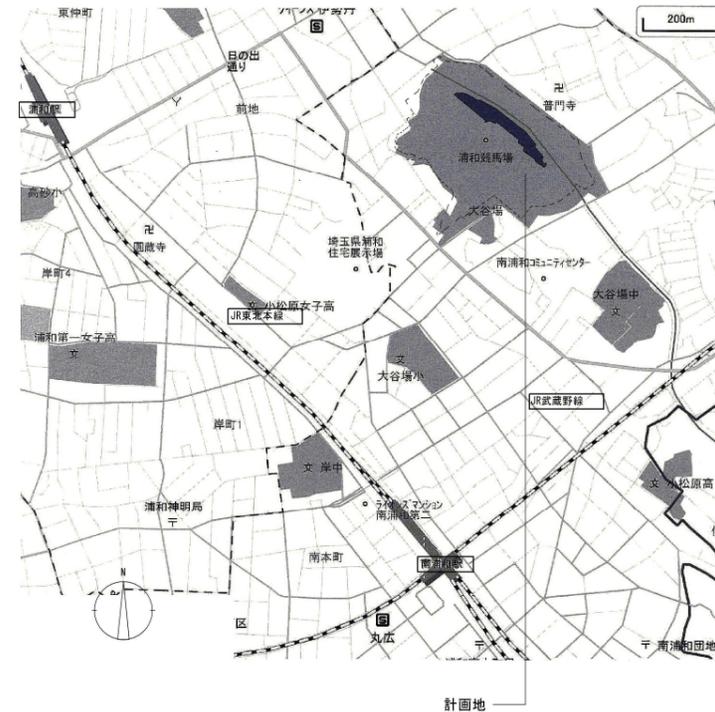
3. 空調設備概要

熱源	エネルギー	・ 重油 ・ 灯油 ・ ガス ○ 電気 ・ DHC(・ 高温水 ・ 蒸気 ・ 冷水) ・ 太陽熱
	装置	冷凍機(・ ターボ 台、 ・ レシプロ式 台、 ・ 吸収式 台、 ・ スクリュー 台) ・ 直燃冷水機 台、 ・ ボイラー 台、 ・ 蓄熱槽 m ³ 、 ・ コレクター m ³ ○ 空冷式パッケージ型空調機 (EHP)
空調方式	総容量	冷熱源 225.1 KW 温熱源 73.6 KW
	インテリア	・ 中央式 ○ 個別式 空冷パッケージ方式 (EHP)
制御	ペリメーター	・ 中央式 ・ 個別式 空冷パッケージ方式 (EHP)
	空調	・ 電気式 ・ 空気式 ○ 電子式
換気	防煙ダンパー	・ 電気式 ・ 空気式
	方式	・ 中央式 (・ 1種 ・ 2種 ・ 3種) ○ 個別式 (○ 1種 ・ 2種 ○ 3種)
排煙	方式	○ 自然排煙方式 ・ 機械排煙方式
	制御	・ 電気式 ・ 空気式

4. 給排水衛生設備概要

給水	水源	○ 上水 ・ 雑用水	引込口径 100 mm	○ 直結給水 ・ ポンプ圧送 ・ 重力給水
	受水槽	上水 m ³ × 基		・ 雑用水 m ³ × 基 (ビット利用)
給湯	高置水槽	上水 m ³ × 基		・ 雑用水 m ³ × 基
	・ 中央式	熱源 (・ 重油 ・ 灯油 ・ ガス ・ 電気 ・ 蒸気 ・ ソーラー)、貯湯槽 (m ³ × 基)		
排水	○ 個別式	熱源 (・ 重油 ・ 灯油 ・ ガス ○ 電気 ・ 蒸気 ・ ソーラー)、○ 貯湯式 ○ 瞬間式 ・ 循環式		
	屋内排水	○ 合流 (○ 地上階 ・ 地下階)、 ・ 分流 (・ 地上階 ・ 地下階)、 ・ 再利用装置 (・ 有 ・ 無)		
ガス	屋外排水	○ 下水道放流 (○ 汚水 ・ 雑用水 ○ 雨水)、 ・ 浄化槽 ()		
	・ 都市ガス	引込口径 (中圧 mm) (低圧 mm)、 発熱量 ()		
消火	・ プロパン	kg ポンベ 本立 組		
	・ 屋内消火栓 ・ 屋外消火栓 ・ 連結送水管 ・ 連結散水 ・ スプリンクラー消火 ・ 粉末消火 ・ 泡消火			
	・ ハロゲン化物消火 ・ 炭酸ガス消火 ・ 消防用水 (m ³) ・ 消防水利 (m ³) ○ 不活性ガス消火 (将来対応)			

付近見取図



(表-1)					
居室の床面積 A (㎡)	A ≦ 50	50 < A ≦ 200	200 < A ≦ 500	500 < A	
測定箇所	1	2	3	4	
造作家具のスクリーニング ※ 行う					
測定者 ※ 発注者の承認する第三者機関(環境計量証明事業登録を受けている機関)					
・ 各自自治体の指定する方法による。					
●1.5.4 (取換) 設計図書に定められた工法以外で、所定の品質および性能の確保が可能な工法の提案がある場合は、受注者の責任において計画・立案し、監理者と協議する。					

1.6節 完成、検査	
●1.6.1 (付加) 完成検査 (第1編1.6.1)	<p>工事検査</p> <p>(1) 受注者は社内組織としての受検体制をとる。</p> <p>(2) 検査の結果、不適合箇所はすべて記録し、監理者とその手直し方法を検討して発注者に報告し、是正の後、完了を発注者及び監理者に報告し、発注者及び監理者の検査を受ける。</p>
●1.6.2 (付加) 法定検査 (第1編1.6.2)	<p>(1) ※ 有 (※関係法令の定めによる検査等) ・ 無</p> <p>(2) 法定検査に必要な機材、労務等を提供する。</p>
●1.6.3 (付加) その他の検査 (第1編1.6.2)	<p>(1) ※ 有 ※発注者検査 ※監理者検査</p> <p>(2) 法定検査に必要な機材、労務等を提供する。</p>
●1.6.4 (付加) 技術検査 (第1編1.6.2)	<p>(1) 監理者による技術検査は、1.6.1の工事検査に先立って行う。</p> <p>(ア) 監理者又は設計者もしくは請日本設計関係者による中間技術検査の実施回数 ※ 2回 ・ 1回</p> <p>(2) 技術検査は、通知された検査日に検査を受ける。</p> <p>(3) 技術検査に必要な当該検査部分の完成図、資機材及び労務等を提供する。</p> <p>(4) 受注者は、社内組織としての受検体制をとる。</p> <p>(5) 受注者は、工事を完了して完成検査を受ける前に自主検査を行い、工事的目的が完成後に十分に機能することを確認して、その結果を記録し、技術検査時に提出する。</p> <p>(ア) 受注者は、契約内容の履行を保证するために、現場組織とは別個の自主検査組織を編成する。</p> <p>(イ) 自主検査組織は、当該工事の施工担当組織と対等以上の権限を持つ複数の技術者より構成する。</p> <p>(ウ) 着工後すみやかに、工事請負契約書および設計図書等の内容を十分理解したうえで、工事的物の品質を確認するために必要な自主検査計画書を作成し、発注者及び監理者に提出する。</p> <p>(エ) 自主検査計画に基づき検査を行い、工事的目的が工事契約書および設計図書に示した品質が確保されているかどうかを確認し、その内容と結果を記録して監理者に報告する。</p> <p>(オ) 自主検査を行う時期は、工事請負代金の中間払いを受ける前、中間技術検査の受検前および完成検査の受検前、およびその他適時とする。</p> <p>(6) 検査の結果、不適合箇所はすべて記録し、その処理方法、処理予定時期などを記載して発注者及び監理者に提出し、監理者の確認内容に従って改修し、引渡しの手続きを行う。</p> <p>(7) 技術検査及び中間技術検査での指摘事項は、すべて記録して、指摘事項の改善方法、今後の対策などを盛り込んだ技術検査及び中間技術検査報告書を作成し、指摘状況および改善状況を写した写真を添えて発注者及び監理者に提出する。</p>

●1.6.5 (付加) 部分使用 (第1編1.6.5)	<p>部分使用</p> <p>○ 無</p> <p>・ 有 (部位: ※ 図示)</p> <p>部分引渡し</p> <p>○ 無</p> <p>・ 有 (部位: ※ 図示)</p> <p>発注者からの部分使用 (部分引渡し) の要望があった場合には、受注者は当該部分につき発注者及び監理者の技術的審査を受ける。部分使用 (部分引渡し) につき法令にもとめて必要となる手続きについては、設計図書等の定めによるが、その場合、受注者は発注者が必要とする技術的事項に協力する。</p>
●1.6.6 (付加) 引渡し (第1編1.6.6)	<p>受注者は、工事契約に基づいて、所定の期限内に完成時提出図書および備品予備品等添えて、発注者に工事的物を引き渡す。</p>
●1.6.7 (付加) 鍵の整理、提出 (第1編1.6.7)	<p>(1) 各所の鍵は、鍵合わせを行う。</p> <p>(2) 鍵は整理札を付けて、鍵具配置図ならびに鍵目録と共に鍵箱に収納して提出することを原則とし、受注者の準備に必要な時期までに発注者の指示を受ける。</p> <p>(3) 鍵数はマスターキーを含め、それぞれ3本を原則とする。</p> <p>(4) 鍵箱には鍵具に限らず、設備関係、操作ボックス関係の鍵類を合わせて収納する。収納場所、管理方法については、受注者が必要とする時期までに発注者の指示を受ける。</p>
●1.6.8 (付加) 契約不適合責任 (第1編1.6.8)	<p>(1) 契約不適合責任期間は工事請負契約もしくは民法の定めによる。</p> <p>(2) 受注者は、工期中・引渡し後を問わず、不具合が発見された場合には、受注者は速やかに適切な処置 (緊急性による) を施すと共に原因を調整し不具合調査報告書としてまとめ発注者に説明の上、提出すること。当該不具合が、受注者に起因する場合は工事請負契約に基づき当該不具合を修補するとともに、発注者等に与えた損害を賠償することとする。</p> <p>(3) 契約不適合が関連別途工事との境界分野で発生した場合には、その契約不適合に対する責任は当該別途工事受注者と共同責任とする。費用の分担については関連受注者間で協議する。</p>
●1.6.9 (付加) 保証書の提出 (第1編1.6.9)	<p>受注者は、工事契約に基づいて、所定の期限内に保証書を提出する。必要となる保証書の項目は、監理者と協議する。</p>
●1.6.10 (付加) 完成後の年次点検 (第1編1.6.10)	<p>(1) 本工事完成引渡し後、以下の検査を行う。</p> <p>※ 1年点検 ・ 年次点検</p> <p>(2) 点検は、あらかじめ当該年次点検までの間に発注者からの指摘を受けた事項 (解決・未決総括一覧表) を含めて、発注者及び監理者の立会いのもとで現状について、点検、確認を行う。</p> <p>(3) 年次点検に必要な当該検査部分の完成図、資機材及び労務等を提供すること</p> <p>(4) 上記の点検で確認された不具合のうち、受注者の契約不適合であることが明らかなもの、工事約款に基づき無償で処置を行う。</p> <p>(5) 完成引渡し後でなければいけない点検等で、発注者又は監理者の指示する事項については、実測及び調査を行い、発注者及び監理者に報告する。</p>

●1.6.11 (付加) 竣工後のエネルギー調査等 (第1編1.6.11)	<p>(6) ここに定める年次点検以外の点検を完成後に行った場合は、その報告書を発注者及び監理者に提出すること。</p> <p>(1) 竣工引渡し後、設備システムが要求通りの性能・動作の確認ができてから1年間の運転実績について、下記の項目の実績を整理・考察の上、報告することを</p> <p>※ 行う ・ 行わない</p> <p>(2) 運転実績調査項目</p> <p>※ 年間1次エネルギー消費量及びCO₂発生量</p> <p>※ 年間電力消費量と内訳</p> <p>※ 年間ガス消費量と内訳</p> <p>・ 年間油消費量と内訳</p> <p>・ 年間給水量と内訳</p> <p>・ その他 ()</p> <p>・ 新技術導入の効果 ()</p>
---------------------------------------	--

1.7節 共通工事																						
●1.7.1 (付加) 仮設工事 (第1編2.1.1)	<p>(1) 足場・さん橋類</p> <p>※別契約の関係受注者が設置したものは、無償で使用できる。</p> <p>・ 本工事で設置する。</p> <p>(2) 監理者事務所</p> <p>※設ける ・ 設けない</p> <p>(ア) 監理者事務所の規模</p> <p>種別 (面積) ・ 1号 (10㎡程度) ・ 2号 (20㎡程度) ・ 3号 (35㎡程度)</p> <p>・ 4号 (65㎡程度) ・ 5号 (100㎡程度) ・ 他 (程度)</p> <p>(イ) 監理者事務所の仕上げ</p> <p>床: ビニル床シート張り又はタイルカーペット敷き程度以上</p> <p>内壁、天井: せつこうボード張りの上、合成樹脂エマルジョンペイント塗り程度以上</p> <p>注) 監理者事務所を敷地内外の借室を利用する場合も同規模・同仕上げ程度とする。</p> <p>(3) 監理者事務所の設備・備品は監理者と協議するものとして下記を原則とする。</p> <p>また、監理者事務所のレイアウトを提出し、監理者の承認を受ける。</p> <p>(ア) 監理者事務所は施設可能とし、3号以上は原則、専用区画とする。仕上げは上記程度とする。</p> <p>(イ) 電気、給排水、衛生、冷暖房の設備を設ける。</p> <p>(ウ) 什器、備品は下記による。</p> <p>机、椅子、書棚、見本棚、白板、図面かけ、ロッカー、掛け時計、消火器、ゴミ長靴、雨がっぱ、安全ベルト、懐中電灯、電話</p> <p>(エ) 情報関連機器仕様等については最終資材1「監理者用情報環境整備」による。</p> <p>(オ) これらの諸設備を含む監理者事務所の維持管理および工事監理に必要な備品 (監理関係図書を含む) の費用は工事費に含まれるものとする。</p> <p>(カ) 事務補助員について (※ 配員しない ・ 配員する)</p> <p>(キ) 情報関連機器 (a) 機器仕様</p> <p>1) PC</p> <p>■デスクトップタイプPC (標準タイプ)</p> <p>数量 () 台</p> <p>2) ソフトウェア</p> <p>■標準ソフトウェア</p> <table border="1"> <tr> <td>MS-Office</td> <td>Intel Core i7-4790 (3.60GHz)相当以上</td> </tr> <tr> <td>ウイルス対策ソフト</td> <td>必ずインストールすること。</td> </tr> <tr> <td>製品選択、パターンファイル更新</td> <td>は施工者に一任。</td> </tr> </table> <p>PDFビューア</p> <table border="1"> <tr> <td>Adobe Reader</td> <td>OSおよびアプリケーション等の各ソフトウェアはメーカーによるサポート対象のバージョンとし、セキュリティパッチ等を適切に更新すること</td> </tr> </table> <p>その他</p> <p>■追加ソフトウェア</p> <p>標準ソフトウェアに加え、以下の種類、本数のソフトウェアを協議の上PCにインストールする。</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>本数 () 本</td> </tr> <tr> <td></td> <td>本数 () 本</td> </tr> </table> <p>その他</p> <table border="1"> <tr> <td>監理者が必要なソフトウェアを追加インストールする必要がある場合、PCの管理者の権限を監理者に与えるか、もしくは監理者からの要請の都度、対応するものとする。</td> </tr> </table> <p>3) 出力機器</p> <table border="1"> <tr> <td>数量 () 台</td> </tr> <tr> <td>複合機 (A3カラー)</td> <td>スキヤナー、コピー、プリントの機能を有していること。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>A3用、A4用の2以上のトレイを有していること。</td> </tr> </table> <p>4) その他</p> <table border="1"> <tr> <td>デジタルカメラ () 台</td> </tr> <tr> <td>外付けモニター () 台</td> <td>液晶ディスプレイFHD以上、24インチ以上</td> </tr> </table>	MS-Office	Intel Core i7-4790 (3.60GHz)相当以上	ウイルス対策ソフト	必ずインストールすること。	製品選択、パターンファイル更新	は施工者に一任。	Adobe Reader	OSおよびアプリケーション等の各ソフトウェアはメーカーによるサポート対象のバージョンとし、セキュリティパッチ等を適切に更新すること		本数 () 本		本数 () 本	監理者が必要なソフトウェアを追加インストールする必要がある場合、PCの管理者の権限を監理者に与えるか、もしくは監理者からの要請の都度、対応するものとする。	数量 () 台	複合機 (A3カラー)	スキヤナー、コピー、プリントの機能を有していること。		A3用、A4用の2以上のトレイを有していること。	デジタルカメラ () 台	外付けモニター () 台	液晶ディスプレイFHD以上、24インチ以上
MS-Office	Intel Core i7-4790 (3.60GHz)相当以上																					
ウイルス対策ソフト	必ずインストールすること。																					
製品選択、パターンファイル更新	は施工者に一任。																					
Adobe Reader	OSおよびアプリケーション等の各ソフトウェアはメーカーによるサポート対象のバージョンとし、セキュリティパッチ等を適切に更新すること																					
	本数 () 本																					
	本数 () 本																					
監理者が必要なソフトウェアを追加インストールする必要がある場合、PCの管理者の権限を監理者に与えるか、もしくは監理者からの要請の都度、対応するものとする。																						
数量 () 台																						
複合機 (A3カラー)	スキヤナー、コピー、プリントの機能を有していること。																					
	A3用、A4用の2以上のトレイを有していること。																					
デジタルカメラ () 台																						
外付けモニター () 台	液晶ディスプレイFHD以上、24インチ以上																					
●1.7.2 (付加) 土工事 (第1編2.2.1)	<p>(1) 埋め戻し土・盛土</p> <p>・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種</p> <p>含有物質に適合したもののみとする。</p> <p>・ 搬入土の場合は土壌汚染対策法の特定有害物質について調査を行ない、同法に定める</p> <p>(2) 建設発生土の処理</p> <p>・ 現場説明書による</p> <p>※構外搬出適切処理</p> <p>・ 構内指示の場所にたい積 ・ 構内指示の場所に敷きならし</p> <p>(3) 事前調査</p> <p>・ 地盤 ・ 地下水 ※既存構築物</p> <p>※埋設物 ※近隣の状況</p> <p>(4) 根切り</p> <p>※りの面の崩壊防止 ※りの面の荷重、振動防止、のり面養生</p> <p>※ひび割れの観察、地表面の移動測定</p> <p>(5) 排水 (遮水)</p> <p>※流入水の排水、遮水 ※排水による有害な影響防止 ・ 地盤改良</p> <p>(1) 構造特記仕様書による</p> <p>○1.7.3 地業工事 (第1編2.3.1)</p> <p>○1.7.4 コンクリート工事 (第1編2.4.1)</p> <p>○1.7.5 左官工事 (第1編2.5.1)</p> <p>○1.7.6 (付加) 鋼材工事</p>																					
●1.7.7 (付加) その他注意事項 (第1編2.7)	<p>1.6 主任技術者又は監理技術者の専任期間 (建設業法により必要になった場合)</p> <p>1 専任期間の始期</p> <p>請負契約締結の日から、(○現場施工に着手するまで (現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等開始されるまでの期間 ・ 令和 年 月 日までの期間) については、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。</p> <p>2 専任期間の終期</p> <p>工事完成後、検査が終了 (発注者の都合により検査が遅延した場合は除く。)、事務手続き、後片付けのみが残っている場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。</p> <p>3 専任期間の中断</p> <p>自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により発注者からの通知により、仕事を全面的に一時中止している場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。</p>																					

●1.7.3 (付加) 電気設備工事 (第1編2.3.1)	<p>(4) 工事用水</p> <p>構内既存の施設 ※利用できない ・ 利用できる (※有償 ・ 無償)</p> <p>(5) 工事用電力</p> <p>構内既存の施設 ※利用できない ・ 利用できる (※有償 ・ 無償)</p> <p>(6) 事前に調査すべき項目</p> <p>・ 敷地測量 ・ 地下埋設施設 ・ 地上架線図 ・ 電波障害測定 ・ 電波伝搬障害再調査</p> <p>・ 周辺騒音レベル ・ 土壌調査 ・ 過去の洪水の記録 ・ 過去の最大雨量</p> <p>・ その他特殊事情 ()</p> <p>(7) 工事用看板</p> <p>※設ける ・ 設けない</p> <p>(1) 埋め戻し土・盛土</p> <p>・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種</p> <p>含有物質に適合したもののみとする。</p> <p>・ 搬入土の場合は土壌汚染対策法の特定有害物質について調査を行ない、同法に定める</p> <p>(2) 建設発生土の処理</p> <p>・ 現場説明書による</p> <p>※構外搬出適切処理</p> <p>・ 構内指示の場所にたい積 ・ 構内指示の場所に敷きならし</p> <p>(3) 事前調査</p> <p>・ 地盤 ・ 地下水 ※既存構築物</p> <p>※埋設物 ※近隣の状況</p> <p>(4) 根切り</p> <p>※りの面の崩壊防止 ※りの面の荷重、振動防止、のり面養生</p> <p>※ひび割れの観察、地表面の移動測定</p> <p>(5) 排水 (遮水)</p> <p>※流入水の排水、遮水 ※排水による有害な影響防止 ・ 地盤改良</p> <p>(1) 構造特記仕様書による</p> <p>○1.7.3 地業工事 (第1編2.3.1)</p> <p>○1.7.4 コンクリート工事 (第1編2.4.1)</p> <p>○1.7.5 左官工事 (第1編2.5.1)</p> <p>○1.7.6 (付加) 鋼材工事</p> <p>(1) 防火材料</p> <p>屋内の壁及び天井の仕上げ材は、防火材料又は建築基準法に基づく基材同等の認定表示のあるもの。</p> <p>(2) モルタル塗材料</p> <p>・ 吸水分調整材</p> <p>・ 防水材 (防水モルタル塗り混入剤)</p> <p>(3) 下地</p> <p>・ 現場打コンクリート下地 ※漏水の原因となる箇所の防水処理</p> <p>(1) 屋外部分に設置する鋼板、形鋼、棒鋼、平鋼、軽量形鋼は下記による。</p> <p>※スチール鋼材 ・ 溶融亜鉛めっき鋼材 2種50 ・ 溶融亜鉛めっき鋼材 2種35</p> <p>(2) 屋外部分に使用するボルト及びナットは下記による。</p> <p>※スチール鋼材 ・ 溶融亜鉛めっき鋼材 2種50 ・ 溶融亜鉛めっき鋼材 2種35</p> <p>(3) 屋内部分に設置する鋼板、形鋼、棒鋼、平鋼、軽量形鋼は下記による。</p> <p>※溶融亜鉛めっき鋼材 2種35 ・ 電気亜鉛めっき</p> <p>(4) 屋内部分に使用するボルト及びナットは下記による。</p> <p>※溶融亜鉛めっき鋼材 2種35 ・ 電気亜鉛めっき</p> <p>1.9 同時期発注の関連工事 ○ 建築工事 ○ 機械設備工事</p> <p>1 機材等</p> <p>「図等による環境物品等の調達に関する法律」に基づく特定調達品目に該当する機材を使用する場合は、原則として、その判断の基準、配慮事項を満たすこと。調達する機材は、真実無欺とするよう努めるものとする。</p> <p>2 施工条件</p> <p>■行政機関の休日に関する法律 (S63第91号) に定める行政機関の休日以外、上記以外の時間に施工する場合は事前に監督員と協議すること。</p> <p>すべて受注者の負担とし、構内につくることができ。</p> <p>※別契約の関連工事の受注者が設置したものは無償で使用できる。</p> <p>・ 本工事とする。</p> <p>7 保 険</p> <p>受注者は工事的物及び工事材料について工事完成後14日まで、これを火災が保障対象になっている独立保険等にかけて、証券の写しを監督員に提出する。受注者は法定外の労災保険に付し、証券の写しを監督員に提出する。</p> <p>8 再使用機材</p> <p>取外し再使用機材は、清掃及び耐最低限度等を行い、機能が良好なことを確認した上で取得。なお、その測定結果表を監督員に提出する。</p>
●1.7.4 (付加) 動力設備工事 (第1編2.3.2)	<p>○動力制御盤</p> <p>○制御盤までの必要機器の組込連動インターロック配線工事</p> <p>○他設備工事で設備する各種水槽の液面制御、警報装置から動力制御盤、遠方監視盤までの配線工事</p> <p>○警報盤の納入据付</p> <p>○接地幹線より分岐する各種接地線工事</p> <p>予備品及び保守用品</p> <p>○ユーズ類 実装数</p> <p>○表示用ランプ類 実装数の20% (種別毎に1組以上)</p> <p>○その他指定するもの () 1式</p>
●1.7.5 (付加) 熱設備工事 (第1編2.3.3)	<p>○() のフューニング設備</p> <p>○() のヒューティング設備</p> <p>○() のフューニング設備</p> <p>○制御盤の納入据付工事</p> <p>○ヒューティングケーブルの納入敷設工事</p> <p>○各種センサーの供給取付及びこれらに対する配管配線工事</p> <p>予備品及び保守用品</p> <p>○表示用ランプ及びヒューズ類 実装数</p> <p>○その他指定するもの () 1式</p>
●1.7.6 (付加) 接地設備工事 (第1編2.3.4)	<p>●雷保護用接地極を除く各種接地極の納入埋設工事</p> <p>●埋設接地極から抵抗測定試験端子盤までの配線工事</p> <p>●接地抵抗測定試験端子盤の納入取付工事</p> <p>●接地線埋設機の設置</p> <p>●接地抵抗の測定試験及び抵抗値の調整工事</p> <p>予備品及び保守用品</p> <p>○その他指定するもの () 1式</p>
●1.7.7 (付加) 幹線設備工事 (第1編2.3.5)	<p>●図示の如く所定配線敷設に必要な機材の納入及び幹線工事</p> <p>●接地工事で施設する接地端子盤より各盤・配管等までの接地幹線工事</p> <p>●各種の端子への配線の接続及び回路識別用標識の取付工事</p> <p>●防火区画貫通処理工事 (認定工法)</p> <p>予備品及び保守用品</p> <p>○その他指定するもの () 1式</p>

9 建設リサイクル法の適用	建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律の適用について
10 完成図書	完成図書の電子納品
11 発生処理	引渡を要するもの以外は構外に搬出し、適切に処理する。 (構外搬出処理費は、※本工・別途) (1) 引渡しを要するもの () (2) 買取処分するもの (鋼筋・鉄屑) () (3) 再生資源化を図るもの (電光管) () 蛍光灯等は再生資源化施設等に搬入し、全てリサイクルするものとする。 (4) 特別管理産業廃棄物 () ※処理に先立ち計画書を提出し、処理後は調査を提出すること。
工事細目	
□電灯設備工事	工 事 範 囲
○(1)一般照明中心設備	○分電盤、配線器具、照明器具類の納入取付及びこれらに対する配線工事
○(2)非常照明誘導灯設備	○接地幹線以降の接地工事
○(3)非常中心設備	○非常コンセントの納入取付及びこれらに対する電源配線工事
○() 外灯設備	○外灯の納入、取付及びこれらに対する配線工事
	○照明制御盤の納入据付
	○誘導灯用信号装置の納入取付及びこれらに対する配線工事
	○照明器具形式は図面特記による。
	○空調機マリンランプへの電源供給工事
	○ジャンクションボックスプレート仕上 (・Pタイプ ・ カーペット)
	○OA用テーブルタップの納入据付
	○外灯の接地は、器具毎に行うこと。
	○屋外灯のポール内に、配線用遮断器 (引外し装置なし) 又は、カットアウトスイッチ (兼通しヒューズ) を設けること。
	予備品及び保守用品
	○ハイテンションスタッド 設計図による
	○その他指定するもの () 1式
□動力設備工事	工 事 範 囲
	○動力制御盤、手元盤の納入据付及び電動機までの配管配線工事
	○制御盤までの必要機器の組込連動インターロック配線工事
	○他設備工事で設備する各種水槽の液面制御、警報装置から動力制御盤、遠方監視盤までの配線工事
	○警報盤の納入据付
	○接地幹線より分岐する各種接地線工事
	予備品及び保守用品
	○ユーズ類 実装数
	○表示用ランプ類 実装数の20% (種別毎に1組以上)
	○その他指定するもの () 1式
□熱設備工事	工 事 範 囲
○() のフューニング設備	○制御盤の納入据付工事
○() のヒューティング設備	○ヒューティングケーブルの納入敷設工事
○() のフューニング設備	○各種センサーの供給取付及びこれらに対する配管配線工事
	予備品及び保守用品
	○表示用ランプ及びヒューズ類 実装数
	○その他指定するもの () 1式
□接地設備工事	工 事 範 囲
	●雷保護用接地極を除く各種接地極の納入埋設工事
	●埋設接地極から抵抗測定試験端子盤までの配線工事
	●接地抵抗測定試験端子盤の納入取付工事
	●接地線埋設機の設置
	●接地抵抗の測定試験及び抵抗値の調整工事
	予備品及び保守用品
	○その他指定するもの () 1式
□幹線設備工事	工 事 範 囲
	●図示の如く所定配線敷設に必要な機材の納入及び幹線工事
	●接地工事で施設する接地端子盤より各盤・配管等までの接地幹線工事
	●各種の端子への配線の接続及び回路識別用標識の取付工事
	●防火区画貫通処理工事 (認定工法)
	予備品及び保守用品
	○その他指定するもの () 1式

<p>■雷保護設備工事</p> <p>工 事 範 囲</p> <p>3-6</p> <p>○()外部雷保護システム ○()内部雷保護システム</p> <p>○受雷部システムの施工 ○引き下げ導線システムの施工 ○接地システムの施工 ○等電位ボンディングの施工 ○大地抵抗率の測定 ○接地極埋設標の設置 ○接地抵抗の測定試験及び抵抗値の調整工事 ○埋設接地極から抵抗測定試験端子盤までの配線工事 ○接地抵抗測定試験端子盤の納入取付工事 ○接地極の省略に伴う大地抵抗率測定用補助接地極の埋設工事</p> <p>予 備 品 及 び 保 守 用 品</p> <p>○その他指定するもの () 1式</p>	<p>□電力貯蔵設備工事</p> <p>工 事 範 囲</p> <p>3-10</p> <p>○()直流電源設備 ○()交流無停電電源設備 ○()電力準化用蓄電設備 ○()分散電源(おきーマシ)システム</p> <p>蓄電池、整流装置、逆変換装置、充放電器等の納入取付及び盤間と蓄電池間の配管配線工事 蓄電池用耐震架台の納入取付工事 蓄電池室出入口に火災予防条例に基づく指定名称の設置工事</p> <p>予 備 品 及 び 保 守 用 品</p> <p>○メーカー標準の予備品 (収納箱共) および保守用品 1式 ○その他指定するもの () 1式</p>	<p>□情報表示設備工事</p> <p>工 事 範 囲</p> <p>3-14</p> <p>○()マルチサイン設備 ○()出退表示設備 ○()時刻表示設備</p> <p>情報表示機器の納入取付及びこれらに対する配管配線工事 親時計装置、子時計の納入、取付及びこれらに対する配線工事 電池時計納入取付工事 時報用アンテナ工事 時刻同期装置による時刻補正</p> <p>予 備 品 及 び 保 守 用 品</p> <p>○表示用ランプ及びヒューズ類 実装数 ○その他指定するもの () 1式</p>	<p>□駐車場管制設備工事</p> <p>工 事 範 囲</p> <p>3-20</p> <p>○制御装置、発券機、カーゲート、カードリーダー、料金精算機、ループロイなどの検出装置、信号灯等の納入取付、試験調整及びこれらに対する配線工事 ○料金計算装置の納入取付工事</p> <p>予 備 品 及 び 保 守 用 品</p> <p>○記録用紙類 各種1年分 ○表示用ランプ及びヒューズ類 実装数 ○駐車券他 各種1年分 ○釣銭予備カセット 1式 ○その他指定するもの () 1式</p>
<p>□航空障害灯等設備工事</p> <p>工 事 範 囲</p> <p>3-7</p> <p>○()航空障害灯設備 ○()ナビ照明設備</p> <p>○航空障害灯、制御盤の納入取付及びこれらに対する配線工事 ○ヘリポート機器、制御盤の納入取付及びこれらに対する配線工事 ○中央監視盤への信号線工事 ○航空障害灯の設置省略、設置免除に関する届出及び書類作成の補助</p> <p>予 備 品 及 び 保 守 用 品</p> <p>○表示用ランプ及びヒューズ類 実装数 (種別毎に1組以上) ○その他指定するもの () 1式</p>	<p>□発電設備工事</p> <p>工 事 範 囲</p> <p>3-11</p> <p>○()ディーゼル発電設備 ○()ガスターボ発電設備 ○()ガスターボ発電設備 ○()マイクロガスタービ発電設備</p> <p>○電動機、発電機及び付属機器装置類の納入取付工事 ○発電機盤、自動起動盤類の納入取付工事 ○機器及び盤相互間の配線工事 ○起動用空気槽、空気圧縮機又は起動用蓄電池、充電器設備の納入取付及び同配管、配線工事 ○消音器の納入取付及び燃焼工事 ○主燃料槽の納入取付、警報、連絡用通信装置の納入取付工事 ○電食対策の要否判定のため、迷走電流の測定 ○小出槽の納入取付、警報、連絡用通信装置の納入取付工事 ○減圧水槽の納入取付及び警報信号装置の納入取付工事 ○出入口に消防条例に基づく指定名称の設置工事 ○給油口ローリーアース及び発電機室との連絡用インターホン設備工事 ○エレベータ及び中央監視盤への信号供給配線工事 ○冷却塔の納入取付工事 ○太陽光モジュール及びアレイの納入取付工事 ○太陽光モジュール及びアレイ用架台の納入取付工事 ○パワーコンディショナー、系統連系保護装置、接続箱等の納入取付・試験調整及びこれらに対する配管配線工事 ○風車発電装置、監視制御装置、計測・保護装置等の納入取付・試験調整及びこれらに対する配管配線工事 ○油圧装置、圧縮装置、避雷設備及び照明装置の納入取付工事 ○排熱回収装置、排気ガス処理装置等の納入取付・試験調整及びこれらに対する配管配線工事 ○配管のスラッジ対策を施すこと 送油管は小出槽手前でバイパス回路を設け、常用及びバイパスはブリフィルタとバルブを設ける。 ○BCP対策時を想定した実負荷試験の実施</p> <p>予 備 品 及 び 保 守 用 品</p> <p>○メーカー標準の予備品・保守用品 1式 ○機関の分解組立工具 (収納箱共) 及び予備品・付属品 1式 ○電気式始動方式の場合: 直流電源設備による予備品・付属品 1式 ○その他指定するもの () 1式</p>	<p>□映像・音響設備工事</p> <p>工 事 範 囲</p> <p>3-15</p> <p>○映像・音響機器の取付け用配管工事 ○映像・音響機器の納入取付及びこれらに対する配管配線工事</p> <p>予 備 品 及 び 保 守 用 品</p> <p>○表示用ランプ及びヒューズ類 実装数 ○その他指定するもの () 1式</p>	<p>■自動火災報知設備工事</p> <p>工 事 範 囲</p> <p>3-21</p> <p>○受信盤他各種機器装置類の納入取付及びこれらに必要とする配管配線工事 ●副受信盤の納入取付及び配線工事 ○放送設備起動装置及びこれらに対する配管配線工事 ●各種申請書類の作成業務 (申請手数料含む) ○排煙口の手动開放スイッチに対する配管配線工事</p> <p>予 備 品 及 び 保 守 用 品</p> <p>●保守上必要とする工具及び試験器 1式 ●記録用紙類 各種1年分 ●表示用ランプ及びヒューズ類 実装数 ○その他指定するもの () 1式</p>
<p>□電気自動車充電設備工事</p> <p>工 事 範 囲</p> <p>3-8</p> <p>○()急速充電設備 ○()普通充電設備</p> <p>○電力変換装置、充電制御装置、充電コネクタの納入取付及びこれらに必要とする配管配線工事 ○充電コネクタの付属コードの納入</p> <p>予 備 品 及 び 保 守 用 品</p> <p>○表示用ランプ及びヒューズ類 実装数 ○その他指定するもの () 1式</p>	<p>■拡声設備工事</p> <p>工 事 範 囲</p> <p>3-16</p> <p>●()非常放送設備 ●()一般放送設備</p> <p>●増幅装置 (増幅器、出力切り替え器、マイクロホン、電源装置、スピーカー、その他) 配線器具などの納入取付工事 ●弱電用端子盤の納入取付工事 (共用盤の場合は電話配管設備工事に含む) ●機器、盤、装置間の配管配線工事 ●エレベーター制御盤への出力供給配管配線工事 ●時刻同期装置による時刻補正</p> <p>予 備 品 及 び 保 守 用 品</p> <p>●表示用ランプ類 実装数の20% ●ヒューズ類 実装数 ○その他指定するもの () 1式</p>	<p>■誘導支援設備工事</p> <p>工 事 範 囲</p> <p>3-17</p> <p>●()インターホン設備 ○()音声誘導設備 ○()身体障害者用インターホン設備 ○()トル等呼出し設備</p> <p>●検出部、制御部、案内表示部等の納入取付、試験調整及びこれらに対する配管配線工事 ●視機・子機等の納入取付、試験調整及びこれらに対する配管配線工事 ○呼出し表示灯、復旧印等の納入取付、試験調整及びこれらに対する配管配線工事 ○トル等呼出し設備</p> <p>予 備 品 及 び 保 守 用 品</p> <p>●表示用ランプ及びヒューズ類 実装数 ○その他指定するもの () 1式</p>	<p>□自動閉鎖設備工事</p> <p>工 事 範 囲</p> <p>3-22</p> <p>○各種機器類の納入取付及びこれらに必要とする配管配線工事</p> <p>予 備 品 及 び 保 守 用 品</p> <p>○保守上必要とする工具及び試験器 1式 ○表示用ランプ及びヒューズ類 実装数 ○その他指定するもの () 1式</p>
<p>□受変電設備工事</p> <p>工 事 範 囲</p> <p>3-9</p> <p>○()特別高圧受変電設備 ○()高圧受変電設備</p> <p>○図示の受変電配電に関する機器装置類の納入取付及びこれらに対する電力配線、制御配線工事 ○電力引込み用管路、支持枕木、ケーブルラック等の敷設工事 ○責任・財産分界点以降電気室内受配電盤一次側までの主回路に必要な各種機材の納入取付工事 ○受変電設備、監視制御盤、高低圧配電盤、計器盤および遮断器、開閉器などの機器、装置類に対する監視制御配線工事 ○保護金網取付工事 ○電気室等出入口に消防条例に基づく指定名称の設置工事 ○接地抵抗測定用試験端子盤以降の各種接地工事 ○責任・財産分界点までの電力ケーブル引込工事は別途 ○取引用 (受電用) PCT及び取引用計器類の取付工事は別途。但し、必要な配管類は本工事に含む。 ○エレベーター及び中央監視への信号供給配線工事 ○防火区画貫通処理工事 ○2次側が可とう導体の時は絶縁シートを取付ける</p> <p>予 備 品 及 び 保 守 用 品</p> <p>○特高設備はメーカー標準の予備品・保守用品 1式 ○高圧設備はメーカー標準の予備品・保守用品のほか、下記による高圧絶縁ゴム手袋・ベンチ、ドライバー等の工具・メジャー・テスター・検電器 1式 ○絶縁マット (盤前面および裏面) 1式 ○フック棒 (2.5m・1.5m) 各1本 ○表示用ランプ及びヒューズ類 (PFを含む) 実装数の20% (種別毎に1組以上) ○隙間計などの調整工具 (VCB、VCS等使用時) 各種1組 ○遮断器運搬具 (リフター) 種別毎に1組以上 ○フィルター (変圧器、強制空気冷却のとき、その他必要により) 実装数 ○その他指定するもの () 1式</p>	<p>■構内情報通信網設備工事</p> <p>工 事 範 囲</p> <p>3-12</p> <p>●将来対応管路等工一式及び機器類設置スペースの確保 ●ケーブルラックの納入取付工事 ●機器類の納入取付・試験調整 ●ケーブル類の敷設工事 ●モジュラジャック、プレート等の納入取付工事 ●時刻同期装置の取付、時刻の補正、調整</p> <p>予 備 品 及 び 保 守 用 品</p> <p>○その他指定するもの () 1式</p>	<p>■テレビ共同受信設備工事</p> <p>工 事 範 囲</p> <p>3-18</p> <p>●テレビ及びラジオ受信用アンテナ、増幅器、分配器、整合器、ヘッドエンド装置などの供給取付 ●アウトレットまでの配管配線工事 ●アンテナ及び装置、機器配線の調整工事 ●予備配管工事 ●受信調査 (○事前 ○上棟 ○竣工) (測定チャンネル数 ch) 上記でch数の記載が無い場合、測定チャンネルは計画地で受信可能なチャンネルを測定する</p> <p>予 備 品 及 び 保 守 用 品</p> <p>●ヒューズ類 実装数 ●端末抵抗器 実装数の20% ○その他指定するもの () 1式</p>	<p>■非常警報設備工事</p> <p>工 事 範 囲</p> <p>3-23</p> <p>●非常ベル ●各種機器類の納入取付及びこれらに必要とする配管配線工事</p> <p>予 備 品 及 び 保 守 用 品</p> <p>●保守上必要とする工具及び試験器 1式 ●表示用ランプ及びヒューズ類 実装数 ○その他指定するもの () 1式</p>
<p>□受変電設備工事</p> <p>工 事 範 囲</p> <p>3-9</p> <p>○()特別高圧受変電設備 ○()高圧受変電設備</p> <p>○図示の受変電配電に関する機器装置類の納入取付及びこれらに対する電力配線、制御配線工事 ○電力引込み用管路、支持枕木、ケーブルラック等の敷設工事 ○責任・財産分界点以降電気室内受配電盤一次側までの主回路に必要な各種機材の納入取付工事 ○受変電設備、監視制御盤、高低圧配電盤、計器盤および遮断器、開閉器などの機器、装置類に対する監視制御配線工事 ○保護金網取付工事 ○電気室等出入口に消防条例に基づく指定名称の設置工事 ○接地抵抗測定用試験端子盤以降の各種接地工事 ○責任・財産分界点までの電力ケーブル引込工事は別途 ○取引用 (受電用) PCT及び取引用計器類の取付工事は別途。但し、必要な配管類は本工事に含む。 ○エレベーター及び中央監視への信号供給配線工事 ○防火区画貫通処理工事 ○2次側が可とう導体の時は絶縁シートを取付ける</p> <p>予 備 品 及 び 保 守 用 品</p> <p>○特高設備はメーカー標準の予備品・保守用品 1式 ○高圧設備はメーカー標準の予備品・保守用品のほか、下記による高圧絶縁ゴム手袋・ベンチ、ドライバー等の工具・メジャー・テスター・検電器 1式 ○絶縁マット (盤前面および裏面) 1式 ○フック棒 (2.5m・1.5m) 各1本 ○表示用ランプ及びヒューズ類 (PFを含む) 実装数の20% (種別毎に1組以上) ○隙間計などの調整工具 (VCB、VCS等使用時) 各種1組 ○遮断器運搬具 (リフター) 種別毎に1組以上 ○フィルター (変圧器、強制空気冷却のとき、その他必要により) 実装数 ○その他指定するもの () 1式</p>	<p>■構内交換設備工事</p> <p>工 事 範 囲</p> <p>3-13</p> <p>●()電話配管設備 ●()電話設備</p> <p>●局線引込管路及びそれ以降の配管、ケーブルラック及び端末配管工事 ●ジャンクションボックスプレート仕上 (・Pタイプ・カーペット) ●端子盤、端末取出アウトレットボックスの納入取付工事 ● MDFから各端子盤に至る配線工事 ●局線引込工事は別途 ●呼線工事 ●電話交換機装置、電源装置、電話機、各種アンテナ類の納入取付調整工事 ●MDFから各端子盤に至る配線工事及び電話機に至る配線工事 ○料金管理装置の納入取付調整工事 ●モジュラジャック、プレート等の納入取付工事 ●接地幹線より分岐する接地線工事</p> <p>予 備 品 及 び 保 守 用 品</p> <p>●メーカー標準の予備品 (収納箱共) 及び保守用品 1式 ●ローテンションスタンド 設計図による ●電話機台数 設計図による ○その他指定するもの () 1式</p>	<p>□監視カメラ設備工事</p> <p>工 事 範 囲</p> <p>3-19</p> <p>○監視カメラ、モニター架等の納入取付、試験調整及びこれらに対する配管配線工事 ○時刻同期装置による時刻補正 ○屋外設置用の架台・ポール及び基礎工事</p> <p>予 備 品 及 び 保 守 用 品</p> <p>○製造者の標準 1式 ○その他指定するもの () 1式</p>	<p>□防犯・入退室管理設備</p> <p>工 事 範 囲</p> <p>3-25</p> <p>○()機械警備設備 ○()入退室管理設備</p> <p>○機械警備に係る配管工事 ○センサ、制御装置等の納入取付、試験調整及びこれらに対する配管配線工事 ○制御装置、認識装置等の納入取付、試験調整及びこれらに対する配管配線工事 ○警察機関に通報する設備の設置工事 ○警備保障会社などが納入取付けるものは別途 ○ICカードを用いる場合の初期入館者データ登録は本工事 ○時刻同期装置による時刻補正</p> <p>予 備 品 及 び 保 守 用 品</p> <p>○記録用紙類 各種1年分 ○カード 設計図による ○表示用ランプ及びヒューズ類 実装数 ○その他指定するもの () 1式</p>

(1) 管路等の敷設に伴う敷き均し土は、標準仕様書のほか下記及び図面特記による。

敷き均し土	管 種 別
良質土	硬質ビニル電線管 (VE) 耐衝撃強化ビニル管 (HVE) 高付硬質合成樹脂管 (FEP) ポリエチレン電線管 (PLP)

(2) 地中電線には、ケーブル埋設機及び舗装シートを設ける。ただし、低圧・弱電回路の舗装シートは図面特記による。

(3) 地中電線路の敷設は管路とし、埋設深さは地表面（舗装する部分では路盤材下面）から配管の上端まで原則、路盤材下面から配管の上端まで原則、600mmとする。ただし、公道への引込み管路等の埋設深さについては、供給事業者と協議の上決定する。

舗装版切斷時に発生する漏水の処理に係る特記仕様書

第1条 この特記仕様書は、埼玉県電気設備工事特別共通仕様書に定めるもののほか、アスファルト舗装版切斷時に発生する漏水（以下「漏水」という。）の処理に関し必要な事項を定めるものである。

第2条 受注者は、回収した漏水を次のとおり処理するものとする。

種類及び処理量 汚泥（油分を含む汚泥） m3

処理方法 市 地内、（株）
・中間処理後、最終処分場へ搬入（処理に焼却又は溶融含む）
・中間処理後、最終処分場又は再資源化（処理に焼却又は溶融を含む）

第3条 受注者は、別の中間処理施設を決定する場合には、事前に監督員と協議するものとする。

受注者は、舗装版切斷作業を行いつながる漏水を可能な限り回収し、作業後速やかに回収した漏水を産業廃棄物の（油分を含む汚泥）として中間処理施設に搬送及び処理するものとする。

2 受注者は、汚泥の中間処理業の許可を受けている業者と産業廃棄物処分委託契約を締結しなければならない。

3 受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、汚泥の収集運搬業の許可を受けている業者と産業廃棄物収集運搬委託契約を締結しなければならないものとする。

4 受注者は、漏水の処理に関する履行について、産業物の処理及び清掃に関する法律において定める産業廃棄物管理票（以下「 manifests」という。）により管理するものとする。

第4条 受注者は、施工計画書において、漏水の回収、運搬及び処理に関する方法を定めなければならないものとする。また、中間処理業者及び収集運搬業者と第3条第3項及び第4項に基づき締結した委託契約書の写し及び許可証の写しを添付すること。

第5条 受注者は、工事終了時に manifests 原本を提示する。

第5条 漏水処理量については、舗装版の切斷延長や切斷厚が変わった場合を除き、原則として設計変更の対象としないものとする。

2 受注者は、舗装版切斷時に漏水を生じない工夫を使用する場合は、事前に監督員と協議するものとする。

3 この特記仕様書に侵越等が生じた場合は、別途監督員と協議するものとする。

●2.3.17 (付加) 接地

a. 板状接地工事の場合は、1.5mm厚以上の銅板とし、A種（第一種接地）・B種（第二種接地）・C種（特別第三種接地）は900×900mm以上、D種（第三種接地）は450×450mm以上としその他の接地極の仕様は設計図による。

b. 接地端子盤は盤類に準ずるほか、下記による。

1) 接地端子盤内には、測定端子を取り付ける。

2) 接地端子盤には、扉表面に接地埋設図を表示する。

3) 盤内接地線には、表示札を取り付ける。

c. 指定の接地抵抗値が得られない場合は、監理者と協議の上、補助接地極を埋設し、指定値を確保する。

d. 施工後、接地端子盤に、測定値・測定年月日・接地種別名などを記入する。

e. 接地極の接地は、なるべく湿気が多い場所を選び、原則として常水面下とし、地表面から接地極の上端0.75m以上の深さに埋設する。

f. 寒冷地域では凍結深度の確認をした上で監理者の承認を得て埋設深さを決定する。

g. 接地抵抗低減剤を使用する場合は、監理者の承認を得て使用する。

h. 接地極に対する腐食を検討し、監理者の承認を得て施工する。

i. A種接地の内、通信用のものは5Ω以下が望ましい。

j. ELB用接地は原則として単独接地とする。

k. 接地抵抗値は、埋設時から竣工引渡し時までの変化を確認できるよう数回の試験記録を行う。

●2.3.18 (付加) 電話用配線等

a. 接続しない予備心線は、十分な余長をもちせておき、成端を行う。

b. 通信用屋内ケーブルと、信号線、交流電源線との離隔距離は0.15m以上とし、これによりがたい部分はセラレータなどを用いて直接接触しないようにする。但し、信号線および交流電源線にシールドケーブルを用いる場合は、この限りではない。

●2.3.19 (付加) 配盤

a. 機器・配管などは地震・強風などの異常時外力に対し、移動、転倒・破損などを生じないように本体並びに取り付け部分は平均12倍号1389号による十分な強度を持つようするとともに、取付部強度および部材は計算書を作成して確認する。

b. 堅て管は、高さが60mを越える構造評定対象建物に設ける場合には、評定書での最大層間変位に追従できるように計算による確認の上施工する。また、60m未満の建築物の場合は、S造では1/150～1/75、その他の構造では1/300～1/150の層間変位に追従できるように施工する。

c. 設備機器の固定は、「建築設備前置設計・施工指針 2014年版」（独立行政法人建築研究所監修）による。なお、施工に際し、耐震強度計算書を監督員に提出し、承認を受けるものとする。

d. 横引ダクト・配管・電気配線等は、地震による軸直角方向の過大な変位を抑制するよう必要な箇所に型鋼やブレース等による耐震支持を行う。

e. 耐震補強及び転倒防止の方法と計算書は、監理者の承認を得ること。

f. 建築物の時刻応答解析が行われていない場合は設計用水平震度（KH）は以下とする。設計用鉛直震度はKHの0.5倍とする。

設置場所	耐震クラスS	耐震クラスA	耐震クラスB
上層階、塔屋および屋上	2.0(2.0)	2.0(1.5)	1.0(1.5)
中間階	1.5(1.5)	1.0(1.5)	0.6(1.0)
1階および地階	1.0(1.0)	0.6(1.0)	0.4(0.6)

() 内の数値は耐震支持の機器の場合に適用する。
[] 内の数値は水槽類の場合に適用する。

g. 上層階の定義

建築階数	上層階	建築階数	上層階
2～6	最上階	10～12	上層3階
7～9	上層2階	13～	上層4階

h. 中間階の定義
地階、1階を除く各階で、上層階に該当しないものを示す。

i. 高さ60mを超える建築物、免震構造および制振構造の建築物の場合の、建築物の時刻応答解析等による設計水平震度（KH）は以下とする。設計用鉛直震度はKHの0.5倍とする。

予備計算による震度 μ_{H}	設計用水平震度 μ_{H}		
	耐震クラスS	耐震クラスA	耐震クラスB
1.65超	2.0	2.0	2.0
1.10超～1.65以下	1.5	1.5	1.5
0.63超～1.10以下		1.0	1.0
0.42超～0.63以下	1.0		0.6
0.42以下		0.6	0.4

J. 建物及び対象設備の耐震グレード設定は下記による。

対象設備	耐震グレード		
	・一般の施設	※特定の施設	・特に重要な施設
水槽類、油槽類、交換無停電電源装置、交換無停電装置、非常放送・火災報知器受信機・中央警備装置・配電盤・発電装置（新式用）・直流電源装置	※クラスS ・クラスA	※クラスS ・クラスA	※クラスS ・クラスA
他の対象設備を除く電気設備全般	・クラスS ・クラスA ※クラスB	・クラスS ・クラスA ※クラスB	※クラスS ・クラスA ・クラスB
その他設備（ ）	・クラスS ・クラスA ※クラスB	・クラスS ・クラスA ・クラスB	※クラスS ・クラスA ・クラスB

横引き配管等の耐震支持は「標仕」及び下記による。

耐震グレード	設置場所 (金管管・金属外・PVC等)	電気配線	ケーブルラック
耐震クラスA・B	上層階、屋上、塔屋	支持間隔12m以内に1箇所A種を設ける	支持間隔8m以内に1箇所 ※A種 ・B種
	中間階	支持間隔12m以内に1箇所 ※A種 ・B種	支持間隔12m以内に1箇所 ※A種 ・B種
耐震クラスS	上層階、屋上、塔屋	支持間隔12m以内に1箇所S種を設ける	支持間隔6m以内に1箇所S種を設ける
	中間階	支持間隔12m以内に1箇所A種を設ける	支持間隔8m以内に1箇所A種を設ける
1階、地階			
適用除外	a. φ82以下の単独金属管 b. 周長80cm以下の電気配線 c. 定格電流600A以下のバスダクト d. 長さ長さが平均20cm以下の電気配線	a. ケーブルラックの支持間隔については、別途間隔を定めることができる b. 幅400mm未満のもの c. 長さ長さが平均20cm以下のケーブルラック	

k. 1kN以下の軽量機器に対して以下の耐震支持を行う。

1) 引張力が作用する吊り部材の駆体へのアンカーボルトは、原則としてインサートとする。

2) 耐震クラスS（2.5.3 耐震グレードの設定参照）で計画する場合の吊り部材には、形鋼を用いる。

3) 吊りボルトで耐震支持する場合には、自重支持用吊りボルト4本で構成される4本にそれぞれ2本の斜材で形とする。合計8本の斜材が必要。この時、自重支持用吊りボルトに斜材を取り付ける角度は45度±15度とし、自重支持用吊りボルトに繋結する位置は上部のインサートと下部の機器支持部との合計長さを25cm以内とする。斜材は、自重支持用吊りボルトと同等以上の強度の金属材（鉄筋、全ネジボルトなど）を用いる。また、自重支持ボルトと斜材とを繋結する部材は締め付け具を用い、クリップなどは使用しない。

●2.3.20 (付加) 耐風力基準

a. 基準風速 V_0 及び地表面粗度区分
基準風速 V_0 は (34 m/s) 以上とする。

b. 設備機器設計用風速の再現期間
再現期間は ・ 50年（風速割増し 1.0倍）
※100年（風速割増し 1.075倍）
・ 200年（風速割増し 1.15倍）とする。

c. 設備機器設計用風圧力の最小値
外部に面して設置する設備機器等の設計用風圧力は
 $\pm 2,000 \text{ N/m}^2$ ・ ± N/m^2 を下回らないこと。

○2.3.21 (付加) 耐積雪基準

a. 積雪荷重における多雪区域の指定及び垂直積雪量と単位体積重量外部に面して設置する設備機器等の設計用積雪荷重は以下による数値以上とする。
区域 ※多雪区域以外 ・ 多雪区域
垂直積雪深 (0.3 m)
単位体積重量 (20 N/m^3)

●2.3.22 (付加) その他の工事

a. 機械・器具・盤類および配管などの設備に必要なアンカーおよびインサートの仕様・保持・埋込み工法・施工範囲について監理者の承認を受ける。

b. 梁・壁を貫通するスリーブの材料は鋼管または鉄板を原則とし、埋込工法・施工範囲について監理者の承認を受ける。

c. 鉄骨または鉄筋への溶接を必要とする場合は、有資格者による施工を行い、鉄鋼・鉄筋に影響のないことを確かめた上で、監理者の承認を受ける。構造側には捨てプレートを設置すること。

d. 管路の埋込みまたは貫通に際しては、建物の構造強度・防水および結露防止に支障のないことを確認した上で監理者の承認を受ける。

e. 埋立地等地上盤下が予測される地域における埋設管・ハンドホールなどは十分な対策を検討し、監理者の承認を受けた後、施工する。

f. 寒冷地域では、凍害などに対する必要な対策を施す。この場合、使用材料・施工方法などについて監理者の承認を受けた後、施工する。

g. 誘導電圧対策

1) 静電誘導ノイズ対策として、ノイズ源と信号線は十分な離隔をとるとともに、必要に応じてシールド線を用いる。

2) 電磁誘導ノイズ対策として、電力線と信号線の平行敷設は避ける。平行する場合は、信号線をシールド付ベア線として金属管に収める。

3) 同一ケーブルラックに強電・弱電線と一緒に敷設する場合は、出来る限り離隔を取り、セラレータを設ける。

4) インバータを使用する機器への出力側電源線は金属管に収めるか、シールドケーブル配線とする。またインバータ本体より電動機までの電源およびアース線を平行して供給すること。

h. 塩害対策（塩害地区の場合）

1) 屋外に設置される盤および部材は防錆用下地処理を施した後、エポキシ系塗料またはウレタン樹脂系塗料にて100 μm以上の塗装膜厚を確保する。尚、防錆処理については上記と同様以上の品質が確保される場合は、その他の方法でもよい。

●2.3.23 (付加) 機器取付高さ

	名 称	測 点	取付高(mm)	
共通	取引用計器	地上～上端	2,000	
	引込用閉器	床上～上端	1,800	
電 灯	警報盤	床上～中心	1,500	
	分電盤	床上～中心	1,500 (上端1,900以下)	
	スイッチ類	〃	1,300	
	〃 (身障者用)	〃	1,100	
	〃 (人感センサー切替用)	〃	2,000	
	コンセント(一般)	〃	300	
	〃 (和室)	〃	150	
	〃 (台上)	台上～中心	150	
	〃 (車庫)	床上～中心	1,300	
	〃 (屋外)	床上～中心	600	
	ブラケット(一般)	〃	2,100	
	〃 (踊場)	〃	2,500	
	〃 (鏡上)	床上～中心	150	
	動力	壁掛形制御盤 (雑器 盤 共 通)	床上～中心	1,500 (上端1,900以下)
		手元閉閉器	〃	1,500
電 話	操作スイッチ・押しボタン	〃	300	
	室内端子盤 (廊下・室内)	床上～下端	1,300	
電 表	中間端子盤 (EPS,電気室)	床上～中心	1,500	
	集合保安箱	〃	(天井高さ)×0.9	
示 表	壁付閉器ボックス (一般)	〃	300	
	〃 (和室)	〃	150	
示 表	表示盤	床上～中心	(天井高さ)×0.9	
	壁付発信器	〃	1,300	
示 表	プザー	〃	(天井高さ)×0.9	
	押しボタン (身障者用押ボタン)	〃	1,300	
示 表	身障者用表示灯	〃	900	
	警報ボタン (身障者用)	〃	2,000	
インテ ー ホ ン	壁付インターホン	床上～中心	1,500	
	〃 (身障者用)	〃	1,100	
T・V 共同受 信	壁付位置ボックス (壁付インターホンを除く)	〃	300	
	〃 (一般)	〃	150	
D・V 共同受 信	機器収納箱	床上～中心	(天井高さ)×0.9	
	アウトレット (一般)	〃	300	
示 表	〃 (和室)	〃	150	
	受信機	床上～操作部	800-1,500	
火 災 報 知 機	副受信機	〃	800-1,500	
	機器収納箱	床上～中心	800-1,500	
示 表	発信機	〃	800-1,500	
	ベル	〃	(天井高さ)×0.9	
示 表	消火栓表示灯	〃	(天井高さ)×0.8	

備考(天井高)×0.8及び(天井高)×0.9 は天井高が2,500～3,000mmの場合に適用する。

2.4節 検査および試験

●2.4.1 (付加) 一般事項

a. 下記項目に関しては、最終承認されたシステム、内容、容量に基づいて、計算書を作成し、設計図と相違していない事を確認し、監理者の承認を受ける。また、施工後、性能確認の為に、必要に応じて試験調整報告書を作成し、監理者の承認を受けた上で測定・試験等を行う。試験・調整調整報告書を作成し、監理者に内容の説明を行う。

・ 短絡電流（保護協調）
・ 高調波流出電流
・ 変圧器容量
・ 力率改善用コンデンサ容量
・ 自家発電機容量および関連設備（給排水・燃料消費・ポンプ揚程・オイル配管 勾配・燃費風量・煙道伸縮・煙道耐熱厚・室外騒音・蓄電池容量など）

・ 直流電源装置容量
※ 幹線（遮断容量・電圧降下・許容電流）
・ 避雷針・航空障害灯およびアンテナマスト風圧荷重
※ 照度（JIS C7612による平均照度算出）
・ 電話交換機容量
・ 増幅器容量
・ ネットワークトラフィック計算書
・ テレビ共同受信設備テレビ端子電圧
・ 防災センター要員人数算定書、限界時間（駆付け時間）計算
・ 総合アース解析（大地抵抗率測定による建物接地抵抗計算）

2) ステンレス製の金属部材に使用するボルト、ナット、座金等は、ステンレス製を用いること。

3) 溶融亜鉛めっきを施した金属部材に使用するボルト、ナット、座金等は、溶融亜鉛めっきを施したものとす。

4) ダクト類上部に水勾配を設け、水はけを良くする。

l. 雷害の発生のおそれのある地域に設置する弱電装置には、信号入出力 および電源部の1次側にSPDを設ける。

J. 建築基準法で定める防火区画を貫通する場合は国土交通大臣認定工法で施工する。

k. 消防法で定める令第8区画、共用区画を貫通する場合は(財)日本消防設備安全センター評定を受けた工法で施工する。

1. 配線器具類のプレート材質は図面に特記無き限り、新金属（ビス付き）とする。

図面に特記なきものは下表を標準とする。ただし下表によりがたい場合は監理者との協議による。

	名 称	測 点	取付高(mm)	
共通	取引用計器	地上～上端	2,000	
	引込用閉器	床上～上端	1,800	
電 灯	警報盤	床上～中心	1,500	
	分電盤	床上～中心	1,500 (上端1,900以下)	
	スイッチ類	〃	1,300	
	〃 (身障者用)	〃	1,100	
	〃 (人感センサー切替用)	〃	2,000	
	コンセント(一般)	〃	300	
	〃 (和室)	〃	150	
	〃 (台上)	台上～中心	150	
	〃 (車庫)	床上～中心	1,300	
	〃 (屋外)	床上～中心	600	
	ブラケット(一般)	〃	2,100	
	〃 (踊場)	〃	2,500	
	〃 (鏡上)	床上～中心	150	
	動力	壁掛形制御盤 (雑器 盤 共 通)	床上～中心	1,500 (上端1,900以下)
		手元閉閉器	〃	1,500
電 話	操作スイッチ・押しボタン	〃	300	
	室内端子盤 (廊下・室内)	床上～下端	1,300	
電 表	中間端子盤 (EPS,電気室)	床上～中心	1,500	
	集合保安箱	〃	(天井高さ)×0.9	
示 表	壁付閉器ボックス (一般)	〃	300	
	〃 (和室)	〃	150	
示 表	表示盤	床上～中心	(天井高さ)×0.9	
	壁付発信器	〃	1,300	
示 表	プザー	〃	(天井高さ)×0.9	
	押しボタン (身障者用押ボタン)	〃	1,300	
示 表	身障者用表示灯	〃	900	
	警報ボタン (身障者用)	〃	2,000	
インテ ー ホ ン	壁付インターホン	床上～中心	1,500	
	〃 (身障者用)	〃	1,100	
D・V 共同受 信	壁付位置ボックス (壁付インターホンを除く)	〃	300	
	〃 (一般)	〃	150	
D・V 共同受 信	機器収納箱	床上～中心	(天井高さ)×0.9	
	アウトレット (一般)	〃	300	
示 表	〃 (和室)	〃	150	
	受信機	床上～操作部	800-1,500	
火 災 報 知 機	副受信機	〃	800-1,500	
	機器収納箱	床上～中心	800-1,500	
示 表	発信機	〃	800-1,500	
	ベル	〃	(天井高さ)×0.9	
示 表	消火栓表示灯	〃	(天井高さ)×0.8	

備考(天井高)×0.8及び(天井高)×0.9 は天井高が2,500～3,000mmの場合に適用する。

2.4節 検査および試験

●2.4.1 (付加) 一般事項

a. 下記項目に関しては、最終承認されたシステム、内容、容量に基づいて、計算書を作成し、設計図と相違していない事を確認し、監理者の承認を受ける。また、施工後、性能確認の為に、必要に応じて試験調整報告書を作成し、監理者の承認を受けた上で測定・試験等を行う。試験・調整調整報告書を作成し、監理者に内容の説明を行う。

・ 短絡電流（保護協調）
・ 高調波流出電流
・ 変圧器容量
・ 力率改善用コンデンサ容量
・ 自家発電機容量および関連設備（給排水・燃料消費・ポンプ揚程・オイル配管 勾配・燃費風量・煙道伸縮・煙道耐熱厚・室外騒音・蓄電池容量など）

・ 直流電源装置容量
※ 幹線（遮断容量・電圧降下・許容電流）
・ 避雷針・航空障害灯およびアンテナマスト風圧荷重
※ 照度（JIS C7612による平均照度算出）
・ 電話交換機容量
・ 増幅器容量
・ ネットワークトラフィック計算書
・ テレビ共同受信設備テレビ端子電圧
・ 防災センター要員人数算定書、限界時間（駆付け時間）計算
・ 総合アース解析（大地抵抗率測定による建物接地抵抗計算）

カメラ：光ケーブルx4
PHS：OPEVO. 65-10P

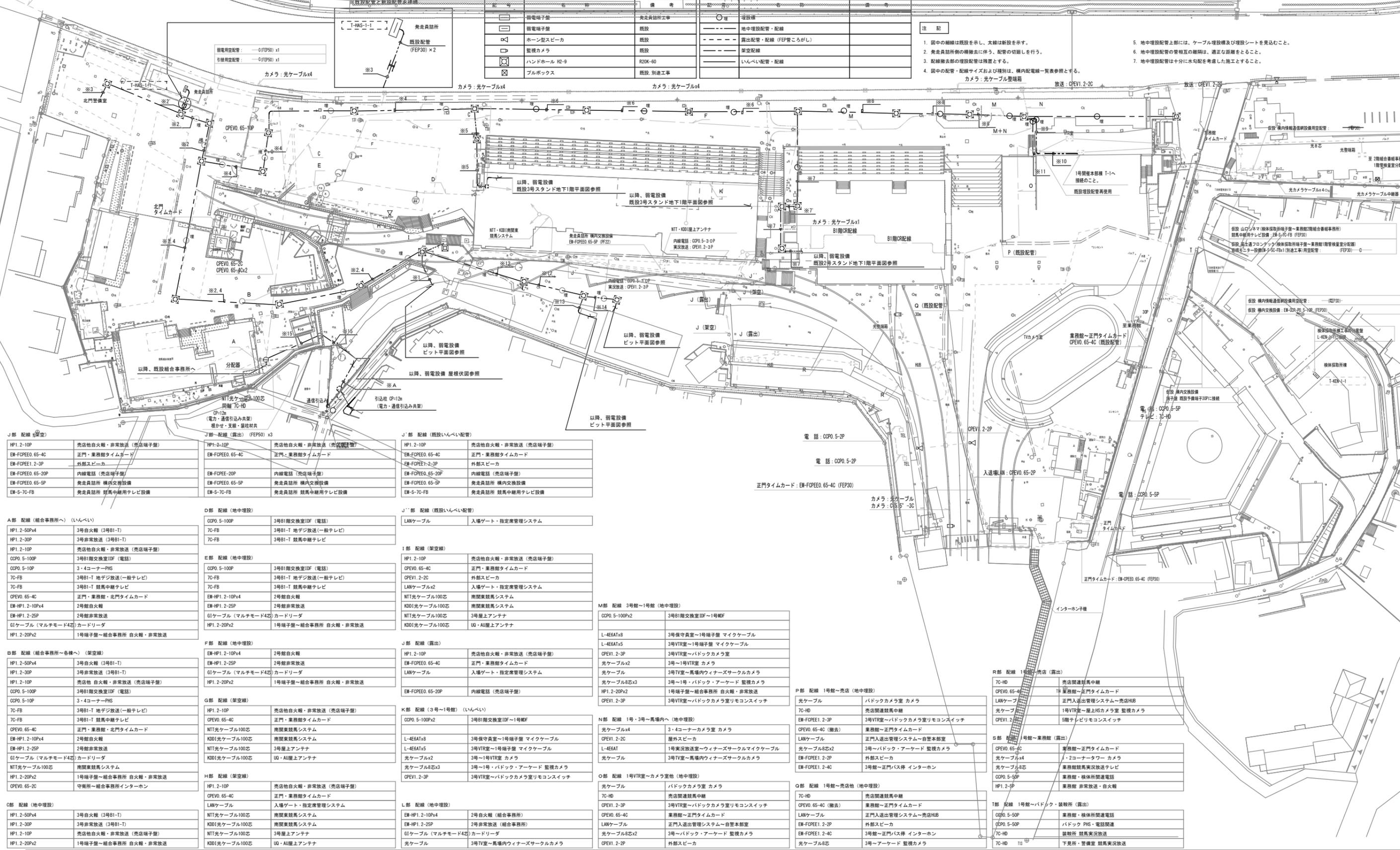
凡例

弱電端子盤	既定	埋設機	既定
弱電端子盤	既定	埋設機	既定
ホーン型スピーカー	既定	露出配管・配線 (FEP管 ころがし)	既定
監視カメラ	既定	露出配管	既定
ハンドホール H2-9	R20K-60	いんべい配管・配線	既定
プルボックス	既定	埋設機	既定

注記

1. 図中の細線は既定を示し、太線は新設を示す。
2. 売店員詰所側の機室に伴う、配管の切廻しを行う。
3. 配線機室部の埋設配管は残置とする。
4. 図中の配管・配線サイズおよび種別は、構内配電線一覧表参照とする。

5. 地中埋設配管上部には、ケーブル埋設機及び埋設シートを見込むこと。
6. 地中埋設配管の管相互の間隔は、適正な距離をとること。
7. 地中埋設配管は十分に水勾配を考慮した施工とする。



J部 配線 (架空)

HP1. 2-10P	売店他自火報・非常放送 (売店端子盤)
EM-FOPE0. 65-4C	正門・業務館タイムカード
EM-FOPE1. 2-3P	外部スピーカー
EM-FOPE0. 65-20P	内線電話 (売店端子盤)
EM-FOPE0. 65-5P	売店員詰所 構内交換設備
EM-S-7C-FB	売店員詰所 競馬中継用テレビ設備

J部 配線 (露出) (FEP50) x3

HP1. 2-10P	売店他自火報・非常放送 (売店端子盤)
EM-FOPE0. 65-4C	正門・業務館タイムカード
EM-FOPEE-20P	内線電話 (売店端子盤)
EM-FOPE0. 65-5P	売店員詰所 構内交換設備
EM-S-7C-FB	売店員詰所 競馬中継用テレビ設備

J部 配線 (既定いんべい配管)

HP1. 2-10P	売店他自火報・非常放送 (売店端子盤)
EM-FOPE0. 65-4C	正門・業務館タイムカード
EM-FOPE1. 2-3P	外部スピーカー
EM-FOPE0. 65-20P	内線電話 (売店端子盤)
EM-FOPE0. 65-5P	売店員詰所 構内交換設備
EM-S-7C-FB	売店員詰所 競馬中継用テレビ設備

A部 配線 (組合事務所へ) (いんべい)

HP1. 2-50Pv4	3号自火報 (3号B1-T)
HP1. 2-30P	3号非常放送 (3号B1-T)
HP1. 2-10P	売店他自火報・非常放送 (売店端子盤)
COPO. 5-100P	3号B1階交換室IDF (電話)
COPO. 5-10P	3・4コーナーPHS
7C-FB	3号B1-T 地デジ放送 (一般テレビ)
7C-FB	3号B1-T 競馬中継テレビ
OPEVO. 65-4C	正門・業務館・北門タイムカード
EM-HP1. 2-10Pv4	2号館自火報
EM-HP1. 2-25P	2号館非常放送
GIケーブル (マルチモード4芯) カードリーダー	
HP1. 2-20Pv2	1号端子盤~組合事務所 自火報・非常放送

D部 配線 (地中埋設)

COPO. 5-100P	3号B1階交換室IDF (電話)
7C-FB	3号B1-T 地デジ放送 (一般テレビ)
7C-FB	3号B1-T 競馬中継テレビ

E部 配線 (地中埋設)

COPO. 5-100P	3号B1階交換室IDF (電話)
7C-FB	3号B1-T 地デジ放送 (一般テレビ)
7C-FB	3号B1-T 競馬中継テレビ
EM-HP1. 2-10Pv4	2号館自火報
EM-HP1. 2-25P	2号館非常放送
GIケーブル (マルチモード4芯) カードリーダー	
HP1. 2-20Pv2	1号端子盤~組合事務所 自火報・非常放送

J部 配線 (既定いんべい配管)

LANケーブル	入場ゲート・指定席管理システム
---------	-----------------

I部 配線 (架空機)

HP1. 2-10P	売店他自火報・非常放送 (売店端子盤)
OPEVO. 65-4C	正門・業務館タイムカード
OPEVI. 2-2C	外部スピーカー
LANケーブルx2	入場ゲート・指定席管理システム
NTT光ケーブル100芯	南関東競馬システム
KDDI光ケーブル100芯	南関東競馬システム
NTT光ケーブル100芯	3号屋上アンテナ
KDDI光ケーブル100芯	UQ・AU屋上アンテナ

B部 配線 (組合事務所~各機へ) (架空機)

HP1. 2-50Pv4	3号自火報 (3号B1-T)
HP1. 2-30P	3号非常放送 (3号B1-T)
HP1. 2-10P	売店他自火報・非常放送 (売店端子盤)
COPO. 5-100P	3号B1階交換室IDF (電話)
COPO. 5-10P	3・4コーナーPHS
7C-FB	3号B1-T 地デジ放送 (一般テレビ)
7C-FB	3号B1-T 競馬中継テレビ
OPEVO. 65-4C	正門・業務館・北門タイムカード
EM-HP1. 2-10Pv4	2号館自火報
EM-HP1. 2-25P	2号館非常放送
GIケーブル (マルチモード4芯) カードリーダー	
NTT光ケーブル100芯	南関東競馬システム
HP1. 2-20Pv2	1号端子盤~組合事務所 自火報・非常放送
OPEVO. 65-2C	守衛所~組合事務所インターホン

F部 配線 (地中埋設)

EM-HP1. 2-10Pv4	2号館自火報
EM-HP1. 2-25P	2号館非常放送
GIケーブル (マルチモード4芯) カードリーダー	
HP1. 2-20Pv2	1号端子盤~組合事務所 自火報・非常放送

G部 配線 (架空機)

HP1. 2-10P	売店他自火報・非常放送 (売店端子盤)
OPEVO. 65-4C	正門・業務館タイムカード
NTT光ケーブル100芯	南関東競馬システム
KDDI光ケーブル100芯	南関東競馬システム
NTT光ケーブル100芯	3号屋上アンテナ
KDDI光ケーブル100芯	UQ・AU屋上アンテナ

J部 配線 (露出)

EM-HP1. 2-10P	売店他自火報・非常放送 (売店端子盤)
EM-FOPE0. 65-4C	正門・業務館タイムカード
LANケーブル	入場ゲート・指定席管理システム
EM-FOPE0. 65-20P	内線電話 (売店端子盤)

K部 配線 (3号~1号館) (いんべい)

COPO. 5-100Pv2	3号B1階交換室IDF~1号MDF
L-4E6ATx8	3号保守員室~1号端子盤 マイクケーブル
L-4E6ATx5	3号VTR室~1号端子盤 マイクケーブル
OPEVI. 2-3P	3号VTR室~バックカメラ室
光ケーブルx2	3号~1号VTR室 カメラ
光ケーブル	3号VTR室~馬場内ウィナーズサークルカメラ
光ケーブル8芯x3	3号~1号・バドック・アーケード 監視カメラ
HP1. 2-20Pv2	1号端子盤~組合事務所 自火報・非常放送
OPEVI. 2-3P	3号VTR室~バックカメラ室リモコンスイッチ

M部 配線 3号館~1号館 (地中埋設)

COPO. 5-100Pv2	3号B1階交換室IDF~1号MDF
L-4E6ATx8	3号保守員室~1号端子盤 マイクケーブル
L-4E6ATx5	3号VTR室~1号端子盤 マイクケーブル
OPEVI. 2-3P	3号VTR室~バックカメラ室
光ケーブルx2	3号~1号VTR室 カメラ
光ケーブル	3号VTR室~馬場内ウィナーズサークルカメラ
光ケーブル8芯x3	3号~1号・バドック・アーケード 監視カメラ
HP1. 2-20Pv2	1号端子盤~組合事務所 自火報・非常放送
OPEVI. 2-3P	3号VTR室~バックカメラ室リモコンスイッチ

N部 配線 1号・3号~馬場内へ (地中埋設)

光ケーブルx4	3・4コーナーカメラ室 カメラ
OPEVI. 2-2C	屋上スピーカー
L-4E6ATx8	3号実況放送室~ウィナーズサークルマイクケーブル
L-4E6ATx5	3号~1号VTR室 マイクケーブル
光ケーブルx2	3号~1号VTR室 カメラ
光ケーブル8芯x3	3号~1号・バドック・アーケード 監視カメラ
OPEVI. 2-3P	3号VTR室~バックカメラ室リモコンスイッチ

O部 配線 1号VTR室~カメラ室 (地中埋設)

光ケーブル	バックカメラ室 カメラ
7C-HD	売店関連競馬中継
OPEVI. 2-3P	3号VTR室~バックカメラ室リモコンスイッチ
OPEVO. 65-4C	業務館~正門タイムカード
LANケーブル	正門入退管理システム~自警本部室
光ケーブル8芯x2	3号~バドック・アーケード 監視カメラ
OPEVI. 2-3P	外部スピーカー

電話：COPO. 5-2P
電話：COPO. 5-2P
電話：COPO. 5-5P
電話：COPO. 5-5P
電話：COPO. 5-5P

R部 配線 1号館~売店 (露出)

7C-HD	売店関連競馬中継
OPEVO. 65-4C	業務館~正門タイムカード
LANケーブル	正門入退管理システム~売店HUB
光ケーブル	1号VTR室~屋上HSCカメラ室 監視カメラ
OPEVI. 2-3P	5階テレビリモコンスイッチ

S部 配線 1号館~業務館 (露出)

OPEVO. 65-4C	業務館~正門タイムカード
光ケーブルx4	3・4コーナータワー カメラ
光ケーブル8芯	業務館競馬実況放送テレビ
COPO. 5-50P	業務館 検体所関連電話
HP1. 2-5P	業務館 非常放送・自火報

T部 配線 1号館~バドック・装鞍所 (露出)

COPO. 5-50P	業務館 検体所関連電話
COPO. 5-50P	バドック PHS・電話関連
7C-HD	装鞍所 競馬実況放送
7C-HD 110	下見所・警備所 競馬実況放送

※5 地中埋設配管配線 GL-600

自	至	配線サイズ	配管	備考
設備棟 (PBX)	3号スタンド	EM-EBTO. 5-100P	斜線	
設備棟 (相互通話型(ナカ))	3号スタンド トータリゼータ保守員室	EM-CPEES0. 9-5P		
設備棟 (T-SE2-1)	3号スタンド	S-10C-HFL	(FEP80)	テレビ共同受信設備
設備棟 (T-SE-1-1)	3号スタンド テレビ室	S-10C-HFL	斜線	競馬中継用テレビ設備
設備棟 (競馬実況放送架)	3号スタンド	EM-CPEE1. 2-5P x 4		(FEP80)
		L-4EGAT		
		EM-CPEE1. 2-5P x 2		
		L-4EGAT x 4	5Fセンター放送室	
		EM-UTPO. 5-4P (CAT5e)		
設備棟 (サーバー室) (投票センター)	3号スタンド (地下1階(CVCF室))	EM-R150/125-80 x 4 (別途工事)	(FEP80)	富士通フロンテック
		EM-CPEES0. 68-50P x 6 (別途工事)		
		EM-CPEES0. 65-20P x 4 (別途工事)		
		EM-CPEES0. 65-20P x 2 (別途工事)		
		EM-CPEES0. 65-10P x 4 (別途工事)		
設備棟 監視用	3号スタンド	EM-G150/125-12C (別途工事)	斜線	
設備棟 映像用 (投票センター)	3号スタンド	EM-G150/125-12C (別途工事)		
設備棟 RF用(各室)	3号スタンド (新TV室)	EM-G180/125-40 (別途工事)	(FEP80)	山口シネマ
設備棟 映像用 (投票センター)	3号スタンド	4EGAT x 4 (別途工事)	斜線	
設備棟 予備	3号スタンド	EM-G150/125-12C		
設備棟 (2階 保守員室 中央監視盤)	3号スタンド (地下1階 保守員室 自動制御盤)	EM-G150/125-4C	斜線	
設備棟 (2階 保守員室 照明知脚盤)	3号スタンド (2号スタンド・3号スタンド 照明知脚盤)	EM-FCPEE-S1. 2-3P x 2		

※6 地中埋設配管配線 GL-600

自	至	配線サイズ	配管	備考
設備棟 (PBX)	2号スタンド	EM-EBTO. 5-100P	斜線	
	1号開催本部棟	EM-EBTO. 5-100P		
設備棟 (相互通話型(ナカ))	事務館	EM-EBTO. 5-40P	(FEP100)	
	1号スタンド サーバー室用 インターホン	EM-CPEES0. 8-5P		
設備棟 (T-SE-2-1)	2号スタンド	S-10C-HFL	斜線	
	1号スタンド	S-10C-HFL		
設備棟 (競馬実況放送架)	2号スタンド 1F~4F	EM-HP1. 2-10P	斜線	1号開催本部棟付近
	屋外 (既設スピーカー)	EM-HP1. 2-5P		
	1号開催本部棟	EM-AE1. 2-3C x 4		
設備棟 (サーバー室) (投票センター)	1号スタンド (サーバー室)	EM-HP1. 2-10P x 6	(FEP100) x 2本	富士通フロンテック
		EM-G150/125-24C x 8 (別途工事)		
		EM-CPEES0. 65-50P x 5 (別途工事)		
		EM-G150/125-24C x 5 (別途工事)		
		EM-CPEES0. 65-50P x 5 (別途工事)		
		EM-G150/125-80 x 4 (別途工事)		
		EM-CPEES0. 65-80P x 8 (別途工事)		
		EM-CPEES0. 65-30P x 4 (別途工事)		
		EM-CPEES0. 68-20P x 2 (別途工事)		
		EM-CPEES0. 65-10P x 4 (別途工事)		
設備棟 監視用	1号スタンド	EM-R150/125-12C (別途工事)	斜線	
設備棟 映像用 (投票センター)	1号スタンド	EM-G150/125-12C (別途工事)		
設備棟 RF用(各室)	1号スタンド (TV室)	EM-G150/125-4C (別途工事)	(FEP100)	山口シネマ
設備棟 映像用 (投票センター)	1号スタンド	4EGAT x 4 (別途工事)		
設備棟 予備	1号スタンド	EM-G150/125-12C	斜線	
設備棟 (2階 保守員室 警報盤)	事務館	EM-G150/125-4C		
	1号スタンド	EM-G150/125-4C		

※7 地中埋設配管配線 GL-600

自	至	配線サイズ	配管	備考
設備棟 (PBX)	2号スタンド	EM-EBTO. 5-100P	(FEP30)	
設備棟 (T-SE2-1)	2号スタンド	S-10C-HFL	(FEP30)	
設備棟 (競馬実況放送架)	2号スタンド 1F~4F	EM-HP1. 2-10P	(FEP30)	
設備棟 (サーバー室)	2号スタンド (地下1階 EPS)	EM-R150/125-240 x 5 (別途工事) EM-CPEES0. 68-50P x 5 (別途工事)	(FEP80)	富士通フロンテック

※7' 地中埋設配管配線 GL-600

自	至	配線サイズ	配管	備考
3号スタンド	2号スタンド	撤去: EM-EBTO. 5-100P	既設配管 (FEP30)	電話交換設備
		撤去: EM-AE1. 2-10P	既設配管 (FEP30)	実況放送設備
		撤去: EM-CEE 2" -2C	既設配管 (FEP30)	太陽光発電設備 異常

※8 地中埋設配管配線 GL-600

自	至	配線サイズ	配管	備考
設備棟 (PBX)	1号開催本部棟	EM-EBTO. 5-100P	斜線	
	事務館	EM-EBTO. 5-40P		
設備棟 (相互通話型(ナカ))	1号スタンド サーバー室用 インターホン	EM-CPEES0. 8-5P	(FEP100)	
	1号スタンド	S-10C-HFL		
設備棟 (競馬実況放送架)	1号開催本部棟	EM-HP1. 2-5P	斜線	1号開催本部棟付近
		EM-AE1. 2-3C x 4		
		EM-CPEE1. 2-10P x 4		
設備棟 (サーバー室) (投票センター)	1号スタンド (サーバー室)	EM-HP1. 2-10P x 6	(FEP100)	富士通フロンテック
		EM-R150/125-240 x 5 (別途工事)		
		EM-CPEES0. 68-50P x 5 (別途工事)		
		EM-G150/125-80 x 4 (別途工事)		
		EM-CPEES0. 65-50P x 8 (別途工事)		
		EM-CPEES0. 65-30P x 4 (別途工事)		
		EM-CPEES0. 65-5P x 1 (別途工事)		
設備棟 監視用	1号スタンド	EM-G150/125-12C (別途工事)	斜線	
設備棟 映像用 (投票センター)	1号スタンド	EM-G150/125-12C (別途工事)		
設備棟 RF用(各室)	1号スタンド (TV室)	EM-G150/125-4C (別途工事)	(FEP100)	山口シネマ
設備棟 映像用 (投票センター)	1号スタンド	4EGAT x 4 (別途工事)	斜線	
設備棟 予備	1号スタンド	EM-G150/125-12C		
設備棟 (2階 保守員室 警報盤)	1号スタンド	EM-G150/125-4C	斜線	
		EM-G150/125-4C		

※9 地中埋設配管配線 GL-600

自	至	配線サイズ	配管	備考
設備棟 (PBX)	1号開催本部棟	EM-EBTO. 5-100P	(FEP80)	
設備棟 (競馬実況放送架)	1号開催本部棟	屋外 (既設スピーカー)	EM-HP1. 2-5P	1号開催本部棟付近
		EM-AE1. 2-3C x 4	(FEP80)	
		EM-CPEE1. 2-10P x 4		

※10 隠ぺい配管配線

自	至	配線サイズ	配管	備考
3号スタンド (BIT-4)	1号開催本部棟 (端子盤)	撤去: FCPEV-S1. 2-20P x 4	既設配管	

※11 地中埋設配管配線 GL-600

自	至	配線サイズ	配管	備考
3号スタンド (BIT-4)	1号開催本部棟 (端子盤)	撤去: FCPEV-S1. 2-20P x 4	既設配管	

※12 地中埋設配管配線 GL-600

自	至	配線サイズ	配管	備考
設備棟 (PBX)	走路照明キュービクル棟	EM-EBTO. 5-10P	斜線	
	非常用発電機棟	EM-EBTO. 5-10P		
設備棟 (2階 保守員室 中央監視盤)	非常用発電機棟 (IRS-1)	EM-CPEES0. 9-3P	(FEP80)	
	走路照明キュービクル棟 (自動制御用中継端子盤)	EM-CEES1. 25" -2C		
設備棟 (2階 保守員室 走路照明用 照明知脚盤)	走路照明キュービクル棟	RS-485 x 2	斜線	

※13 地中埋設配管配線 GL-600

自	至	配線サイズ	配管	備考
設備棟 (PBX)	走路照明キュービクル棟	EM-EBTO. 5-10P	斜線	
設備棟 (2階 保守員室 中央監視盤)	走路照明キュービクル棟 (自動制御用中継端子盤)	EM-CEES1. 25" -2C		
設備棟 (2階 保守員室 走路照明用 照明知脚盤)	走路照明キュービクル棟	既設配線RS-485 x 2 新設配線RS-485 x 2	(FEP80)	
		EM-CPEES0. 9-15P		
非常用発電機棟	走路照明キュービクル棟	EM-CEE-S1. 25" -20C	斜線	配線は 非常用発電機棟工事
		EM-CEES2" -3C		

※14 地中埋設配管配線 GL-600

自	至	配線サイズ	配管	備考
設備棟 (PBX)	非常用発電機棟	EM-EBTO. 5-10P	斜線	
設備棟 (2階 保守員室 中央監視盤)	非常用発電機棟 (IRS-1)	EM-CPEES0. 9-3P		
非常用発電機棟	走路照明キュービクル棟	EM-CPEES0. 9-15P	(FEP80)	配線は 非常用発電機棟工事
		EM-CEE-S1. 25" -20C		
		EM-CEES2" -3C		

※15 架空 メッセンジャーワイヤー14mm2 x 4本

自	至	配線サイズ	配管	備考
設備棟 (PBX)	既設組合事務所	EM-EBTO. 5-20P	-	
設備棟 (T-SE-1-1)	既設組合事務所 (既設端子盤)	EM-G150/125-8C	-	
設備棟 (収納ボックス)	既設組合事務所 (既設収納ボックス)	EM-G150/125-2C	-	構内情報通信網設備と 同一架空
設備棟 (T-SE-2-1)	既設組合事務所 (既設HE)	S-10C-HFL	-	テレビ共同受信設備
3号スタンド テレビ室 ~設備棟	既設組合事務所	S-10C-HFL	-	競馬中継用テレビ設備

特記事項

- ※1. 配管とハンドホールは、別途工事とする。
- ※2. は、非常用発電機棟工事 (別途工事) を示す。
- ※3. 非常用発電機棟に設置する非常用発電機設備とLP-HJ-1-1及び、その高圧幹線 (GR-101) と低圧幹線 (GL-SE-103, GP-SE-104) の配線は非常用発電機棟工事 (別途工事) とする。
- ※4. は、将来工事範囲を示す。
- ※5. は、既設配管を示す。
- ※6. 既設配管の利用にあつては、既設配管の太さを考慮し、利用本数が最適かつ、最小となるよう計画すること。なお、事前に計画図等を作成し、監督員の承認を受けること。

電話交換機設備仕様書

1. 一般事項

1-1 概要 本仕様は、構内電話交換装置に関する電話交換機、電話機、関連機器及び、機器据付工事に適用するものとする。

1-2 設備工事 本設備工事は下記のものとする。

- ・デジタル交換機
- ・専用電源装置(整流器・バッテリー搭載)
- ・電話機
- ・PHSアンテナ
- ・音声応答転送装置(IVR)
- ・音声通話録音装置
- ・音声留守応答装置
- ・コンソール用PC(電話交換機及び周辺機器用)
- ・SW-HUB
- ・19インチラック(周辺機器収納用)

2. 電話交換機 本体仕様

2-1 品名 デジタル交換機(参考 富士通製 LEGEND V 相当品)

2-2 方式
 制御方式 蓄積プログラム制御方式
 通話方式 時分割PCM方式
 制御装置 32ビットマイクロプロセッサ
 冗長構成 一重化

2-3 設置条件 自立設置

2-4 収容回線数

回線種別	現用	実装	備考
局線(INS64)	6回線	12回線	2ch/回線
固定内線	多機能 128内線	160内線	
一般内線	231内線	344内線	
PHSアンテナ	82台	96台	
PHS電話機	約100台		既存流用

※上記数量は参考とします

2-5 番号計画

接続種別	番号	備考
内線番号	××もしくは×××	
局線発信	0	
転送	フック+内線番号	

2-6 トラフィック条件 基準内線呼量 6.0HCS

2-7 電源仕様 動作電圧 直流-43V ~ 56V

2-8 線路条件
 一般電話機 1200Ω以下(DP), 800Ω以下(PB)(電話機内部抵抗を含む)
 多機能電話機 0.5Φケーブルで1.2km(2W)
 PHSアンテナ 0.5Φケーブルで1,000m(本体給電時)

2-9 環境条件 温度:0~40℃、湿度:20~80%RH(結露なきこと)

2-10 冷却方式 強制空冷

3. 電源装置 仕様
 電源をACからDCに変換し電話交換機本体に電源を供給するとともに装置内バッテリーに充電するものとする。

3-1 交流入力(定格電圧) AC200V±10%
 交流入力(相数) 三相
 交流入力(周波数) 50・60Hz ±5%

3-2 直流出力(定格電圧) -53.5V
 出力電圧範囲 -43.2~56.0V

3-3 PBX停電保障時間 3時間

3-4 バッテリー寿命 約10年

4. 電話機その他端末等

4-1 多機能電話機 フリーアサインボタン:23個、ディスプレイ表示:漢字英数字、バックライト有

4-2 多機能電話機(停電対応)フリーアサインボタン:23個、ディスプレイ表示:漢字英数字、バックライト有 INS64局線接続対応

4-2 一般電話機 転送、再呼、スピーカ、保留機能付き

4-3 PHSアンテナ 使用周波数帯:1.9GHz帯

4-4 音声応答転送装置(IVR) タカコム製 IVR2430 II 相当品

4-5 音声通話録音装置 タカコム製 VR-755 LGV 相当品 ※17インチモニター付(S1703-T相当品)

4-6 音声留守応答装置 タカコム製 AT-4000N 相当品(数量5台)

4-7 コンソール用PC(ノート) OS:Windows 10 Pro CPU:intel Corei7以上 メモリ:4GB以上 LANインタフェース:10BASE/100BASE-TX/1000BASE-T 光学ドライブ:DVDスーパーマルチ付

4-8 SW-HUB(周辺機器接続用) LANポート(10BASE/100BASE-TX/1000BASE-T)×8port以上

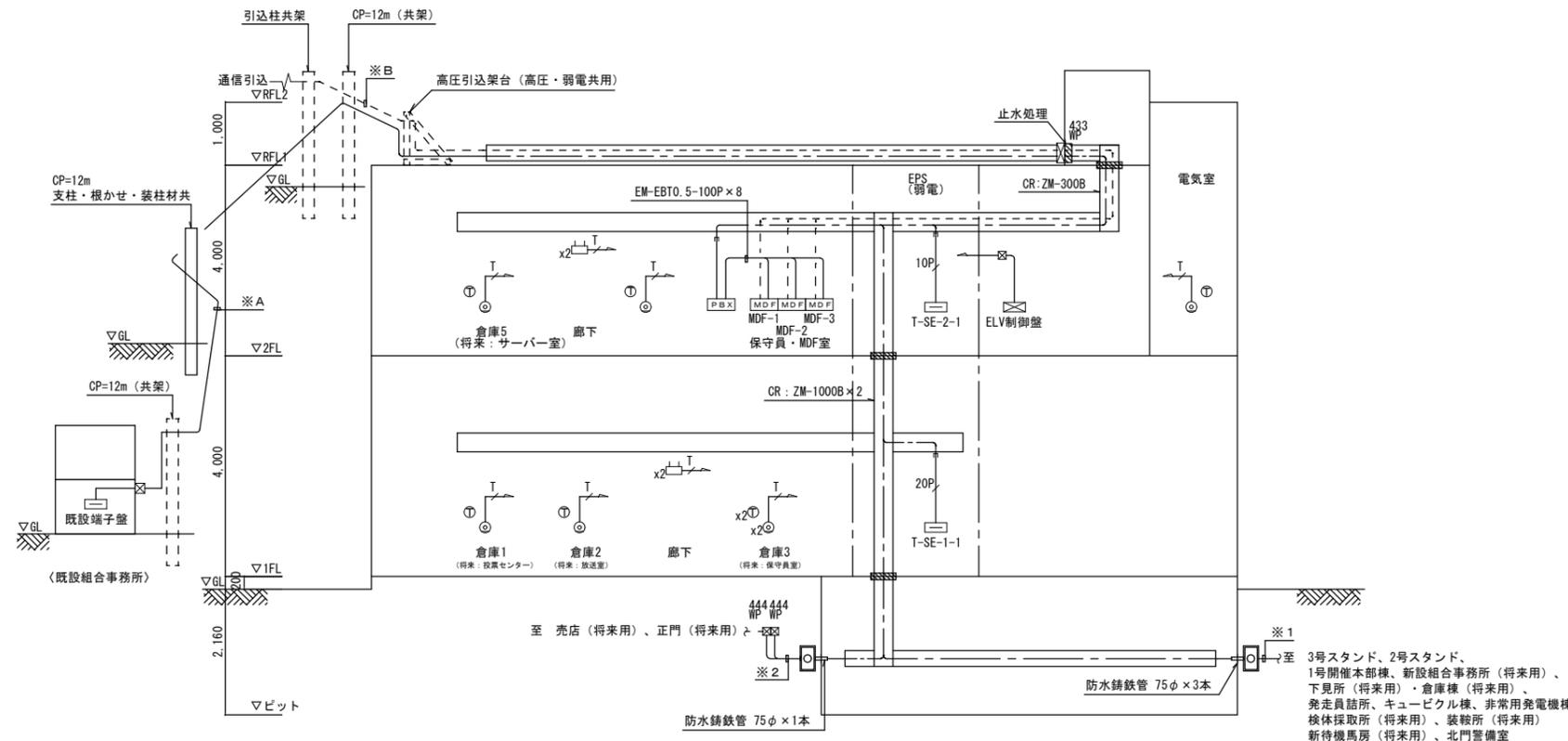
4-9 19インチラック 音声応答転送装置、音声通話録音装置、音声留守応答装置 コンソール用PC及び、関連機器の収容をすること。
 U数:42U

5. 中継方式図

6. 工事関連事項

NO	略号	名称	NO	略号	名称
1	DL	多機能電話機/中継台用回路	5	PBR	PB信号受信器
2	LC	一般電話機用7回線回路	6	POW	電源装置
3	BS	PHSアンテナ回路	7	NW	通話路
4	BRI	INS64局線用回路			

デジタル交換機	電源装置	多機能電話機(停電対応含む)
一般電話機	PHSアンテナ	音声応答転送装
音声通話録音装	音声留守応答装	コンソール用PC
※別途モニター有り		
SW-HUB	19インチラック	



※A 架空 メッセンジャーワイヤー14mm2

自	至	配線サイズ	配管	備考
設備棟 (PBX)	既設組合事務所	EM-EBTO. 5-20P	-	

※B 通信引込

自	至	配線サイズ	配管	備考
通信引込	設備棟 (MDF-1)	通信引込 光8芯×1 (NTT工事)	-	3号スタンド屋上 基地局用 (NTTドコモ)
		通信引込 光24芯×1 (NTT工事)	-	
	設備棟 (MDF-2)	通信引込 光100芯×1 (NTT工事)	-	NTT引込
		通信引込 メタル 50P (NTT工事)	-	
設備棟 (MDF-3)	通信引込 光100芯×1 (NTT工事)	-	3号スタンド5階へ (富士通フレッチャ工事)	

※1 地中埋設配管配線 GL-600

自	至	配線サイズ	配管	備考
設備棟 (PBX)	3号スタンド	EM-EBTO. 5-100P	(FEP100)	
	2号スタンド	EM-EBTO. 5-100P		
	1号開催本部棟	EM-EBTO. 5-100P		
	事務室	EM-EBTO. 5-10P	(FEP100)	
	発走員詰所	EM-EBTO. 5-10P		
	北門警備室	EM-EBTO. 5-5P		
	新設組合事務所	EM-EBTO. 5-10P		
	下見所・倉庫棟	EM-EBTO. 5-10P		
	検体採取所	EM-EBTO. 65-2P	(FEP80)	
	実験所	EM-EBTO. 65-30P		
新待機馬房	EM-EBTO. 5-5P	(FEP80)		
走路照明キュービクル	EM-EBTO. 5-10P			
非常用発電機棟	EM-EBTO. 5-10P			

※2 地中埋設配管配線 GL-600

自	至	配線サイズ	配管	備考
設備棟 (PBX)	売店	EM-EBTO. 5-10P	(FEP80)	
	正門	EM-EBTO. 5-10P		

凡例

記号	名称	備考
[MDF]	主配線盤	
[PBX]	電話交換器	
[端子]	弱電用端子盤	
[ELV]	ELV制御盤	昇降機設備工事
[壁付]	壁付電話用アウトレット	モジュラージャック6極4芯付
[電話]	内線電話機	富士通 issphone 20d2相当品
[P]	PHSアンテナ	WPは屋外用収納箱入り
[M3]	マンホール M3	R20K-60
[ボックス]	ブルボックス	仕様は注記参照
[ラック]	ケーブルラック	特記なきはZM-500B
[ラック上]	ケーブルラック上配線	
[線]	配管・配線	
[防火]	防火区画貫通処理 (ケーブルラック床貫通用)	国土交通大臣認定番号 PS060FL-0232

端子盤対数表

端子盤	端子盤	構内交換設備	構内情報通信網設備	誘導支援設備	テレビ共同受信設備	非常放送設備	実況放送設備	予備	備考
MDF-1	鋼板製屋内自立型	光変換器スペース	-	-	-	-	-	-	露出コンセント 2P15A×2 E極付
MDF-2	鋼板製屋内自立型	メタルケーブル: 50P + 光変換器スペース	局線 800P	-	-	-	-	-	10回路用SPD×5 (8/20μS カテゴリーC2) 露出コンセント 2P15A×2 E極付
MDF-3	鋼板製屋内自立型	光変換器スペース	-	-	-	-	-	-	露出コンセント 2P15A×2 E極付
T-SE-1-1	鋼板製屋内自立型	20P	HUB 8ポート ガスブライズボックス SFPモジュール	-	系統図参照	10P	10P	30P	・放送設備用SPD×10 (8/20μS カテゴリーC2)、 大電流信号回線用SPD (自火報用)×15 (8/20μS カテゴリーC2)、 RS485用SPD (走路照明用)×2 (8/20μS カテゴリーC2)、 信号回線用SPD (警報線用)×1 (8/20μS カテゴリーC2)、 制御電源回路用SPD (空調制御信号線用)×4 (8/20μS カテゴリーC2)、 自動制御用としてメディアコンバータ、 ガスブライズボックス 4ポートを見込むこと ・露出コンセント 2P15A×2 E極付
T-SE-2-1	鋼板製屋内自立型	10P	HUB 8ポート	10P	系統図参照	10P	10P	30P	露出コンセント 2P15A×2 E極付

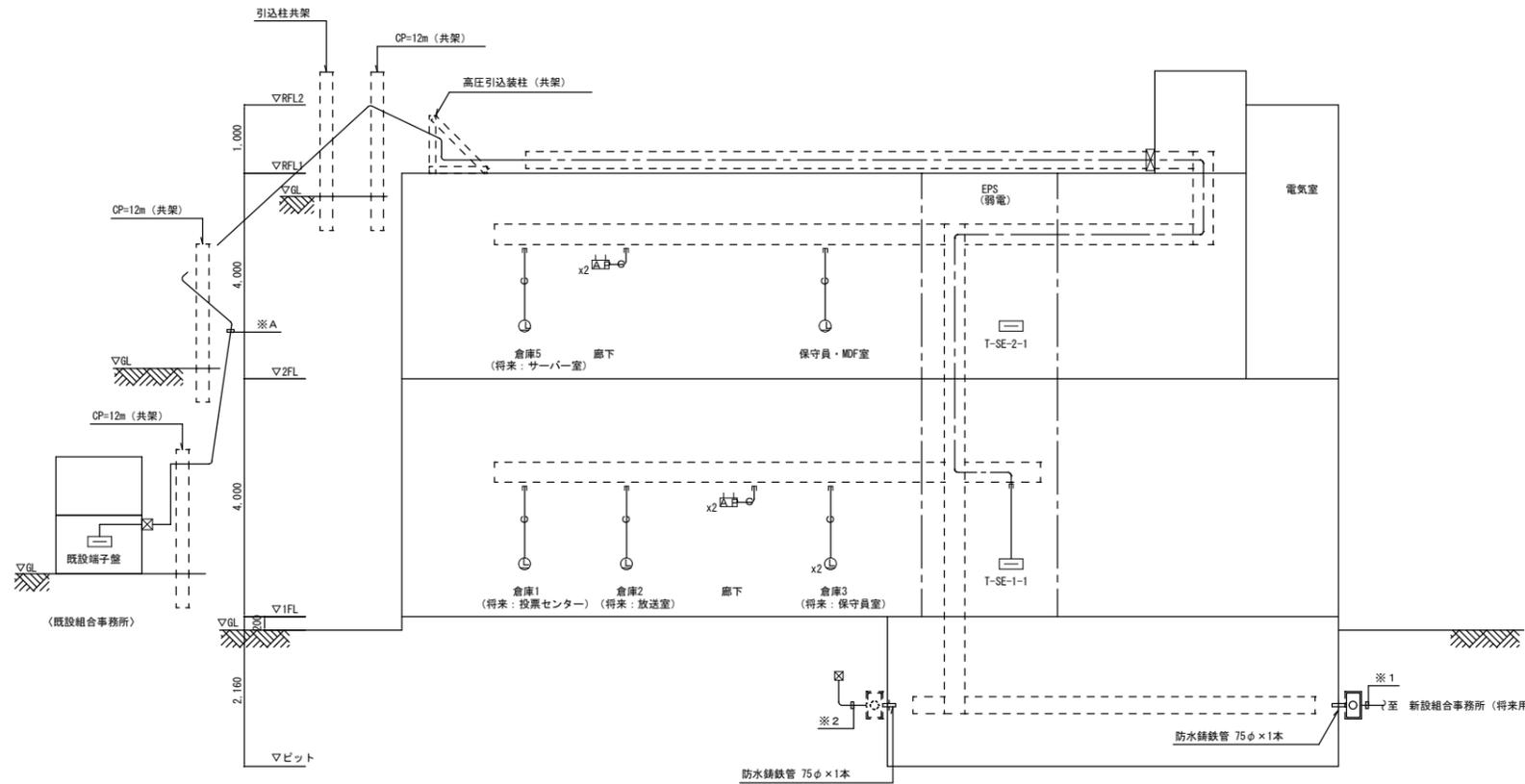
- 注記
- 特記なき配管・配線は下記による。
 - 防火区画又は防火上主要な間仕切りを貫通する場合は、関係法律に適合したもので貫通部に適合する延焼防止処理を施すこと。
 - ケーブル配線に於いて、壁立上げ・引下げ箇所ではケーブル保護の為保護管使用の事。
 - 屋外に使用する配管は溶融垂鉛メッキ仕上げ (Z35) とする。但し、ボックス・ボルト・ナット・支持材等はSUS製とする。
 - 横引きのケーブルラック及び配管の防火区画貫通処理の場所は平面図を参照。
 - 横引きのケーブルラックサイズは平面図を参照。
 - ブルボックスの仕様は下記による。(鋼板製屋外型)

(傍記 WP は屋外型、溶融垂鉛メッキ仕上げとする)
 - ELV制御盤の配線は下記による。

名称	用途	行先	配線
ELV制御盤	リモートメンテナンス	T-SE-2-1	EM-EBTO. 65-4C

特記事項

※1. は将来工事範囲を示す。
 ※2. は非常用発電機棟工事 (別途工事) を示す。
 ※3. 設備棟から各棟までの幹線において、幹線は設備棟の工事であり、配管、ハンドホールは別途工事とする。



凡例

記号	名称	備考
□	弱電用端子盤	構内交換設備工事
△	無線LANアクセスポイント用ボックス	配管・ボックス迄本工事
○	壁付LAN用アウトレット	配管・ボックス迄本工事
⊙	マンホール M3	構内交換設備工事
⊠	プルボックス	構内交換設備工事
---	ケーブルラック	構内交換設備工事
---	ケーブルラック上配線	
---	配管・配線	

注記

- 特記なき配管・配線は下記による。
 ○ 空配管 (PF22)
 --- EM-G150/125-8C
- 防火区画又は防火上主要な間仕切りを貫通する場合は、関係法律に適合したもの (国土交通大臣認定工法又は配管突出 (1m以上) 及び両端口元耐火シール充填等) で貫通部に適合する延焼防止処理を施すこと。

※A 架空 メッセージワイヤー14mm2

自	至	配線サイズ	配管	備考
設備棟 (T-SE-1-1)	既設組合事務所 (既設端子盤)	EM-G150/125-8C	-	構内交換設備と同一架空

※1 地中埋設配管配線 GL-600

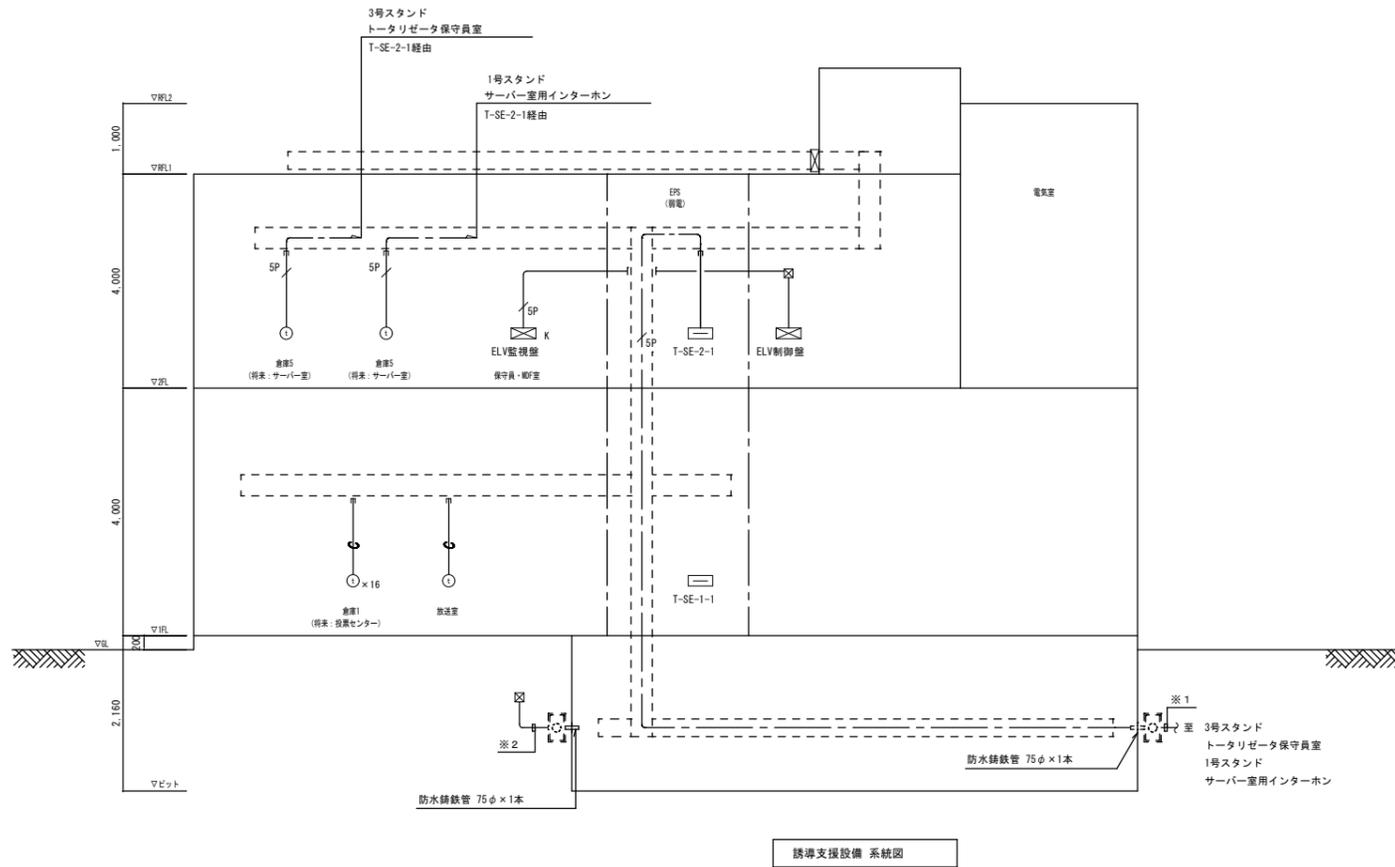
自	至	配線サイズ	配管	備考
設備棟 (T-SE-1-1)	1号スタンド	遮断管	(FEP100)	

※2 地中埋設配管配線 GL-600

自	至	配線サイズ	配管	備考
1号スタンド (設備棟経由)	売場、正門	遮断管	(FEP80)	

特記事項

- ※1 は将来工事範囲を示す。
- ※2 設備棟から各棟までの幹線において、配線は各棟の工事であり、配管、ハンドホールは別途工事とする。



凡例

記号	名称	備考
競馬運営用インターホン設備		
①	相互通話型インターホン	90局用
②	相互通話型インターホン	90局用 将来用
エレベータ呼出表示設備		
⊠	ELV制御盤	昇降機設備工事
⊞	ELV監視盤	昇降機設備工事
共通		
□	弱電用端子盤	構内交換設備工事
⊙	マンホール M3	構内交換設備工事
⊞	ブルボックス	構内交換設備工事
----	ケーブルラック	構内交換設備工事
----	ケーブルラック上配線	
----	配管・配線	

注記

- 特記なき配管・配線は下記による。
 SP EM-CPEESO. 9-5P 保護部 (PF22)
 空配管 (PF22)
- 防火区画又は防火上主要な間仕切りを貫通する場合は、関係法律に適合したもの(国土交通大臣認定工法又は配管突出(1m以上)及び両端口元耐火シール充填等)で貫通部に適合する延焼防止処理を施すこと。
- ケーブル配線に於いて、壁上げ・引下げ箇所ではケーブル保護の為保護管使用の事。
- ELV制御盤の配線は下記による。

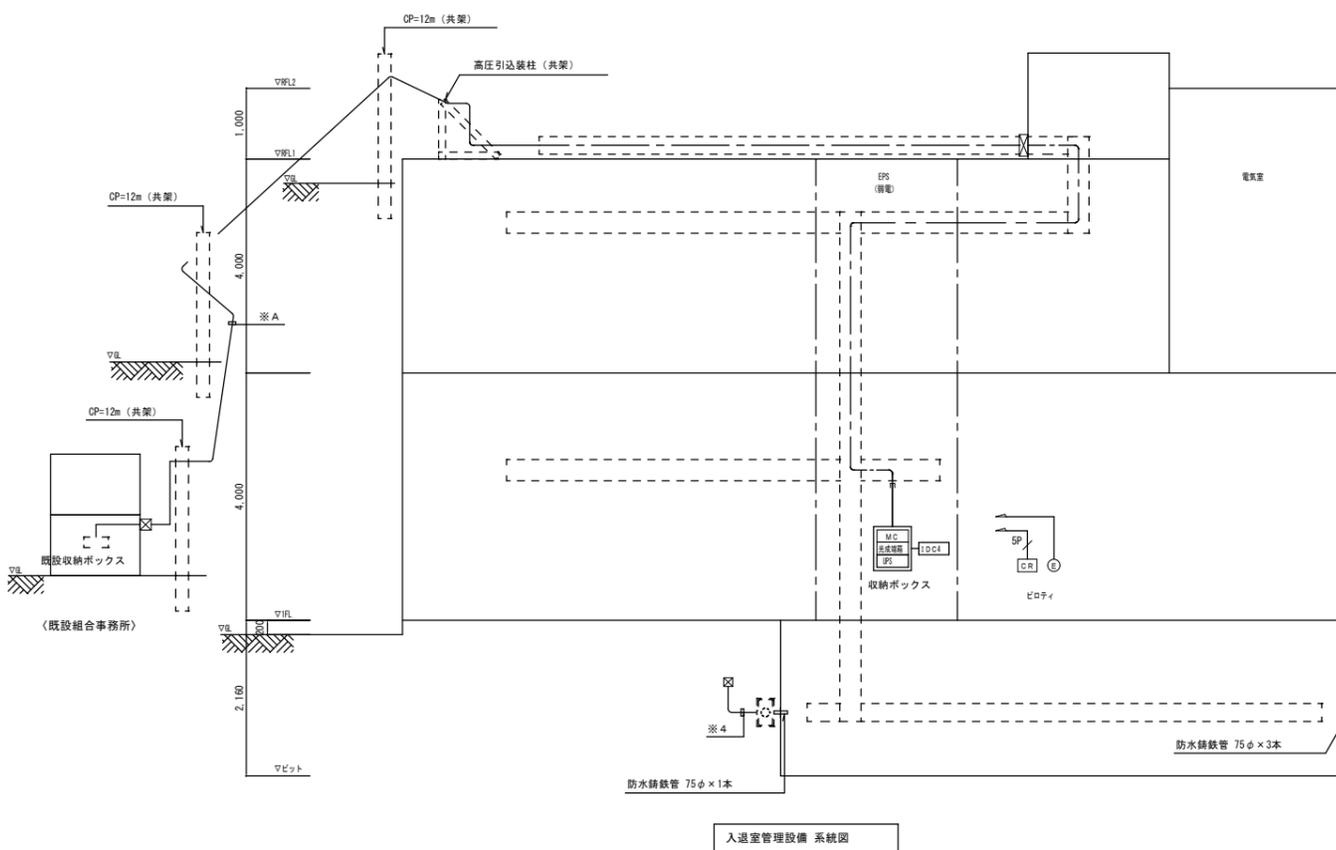
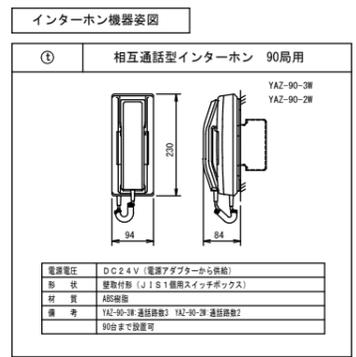
名称	用途	行先	配線
ELV制御盤	ELVインターホン	ELV監視盤	EM-CPEESO. 9-5P
	エレベータ呼出表示	ELV監視盤	EM-56-2V

※1 地中埋設配管配線 GL-600

自	至	配線サイズ	配管	備考
設備棟 (相互通話型インターホン)	3号スタンド トータリゼータ保守員室	EM-CPEESO. 9-5P	(FEP80)	構内交換設備 と同一配管
	1号スタンド サーバー室用 インターホン	EM-CPEESO. 9-5P		

※2 地中埋設配管配線 GL-600

自	至	配線サイズ	配管	備考
設備棟 (相互通話型インターホン)	売店・守衛室	空配管	(FEP80)	



凡例

記号	名称	備考
CR	カードリーダー	
⊞	電気錠	建築工事
⊙	マンホール M3	構内交換設備工事
⊞	ブルボックス	構内交換設備工事
----	ケーブルラック	構内交換設備工事
----	ケーブルラック上配線	
----	配管・配線	

注記

- 特記なき配管・配線は下記による。
 SP EM-CPEESO. 9-3P 保護部 (PF22)
 EM-CPEESO. 9-5P 保護部 (PF22)
 EM-G150/125-2C (ケーブルラック上)
- 防火区画又は防火上主要な間仕切りを貫通する場合は、関係法律に適合したもの(国土交通大臣認定工法又は配管突出(1m以上)及び両端口元耐火シール充填等)で貫通部に適合する延焼防止処理を施すこと。
- 既設管理パソコン(既設組合事務所)との配線接続、機器調整は本工事とする。

※A 架空 メッセンジャーワイヤー30mm2

自	至	配線サイズ	配管	備考
設備棟 (収納ボックス)	既設組合事務所 (既設収納ボックス)	EM-G150/125-2C	-	構内情報通信設備と 同一架空

※3 地中埋設配管配線 GL-600

自	至	配線サイズ	配管	備考
設備棟 (収納ボックス)	新設組合事務所 (収納ボックス)	EM-G150/125-4C	(FEP100)	

※4 地中埋設配管配線 GL-600

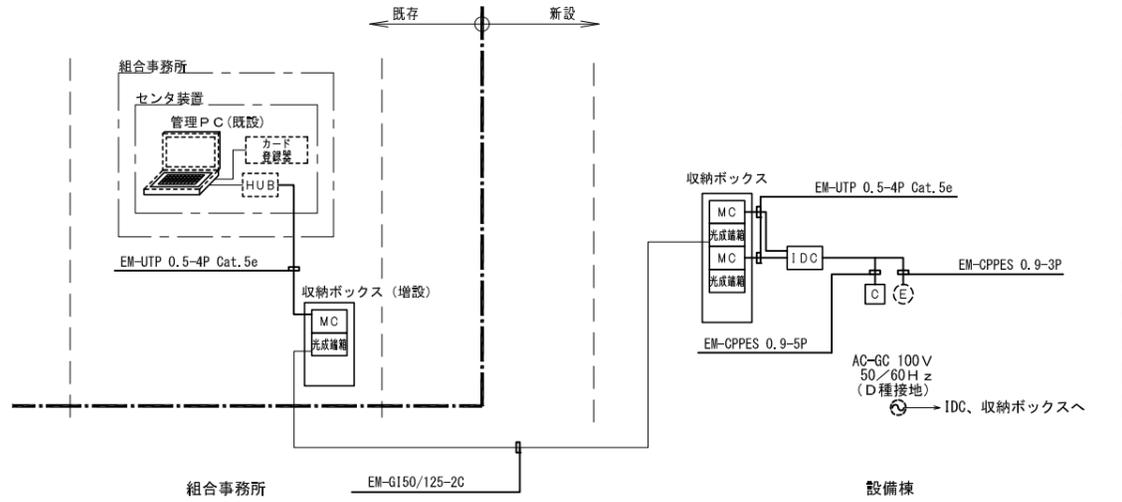
自	至	配線サイズ	配管	備考
新設組合事務所棟 (設備棟経由)	売店・守衛室	EM-G150/125-4C	(FEP80)	

特記事項

※1 は将来工事範囲を示す。

※2 設備棟から各棟までの幹線において、配線は各棟の工事であり、地中埋設配管、ハンドホールは別途工事とする。

システム構成図

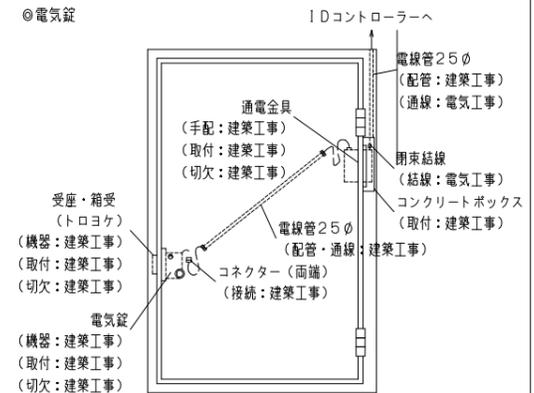


記号	名称	備考	IDC	IDコントローラー
[HUB]	スイッチングハブ	既設	[C]	非接触カードリーダー (防滴)
[LIP]	連動コントローラー	既設	[E]	電気錠
[カード登録機]	非接触カード登録機	既設	[E]	光成端箱収納ボックス
[MIDC]	メインIDコントローラー	既設	[E]	光成端箱
			[MC]	メディアコンバーター

注1. ネットワークは、セキュリティシステム専用ネットワークとする。

工事区分

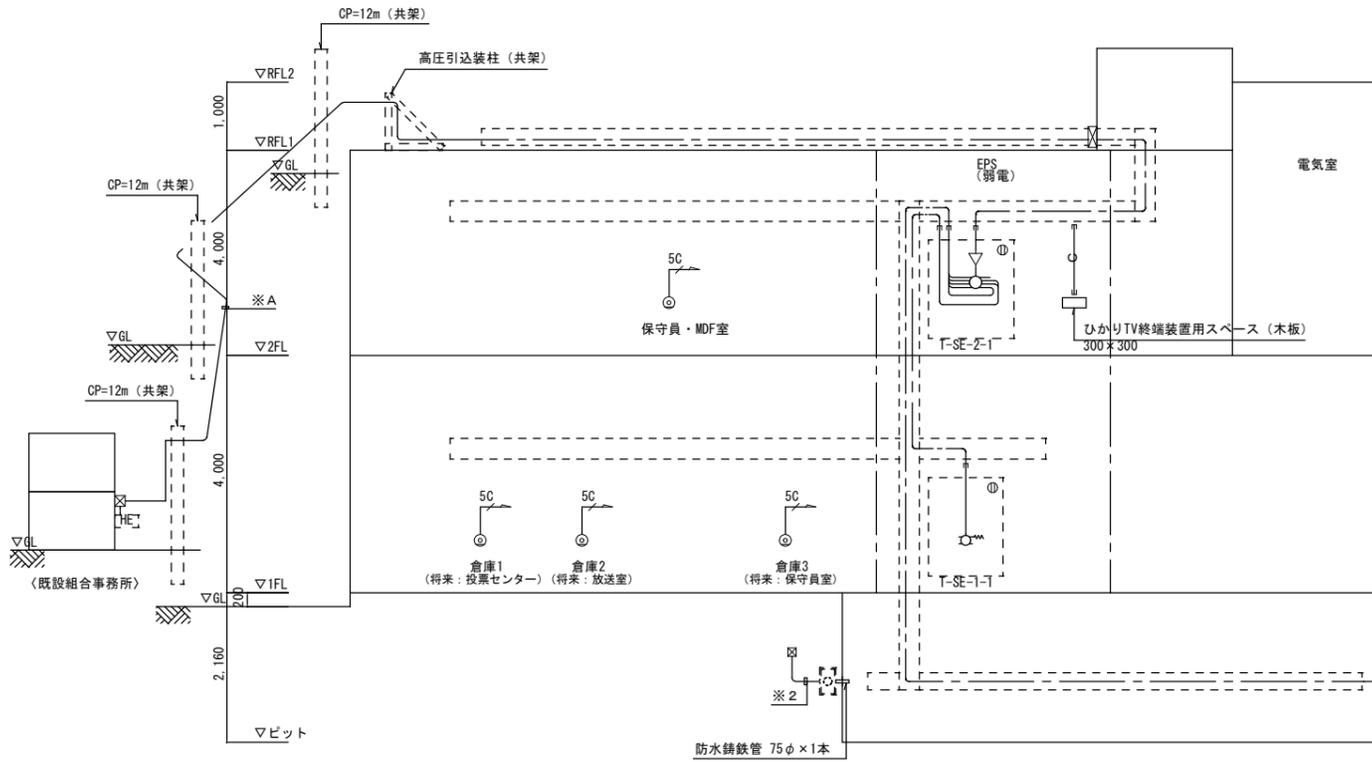
手配項目	建築工事	電気工事	その他	備考
システム構築 (連動コントローラー (LIP)、 IDコントローラー (MIDC、IDC)、非接触カードリーダー、 収納ボックス、メディアコンバーター、光成端箱)		○		
机			○	別途
椅子			○	別途
電気錠、通電金具	○			
自動ドア (制御盤含む)				
非接触カードリーダー用埋込ボックス	JIS BOX	○		
非接触カード				300枚
システム構築の配付・結線・調整工事		○		
非接触カードリーダー取付のための孔開・仕上げ工事		○		
非接触カードリーダー埋込ボックスの取付工事		○		
電気錠、通電金具の取付・調整工事		○		
自動ドア (制御盤含む) の取付・調整工事				
電気錠取付のためのサッシ扉の切欠工事 (トロコケ取付)		○		
システム構築	配管・通線工事	○		
	結線工事	○		
IDコントローラー (IDC) ~ 通電金具、自動ドア制御盤	配管・通線工事	○		
	結線工事	○		
一次側電源工事		○		
一次側電源~システム構築	配管・通線工事	○		
	結線工事	○		
光成端箱工事		○		
カードデータ登録			○	施工
カードデザイン			○	施工
システム単体調整			○	
システム総合調整	○	○		



機器外形図 形状・寸法は参考とする。

<p>IDC IDコントローラー (カードリーダー接続タイプ/4ch)</p> <table border="1"> <tr><td>概要</td><td>電気錠とカードリーダーの制御を行う。</td></tr> <tr><td>管理画面</td><td>最大4屏 (4電気錠もしくは8カードリーダー)</td></tr> <tr><td>防犯監視</td><td>各屏2ループ</td></tr> <tr><td>上位通信 I/F</td><td>LAN (100BASE-TX / 10BASE-T 自動切替) : 1ch</td></tr> <tr><td>スイッチングHUB</td><td>4ポートスイッチングHUBを内蔵 (内1ポートを本装置のLANポートとして使用)</td></tr> <tr><td>汎用端子</td><td>8入力、8出力</td></tr> <tr><td>電源</td><td>AC100V 50/60Hz 250VA以下</td></tr> <tr><td>塗色</td><td>ライトベージュ</td></tr> <tr><td>質量</td><td>本体: 約5kg / 約6kg (停電補償なし/あり) フレーム: 約1.8kg</td></tr> <tr><td>環境条件</td><td>屋内環境 温度: 0~40℃ 湿度: 30~80%RH (結露なきこと)</td></tr> <tr><td>停電時動作補償</td><td>停電補償時間: 10分</td></tr> </table>	概要	電気錠とカードリーダーの制御を行う。	管理画面	最大4屏 (4電気錠もしくは8カードリーダー)	防犯監視	各屏2ループ	上位通信 I/F	LAN (100BASE-TX / 10BASE-T 自動切替) : 1ch	スイッチングHUB	4ポートスイッチングHUBを内蔵 (内1ポートを本装置のLANポートとして使用)	汎用端子	8入力、8出力	電源	AC100V 50/60Hz 250VA以下	塗色	ライトベージュ	質量	本体: 約5kg / 約6kg (停電補償なし/あり) フレーム: 約1.8kg	環境条件	屋内環境 温度: 0~40℃ 湿度: 30~80%RH (結露なきこと)	停電時動作補償	停電補償時間: 10分	<p>[E] 光成端箱</p> <table border="1"> <tr><td>概要</td><td>非接触にてリーダーにIDコードを送信する。</td></tr> <tr><td>通信方式</td><td>誘導電磁界方式</td></tr> <tr><td>変換方式</td><td>ASK方式</td></tr> <tr><td>データ転送速度</td><td>212k bps</td></tr> <tr><td>周波数</td><td>13.56MHz</td></tr> <tr><td>通信規格</td><td>SONY仕様 (FelICa)</td></tr> <tr><td>質量</td><td>6.5g</td></tr> <tr><td>電源</td><td>カードリーダーより供給 (電池無タイプ)</td></tr> </table>	概要	非接触にてリーダーにIDコードを送信する。	通信方式	誘導電磁界方式	変換方式	ASK方式	データ転送速度	212k bps	周波数	13.56MHz	通信規格	SONY仕様 (FelICa)	質量	6.5g	電源	カードリーダーより供給 (電池無タイプ)	<p>[C] 非接触カードリーダー (防滴タイプ/埋込み)</p> <table border="1"> <tr><td>概要</td><td>IDカードの照合を行う。</td></tr> <tr><td>対応カード</td><td>FelICa</td></tr> <tr><td>読み取り距離</td><td>約6cm 原則、金属面への取り付けは行わないこと。</td></tr> <tr><td>表示</td><td>LED9点</td></tr> <tr><td>プザー</td><td>電子プザー 1点</td></tr> <tr><td>電源</td><td>DC24V (コントローラーから給電)</td></tr> <tr><td>塗色</td><td>タークグレイ</td></tr> <tr><td>質量</td><td>約400g (埋込ボックスを除く)</td></tr> <tr><td>環境条件</td><td>温度: -10~45℃ 湿度: 35~90%RH (結露なきこと)</td></tr> <tr><td>適合規格</td><td>保護等級: IP55 リーダライタ性能規格: FelICa・交通系共用Mクラス VCCI: 一般財団法人VCCI協会 クラスB情報処理装置</td></tr> </table>	概要	IDカードの照合を行う。	対応カード	FelICa	読み取り距離	約6cm 原則、金属面への取り付けは行わないこと。	表示	LED9点	プザー	電子プザー 1点	電源	DC24V (コントローラーから給電)	塗色	タークグレイ	質量	約400g (埋込ボックスを除く)	環境条件	温度: -10~45℃ 湿度: 35~90%RH (結露なきこと)	適合規格	保護等級: IP55 リーダライタ性能規格: FelICa・交通系共用Mクラス VCCI: 一般財団法人VCCI協会 クラスB情報処理装置	<p>[MC] メディアコンバーター</p> <table border="1"> <tr><td>概要</td><td>管理Web機能を実装する。</td></tr> <tr><td>管理可能なIDC台数</td><td>20台まで</td></tr> </table>	概要	管理Web機能を実装する。	管理可能なIDC台数	20台まで	<p>[E] 光成端箱収納ボックス</p> <table border="1"> <tr><td>使用条件</td><td>屋内専用</td></tr> <tr><td>塗色</td><td>ライトベージュ</td></tr> <tr><td>質量</td><td>約11kg / 約19kg</td></tr> <tr><td>材質</td><td>鋼板</td></tr> <tr><td>板厚</td><td>1.2t</td></tr> </table>	使用条件	屋内専用	塗色	ライトベージュ	質量	約11kg / 約19kg	材質	鋼板	板厚	1.2t	<p>[E] 非接触カード</p> <table border="1"> <tr><td>概要</td><td>IEEE802.3u 100BASE-TX / 100BASE-FX (PMDを除く)</td></tr> <tr><td>ポート</td><td>100BASE-TX (RJ-45コネクタ) x1 100Mbps光 (SCコネクタ) x1</td></tr> <tr><td>電源部</td><td>定格入力電圧 AC100~120V 入力電圧範囲 AC90~132V 定格周波数 50/60Hz 定格入力電流 0.2A 最大入力電流 0.08A (実測値) 平均消費電力 3.3W (最大4.6W) 平均発熱量 11.7kJ/h (最大16.7kJ/h)</td></tr> <tr><td>環境条件</td><td>動作時温度 0~40℃ 動作時湿度 80%以下 (ただし、結露なきこと) 保管時温度 -20~60℃ 保管時湿度 95%以下 (ただし、結露なきこと)</td></tr> <tr><td>質量</td><td>100g (ACアダプタ含まず)</td></tr> </table>	概要	IEEE802.3u 100BASE-TX / 100BASE-FX (PMDを除く)	ポート	100BASE-TX (RJ-45コネクタ) x1 100Mbps光 (SCコネクタ) x1	電源部	定格入力電圧 AC100~120V 入力電圧範囲 AC90~132V 定格周波数 50/60Hz 定格入力電流 0.2A 最大入力電流 0.08A (実測値) 平均消費電力 3.3W (最大4.6W) 平均発熱量 11.7kJ/h (最大16.7kJ/h)	環境条件	動作時温度 0~40℃ 動作時湿度 80%以下 (ただし、結露なきこと) 保管時温度 -20~60℃ 保管時湿度 95%以下 (ただし、結露なきこと)	質量	100g (ACアダプタ含まず)	<p>[MC] ライセンスカード</p> <table border="1"> <tr><td>概要</td><td>管理Web機能を実装する。</td></tr> <tr><td>管理可能なIDC台数</td><td>20台まで</td></tr> </table>	概要	管理Web機能を実装する。	管理可能なIDC台数	20台まで
概要	電気錠とカードリーダーの制御を行う。																																																																																											
管理画面	最大4屏 (4電気錠もしくは8カードリーダー)																																																																																											
防犯監視	各屏2ループ																																																																																											
上位通信 I/F	LAN (100BASE-TX / 10BASE-T 自動切替) : 1ch																																																																																											
スイッチングHUB	4ポートスイッチングHUBを内蔵 (内1ポートを本装置のLANポートとして使用)																																																																																											
汎用端子	8入力、8出力																																																																																											
電源	AC100V 50/60Hz 250VA以下																																																																																											
塗色	ライトベージュ																																																																																											
質量	本体: 約5kg / 約6kg (停電補償なし/あり) フレーム: 約1.8kg																																																																																											
環境条件	屋内環境 温度: 0~40℃ 湿度: 30~80%RH (結露なきこと)																																																																																											
停電時動作補償	停電補償時間: 10分																																																																																											
概要	非接触にてリーダーにIDコードを送信する。																																																																																											
通信方式	誘導電磁界方式																																																																																											
変換方式	ASK方式																																																																																											
データ転送速度	212k bps																																																																																											
周波数	13.56MHz																																																																																											
通信規格	SONY仕様 (FelICa)																																																																																											
質量	6.5g																																																																																											
電源	カードリーダーより供給 (電池無タイプ)																																																																																											
概要	IDカードの照合を行う。																																																																																											
対応カード	FelICa																																																																																											
読み取り距離	約6cm 原則、金属面への取り付けは行わないこと。																																																																																											
表示	LED9点																																																																																											
プザー	電子プザー 1点																																																																																											
電源	DC24V (コントローラーから給電)																																																																																											
塗色	タークグレイ																																																																																											
質量	約400g (埋込ボックスを除く)																																																																																											
環境条件	温度: -10~45℃ 湿度: 35~90%RH (結露なきこと)																																																																																											
適合規格	保護等級: IP55 リーダライタ性能規格: FelICa・交通系共用Mクラス VCCI: 一般財団法人VCCI協会 クラスB情報処理装置																																																																																											
概要	管理Web機能を実装する。																																																																																											
管理可能なIDC台数	20台まで																																																																																											
使用条件	屋内専用																																																																																											
塗色	ライトベージュ																																																																																											
質量	約11kg / 約19kg																																																																																											
材質	鋼板																																																																																											
板厚	1.2t																																																																																											
概要	IEEE802.3u 100BASE-TX / 100BASE-FX (PMDを除く)																																																																																											
ポート	100BASE-TX (RJ-45コネクタ) x1 100Mbps光 (SCコネクタ) x1																																																																																											
電源部	定格入力電圧 AC100~120V 入力電圧範囲 AC90~132V 定格周波数 50/60Hz 定格入力電流 0.2A 最大入力電流 0.08A (実測値) 平均消費電力 3.3W (最大4.6W) 平均発熱量 11.7kJ/h (最大16.7kJ/h)																																																																																											
環境条件	動作時温度 0~40℃ 動作時湿度 80%以下 (ただし、結露なきこと) 保管時温度 -20~60℃ 保管時湿度 95%以下 (ただし、結露なきこと)																																																																																											
質量	100g (ACアダプタ含まず)																																																																																											
概要	管理Web機能を実装する。																																																																																											
管理可能なIDC台数	20台まで																																																																																											

※形状及び寸法は参考とする。



テレビ共同受信設備 系統図

凡例

記号	名称	備考
□	弱電用端子盤	構内交換設備工事
HE	ヘッドエンド	既設
◎	壁付テレビ端子	SH-77F
△	増幅器	CATV・SH-1
☆	4分配器	SH-D4
◇	8分配器	SH-D8
≡	ダミー抵抗	
⊕	露出コンセント 2P15A×2 E極付	増幅器用(弱電用端子盤内)
⊗	マンホール M3	構内交換設備工事
⊠	ブルボックス	構内交換設備工事
≡≡≡	ケーブルラック	構内交換設備工事
≡≡≡≡	ケーブルラック上配線	
—	配管・配線	

- 注記
- 特記なき配管・配線は下記とする。
 5C EM-S-5C-FB 保護部(PF22)
 S-10C-HFL (ケーブルラック上)
 - ケーブル配線に於いて、壁立上げ・引下げ箇所ではケーブル保護の為に保護管使用の事。
 - 防火区画又は防火上主要な間仕切りを貫通する場合は、関係法律に適合したもの(国土交通大臣認定工法又は配管突出(1m以上)及び両端口元耐火シール充填等)で貫通部に適合する延焼防止処理を施すこと。

※1 2号スタンド、3号スタンド、発走員詰所
 1号スタンド(将来用)、馬主会館(将来用)
 新設組合事務所(将来用)

※A 架空 メッセージワイヤー30mm2

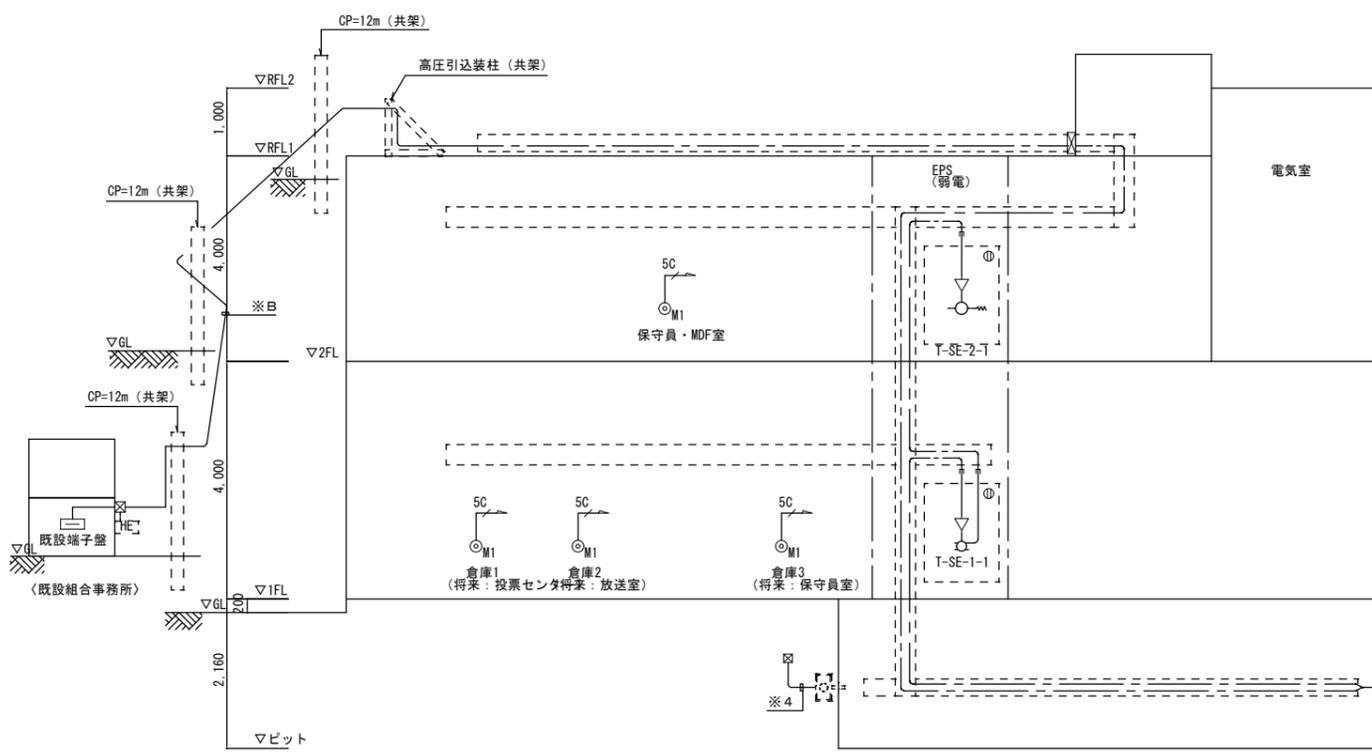
自	至	配線サイズ	配管	備考
設備棟 (T-SE-2-1)	既設組合事務所 (既設HE)	S-10C-HFL	-	

※1 地中埋設配管配線 GL-600

自	至	配線サイズ	配管	備考
設備棟 (T-SE-2-1)	3号スタンド	S-10C-HFL	(FEP100)	
	2号スタンド	S-10C-HFL		
	1号スタンド	S-10C-HFL		
	発走員詰所	EM-S-7C-FB		

※2 地中埋設配管配線 GL-600

自	至	配線サイズ	配管	備考
設備棟 (T-SE-2-1)	売店・守衛室	空配管	(FEP80)	



競馬中継用テレビ設備 系統図

凡例

記号	名称	備考
□	弱電用端子盤	構内交換設備工事
◎M1	競馬中継テレビモニター用	SH-77F
△	増幅器	CATV・SH-1
◇	2分配器	SH-D2
☆	4分配器	SH-D4
≡	ダミー抵抗	
⊕	露出コンセント 2P15A×2 E極付	増幅器用(弱電用端子盤内)
⊗	マンホール M3	構内交換設備工事
⊠	ブルボックス	構内交換設備工事
≡≡≡	ケーブルラック	構内交換設備工事
≡≡≡≡	ケーブルラック上配線	
—	配管・配線	

- 注記
- 特記なき配管・配線は下記とする。
 5C EM-S-5C-FB 保護部(PF22)
 S-10C-HFL (ケーブルラック上)
 - ケーブル配線に於いて、壁立上げ・引下げ箇所ではケーブル保護の為に保護管使用の事。
 - 防火区画又は防火上主要な間仕切りを貫通する場合は、関係法律に適合したもの(国土交通大臣認定工法又は配管突出(1m以上)及び両端口元耐火シール充填等)で貫通部に適合する延焼防止処理を施すこと。

※3 3号スタンド テレビ室
 1号スタンド テレビ室

※B 架空 メッセージワイヤー30mm

自	至	配線サイズ	配管	備考
既設組合事務所	1号スタンド テレビ室	S-10C-HFL	-	テレビ共同受信設備と同一架空
3号スタンド テレビ室 ~ 設備棟	既設組合事務所	S-10C-HFL	-	

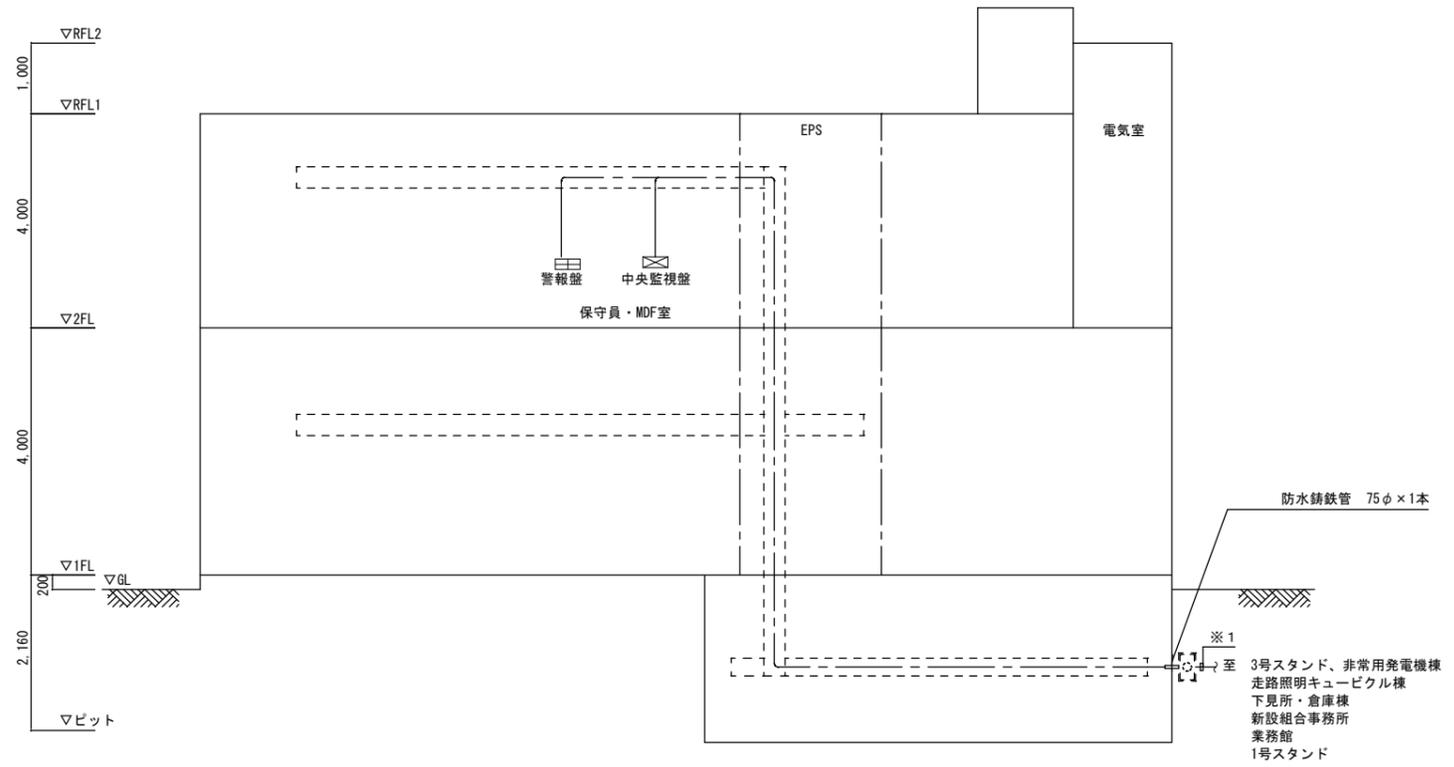
※3 地中埋設配管配線 GL-600

自	至	配線サイズ	配管	備考
設備棟	3号スタンド テレビ室	S-10C-HFL	(FEP30)	
既設組合事務所	1号スタンド テレビ室	S-10C-HFL		

※4 地中埋設配管配線 GL-600

自	至	配線サイズ	配管	備考
1号スタンド (設備棟経由)	売店・守衛室	空配管	(FEP80)	テレビ共同受信設備と同一配管

特記事項
 ※1 斜線は将来工事範囲を示す。
 ※2 設備棟から各棟までの幹線において、配線は各棟の工事であり、配管、ハンドホールは別途工事とする。



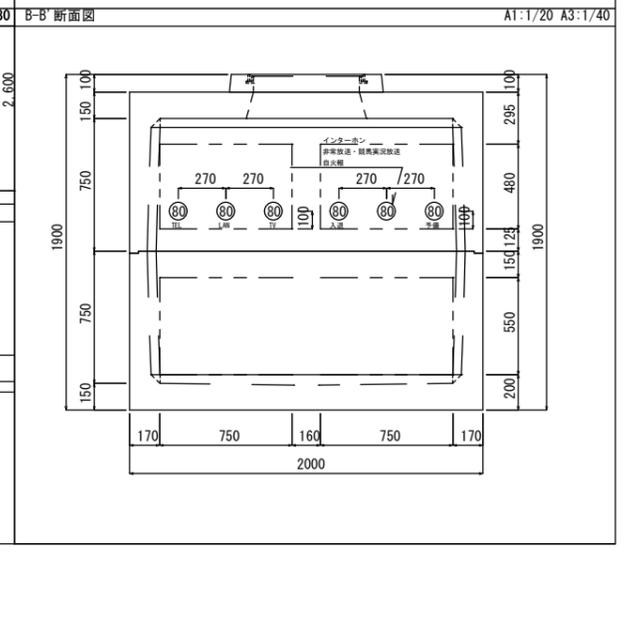
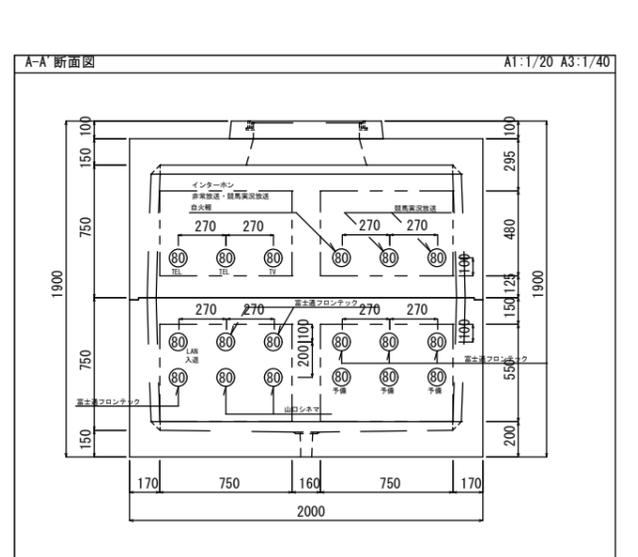
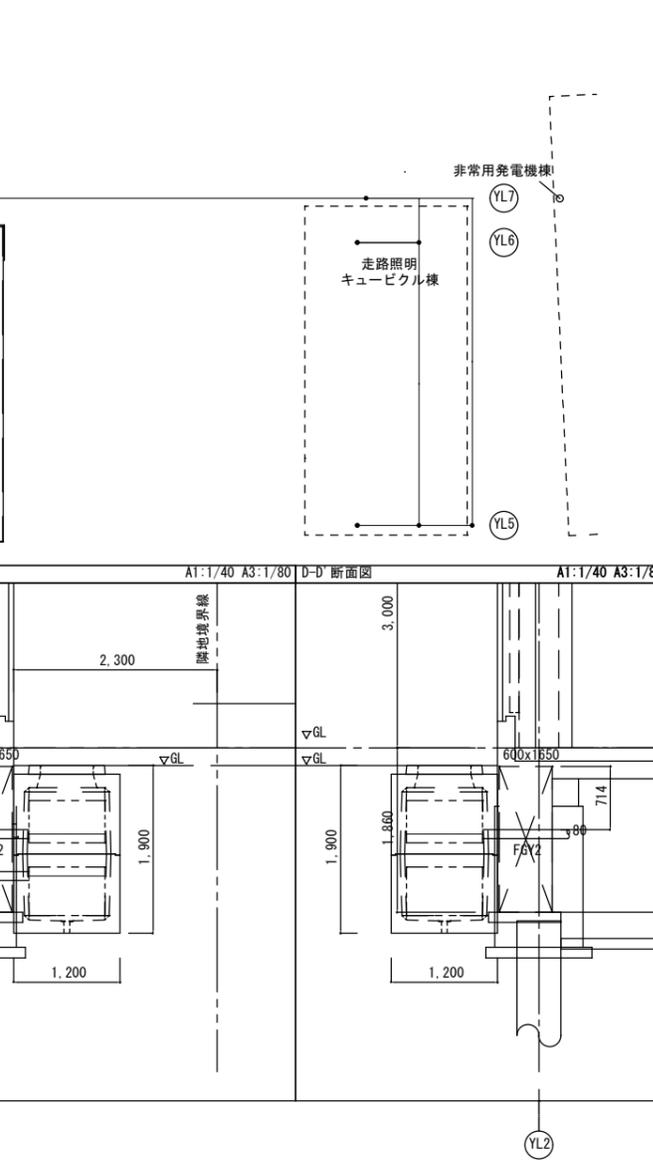
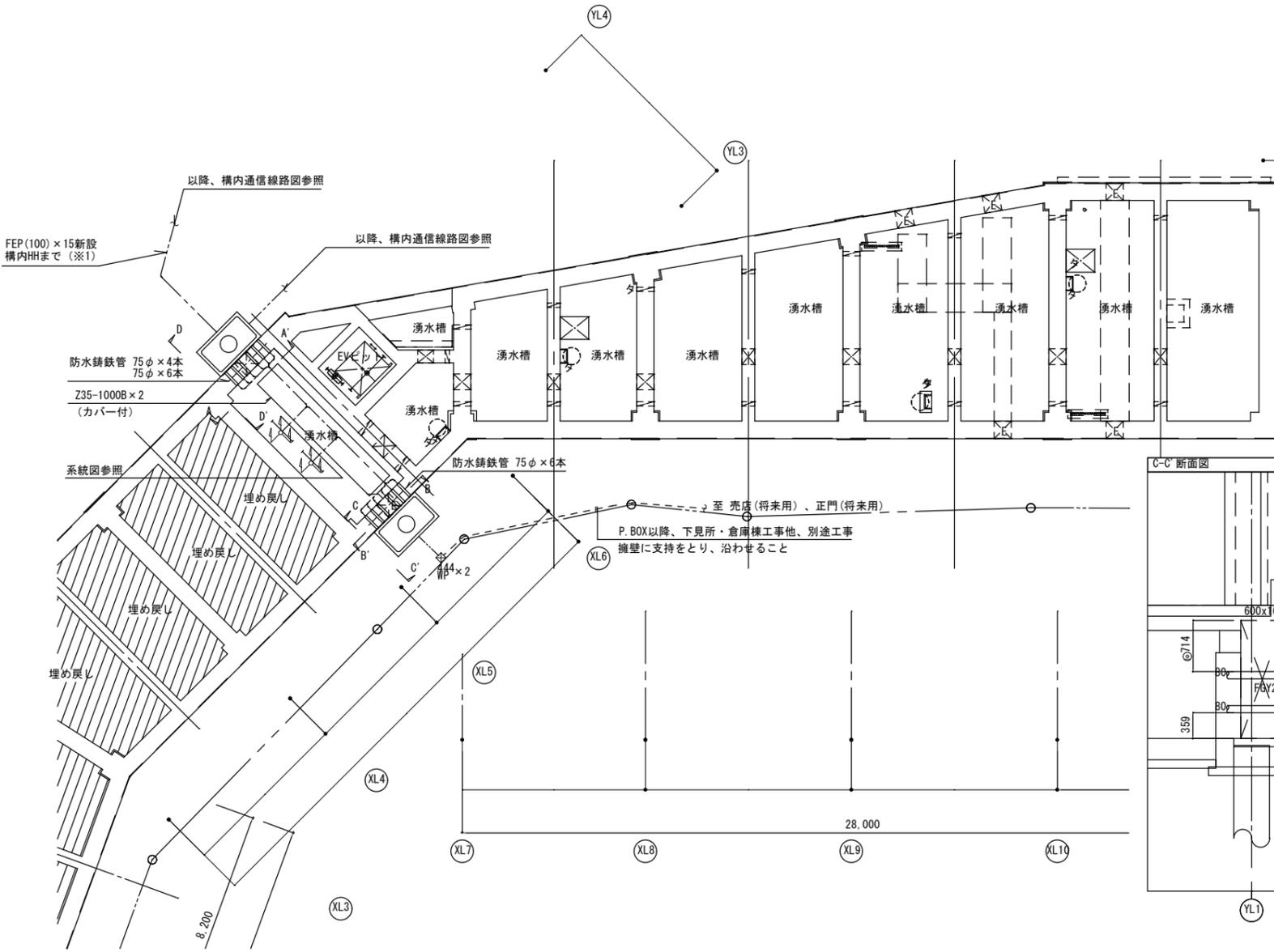
凡例

記号	名称	備考
☒	中央監視盤	自動制御工事
☒	警報盤	自動制御工事
---	ケーブルラック	構内交換設備工事
---	ケーブルラック上配線	
☒	マンホール M3	構内交換設備工事
---	配管・配線	

※1 地中埋設配管配線 GL-600

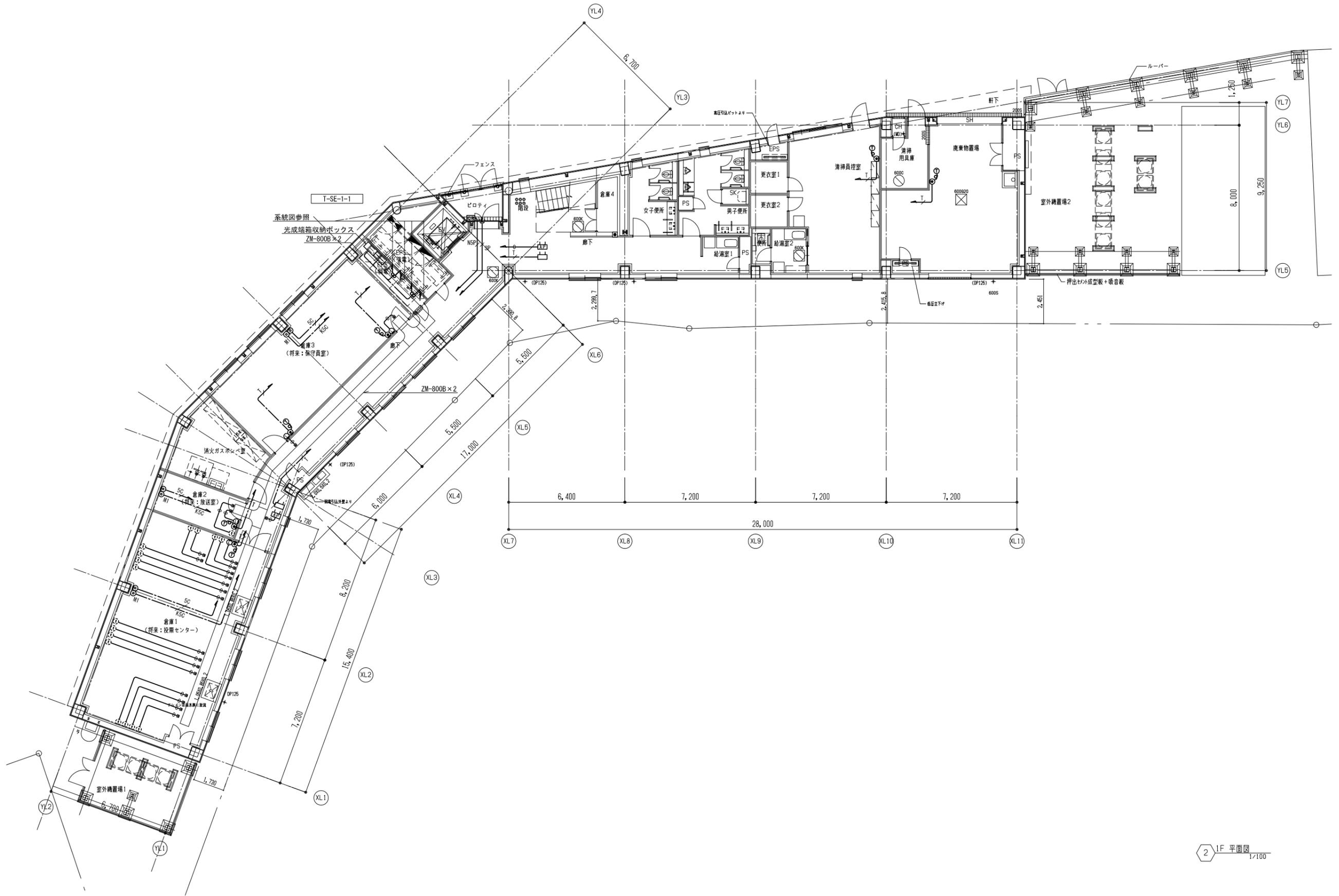
自	至	配線サイズ	配管	備考
設備棟 (2階 保守員室 中央監視盤)	非常用発電機棟 (1RS-1)	EM-CPEES0.9-3P	(FEP80)	
	走路照明キュービクル棟 (自動制御用中継端子盤)	EM-CEES1.25°-2C		
設備棟 (2階 保守員室 警報盤)	3号スタンド (地下1階 保守員室 自動制御盤)	EM-G150/125-4C	(FEP80)	
	下見所・倉庫棟	EM-B150/125-4C		
	新設組合事務所	EM-G150/125-4C		
	業務館	EM-G150/125-4C		
	1号スタンド	EM-G150/125-4C		

特記事項
 ※1. は非常用発電機棟工事（別途工事）を示す。
 ※2. 設備棟から各棟までの幹線において、幹線は設備棟の工事であり、配管、ハンドホールは別途工事とする。

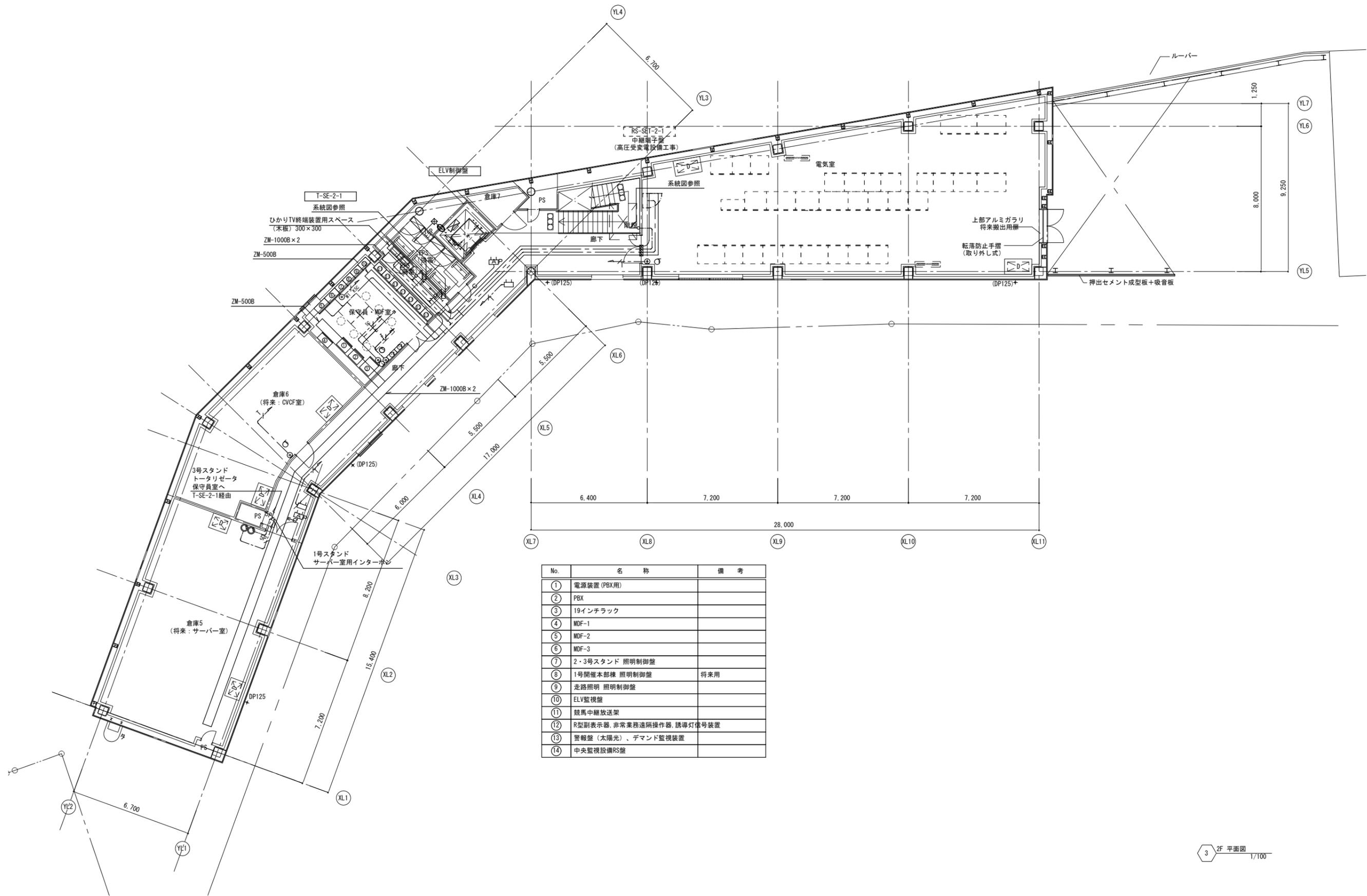


記号	名称	備考	記号	名称	備考
構内交換設備			テレビ共同受信設備		
□	弱電用端子盤		◎	壁付テレビ端子 2端子接続型	SH-77F
	壁付電話用アウトレット	モジュラージャック6極4芯付	競馬中継用テレビ設備		
○	内線電話機	富士通 isophone 20d2相当品	◎M1	競馬中継テレビモニター用	SH-77F
□	PHSアンテナ		共通		
構内情報通信網設備			☒	ブルボックス	仕様は注記参照
□	無線LANアクセスポイント用ボックス	配管・ボックス迄本工事	☒	ハンドホール H2-9	破線は幹線・動力設備工事
□	壁付LAN用アウトレット	配管・ボックス迄本工事	☒	マンホール M3	R20K-60
競馬運営用インターホン設備			○	防火区画貫通処理 (配管壁貫通用)	国土交通大臣認定番号 PS060M-0213, 0297, 0358
○	相互通話型インターホン	90局用	□	防火区画貫通処理 (ケーブルラック壁貫通用)	国土交通大臣認定番号 PS060FL-0222
○	相互通話型インターホン	90局用 将来用	〰〰〰	立上げ、立下げ、素通し	
エレベータ呼出表示設備			〰〰〰	ケーブルラック	
☒	ELV制御盤	昇降機設備設備工事	〰〰〰	ケーブルラック上配線	
☒K	ELV監視盤	昇降機設備設備工事	---	隠蔽配管・配線	
入退室管理設備			---	露出配管・配線	
CR	カードリーダー		---	OAフロア配線	
◎	電気錠	建築工事	---	地中埋設配管・配線	GL-600以上

- 注記**
- 特記なき配管・配線は下記とする。
 - <構内交換設備>
 - EM-EBT0.65-2P 保護部 (PF22)
 - <構内情報通信網設備>
 - 空配管 (PF22)
 - <競馬運営用インターホン設備>
 - EM-CPEES0.9-5P 保護部 (PF22)
 - <エレベータ呼出表示設備>
 - ESP EM-CPEES0.9-5P 保護部 (PF22)
 - 空配管 (PF22)
 - ケーブル配線に於いて、壁立上げ・引下げ箇所ではケーブル保護の為保護管使用の事。
 - 屋外露出部の配管は厚鋼電線管としWU+FF64ボックス共溶融垂鉛メッキ仕上げ (Z35) とする。但し、ボルト・ナット・支持材等はSUS製とする。
 - 防火区画又は防火上主要な間仕切りを貫通する場合は、関係法律に適合したもの (国土交通大臣認定工法又は配管突出 (1m以上) 及び両端口元耐火シール充填等) で貫通部に適合する延焼防止処理を施すこと。
 - ブルボックスの仕様は下記による。(鋼板製屋外型、E端子付)
 - ☒221 (傍記無しは 221 とする。)
 - 高さ寸法: 100
 - よこ寸法: 200
 - たて寸法: 200
 (傍記 WP は屋外型、溶融垂鉛メッキ仕上げとする)
 - ハンドホール及び建物下に埋設する配管は、沈下対策として建物の構造体より支持を取ること。
 - 縦引きのケーブルラック及び配管の防火区画貫通処理の場所は系統図を参照。
 - 縦引きのケーブルラックサイズは系統図を参照。

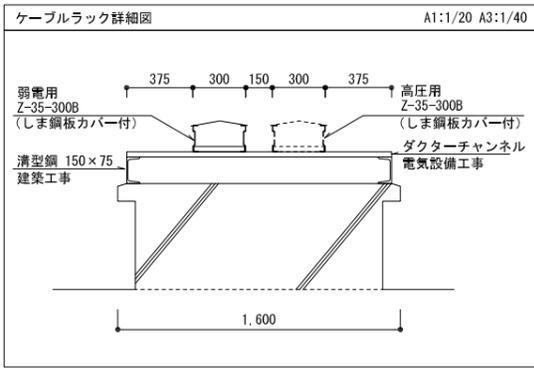
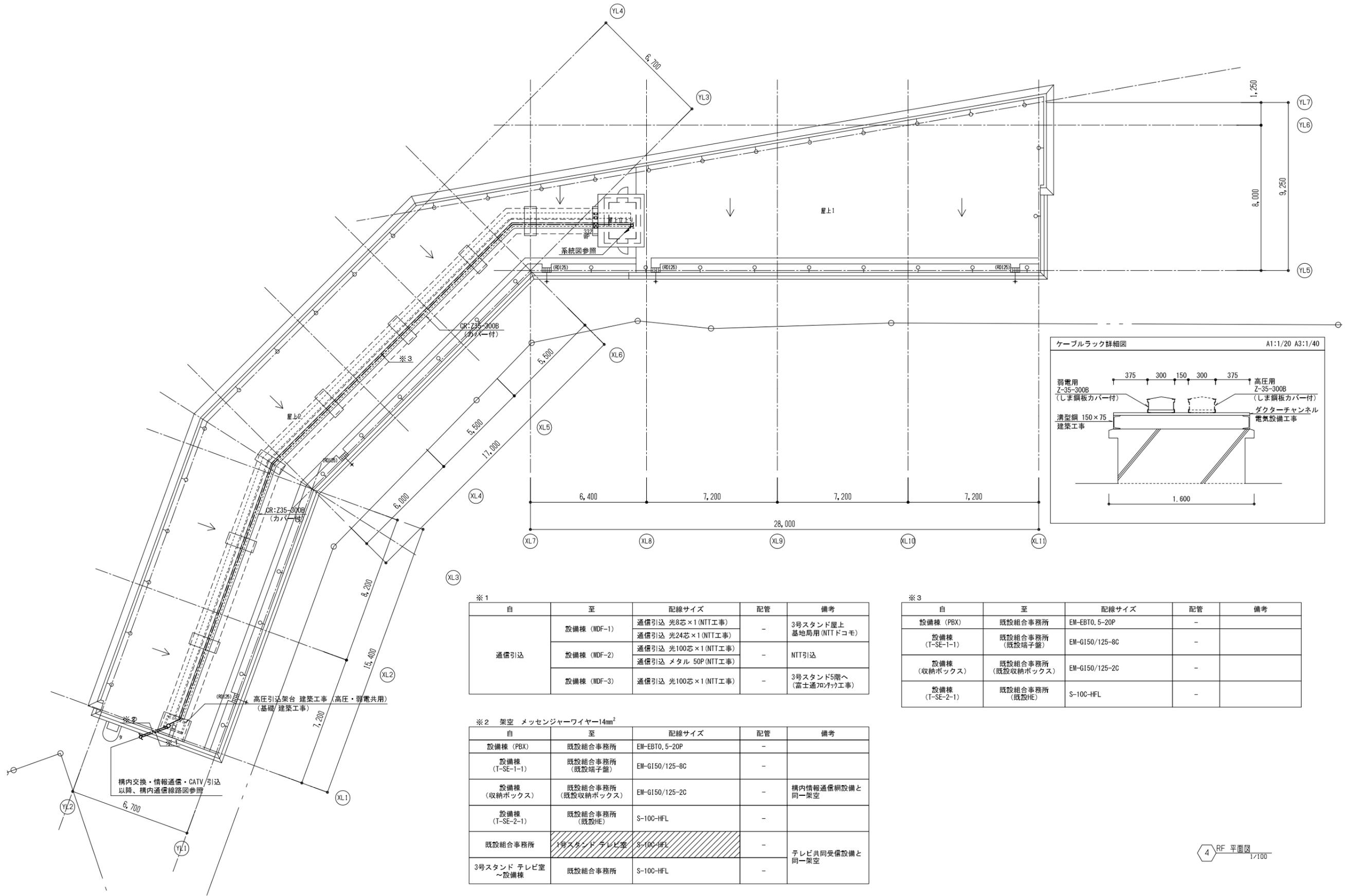


2 1F 平面図 1/100



No.	名称	備考
①	電源装置 (PBX用)	
②	PBX	
③	19インチラック	
④	MDF-1	
⑤	MDF-2	
⑥	MDF-3	
⑦	2・3号スタンド 照明制御盤	
⑧	1号開催本部棟 照明制御盤	将来用
⑨	走路照明 照明制御盤	
⑩	ELV監視盤	
⑪	競馬中継放送架	
⑫	R型副表示器、非常業務遠隔操作器、誘導灯信号装置	
⑬	警報盤 (太陽光)、デマンド監視装置	
⑭	中央監視設備RS盤	

3 2F 平面図 1/100



※1

自	至	配線サイズ	配管	備考
通信引込	設備棟 (MDF-1)	通信引込 光8芯×1 (NTT工事)	-	3号スタンド屋上 基地局用 (NTTドコモ)
		通信引込 光24芯×1 (NTT工事)	-	
	設備棟 (MDF-2)	通信引込 光100芯×1 (NTT工事)	-	NTT引込
		通信引込 メタル 50P (NTT工事)	-	
設備棟 (MDF-3)	通信引込 光100芯×1 (NTT工事)	-		3号スタンド5階へ (富士通プロテック工事)

※3

自	至	配線サイズ	配管	備考
設備棟 (PBX)	既設組合事務所	EM-EBT0, 5-20P	-	
設備棟 (T-SE-1-1)	既設組合事務所 (既設端子盤)	EM-G150/125-8C	-	
設備棟 (収納ボックス)	既設組合事務所 (既設収納ボックス)	EM-G150/125-2C	-	
設備棟 (T-SE-2-1)	既設組合事務所 (既設HE)	S-10C-HFL	-	

※2 架空 メッセージワイヤー14mm²

自	至	配線サイズ	配管	備考
設備棟 (PBX)	既設組合事務所	EM-EBT0, 5-20P	-	
設備棟 (T-SE-1-1)	既設組合事務所 (既設端子盤)	EM-G150/125-8C	-	
設備棟 (収納ボックス)	既設組合事務所 (既設収納ボックス)	EM-G150/125-2C	-	構内情報通信網設備と 同一架空
設備棟 (T-SE-2-1)	既設組合事務所 (既設HE)	S-10C-HFL	-	
既設組合事務所	1号スタンド テレビ室	S-10C-HFL	-	
3号スタンド テレビ室 ~設備棟	既設組合事務所	S-10C-HFL	-	テレビ共同受信設備と 同一架空

4 RF 平面図 1/100

※5 地中埋設配管配線 GL-600

自	至	配線サイズ	配管	備考
設備棟 (PBX)	3号スタンド	EM-EBT0. 5-100P	(FEP80)	テレビ共同受信設備
設備棟 (相互通話型インターホン)	3号スタンド トータルリゼータ保守員室	EM-CPEES0. 9-5P		
設備棟 (T-SE2-1)	3号スタンド	S-10C-HFL	(FEP80)	競馬中継用テレビ設備
設備棟 (T-SE1-1)	3号スタンド テレビ室	S-10C-HFL		
設備棟 (競馬実況放送架)	3号スタンド	EM-CPEE1. 2-5P x 4	(FEP80)	B1階テレビ室
		L-4E6AT		
		EM-CPEE1. 2-5P x 2		
		EM-CPEE1. 2-10P		
		L-4E6AT x 4		
		EM-UTPO. 5-4P (CAT5e)		
設備棟 (サーバー室) (投票センター)	3号スタンド (地下1階 DVCF室)	EM-G150/125-8C x 4 (別途工事)	(FEP80)	富士通フロンテック
		EM-CPEES0. 65-50P x 6 (別途工事)		
		EM-CPEES0. 68-30P x 4 (別途工事)		
		EM-CPEES0. 65-20P x 2 (別途工事)		
		EM-CPEES0. 65-10P x 4 (別途工事)		
		EM-CPEES0. 65-5P x 1 (別途工事)		
設備棟 監視用	3号スタンド (新TV室)	EM-G150/125-12C (別途工事)	(FEP80)	山ロシネマ
設備棟 映像用 (投票センター)		EM-G150/125-12C (別途工事)		
設備棟 RF用 (各室)		EM-G150/125-4C (別途工事)		
設備棟 映像用 (投票センター)		4E6AT x 4 (別途工事)		
設備棟 予備	3号スタンド (地下1階 保守員室 自動制御盤)	EM-G150/125-12C	(FEP80)	
設備棟 (2階 保守員室 中央監視盤)		EM-G150/125-4C		
設備棟 (2階 保守員室 照明制御盤)	(2号スタンド・3号スタンド 照明制御盤)	EM-FCPEE-S1. 2-3P x 2	(FEP80)	

※2 ケーブルラック上配線

自	至	配線サイズ	配管	備考
設備棟 (競馬実況放送架)	3号スタンド	EM-CPEE1. 2-5P x 4	-	B1階テレビ室
		L-4E6AT		
		EM-CPEE1. 2-5P x 2		
		EM-CPEE1. 2-10P		
		L-4E6AT x 4		
		EM-UTPO. 5-4P (CAT5e)		
設備棟 (2階 保守員室 中央監視盤)	3号スタンド (地下1階 保守員室 自動制御盤)	EM-G150/125-4C	-	
設備棟 (2階 保守員室 照明制御盤)	3号スタンド (2号スタンド・3号スタンド 照明制御盤)	EM-FCPEE-S1. 2-3P x 2	-	

※3 ケーブルラック上配線

自	至	配線サイズ	配管	備考
設備棟 (PBX)	3号スタンド	EM-EBT0. 5-100P	-	
設備棟 (相互通話型インターホン)	3号スタンド トータルリゼータ保守員室	EM-CPEES0. 9-5P	-	
設備棟 (T-SE2-1)	3号スタンド	S-10C-HFL	-	
設備棟	3号スタンド テレビ室	S-10C-HFL	-	競馬中継用テレビ設備

※4 ケーブルラック上配線

自	至	配線サイズ	配管	備考
設備棟 (競馬実況放送架)	3号スタンド	EM-CPEE1. 2-5P x 4 L-4E6AT	-	B1階テレビ室

※5 ケーブルラック上配線

自	至	配線サイズ	配管	備考
3号スタンド	2号スタンド (BIT-1)	撤去: EM-EBT0. 5-100P	-	構内交換設備
3号スタンド		撤去: EM-AE1. 2-10P	-	実況放送設備
3号スタンド (警報盤)		撤去: EM-CEE 2° -2C	-	太陽光発電設備 異常

※6 ケーブルラック上配線

自	至	配線サイズ	配管	備考
3号スタンド	2号スタンド	撤去: EM-EBT0. 5-100P	-	構内交換設備

※7 ケーブルラック上配線

自	至	配線サイズ	配管	備考
3号スタンド	2号スタンド (BIT-1)	撤去: EM-AE1. 2-10P	-	実況放送設備
3号スタンド (警報盤)		撤去: EM-CEE 2° -2C	-	太陽光発電設備 異常

※8 ケーブルラック上配線

自	至	配線サイズ	配管	備考
3号スタンド (AMP)	3号スタンド (テレビ室)	撤去: EM-CPEE1. 2-5P	-	実況放送設備
		撤去: EM-CPEE1. 2-10P	-	
		撤去: L-4E6AT x 2	-	

※9 天井内ケーブル配線

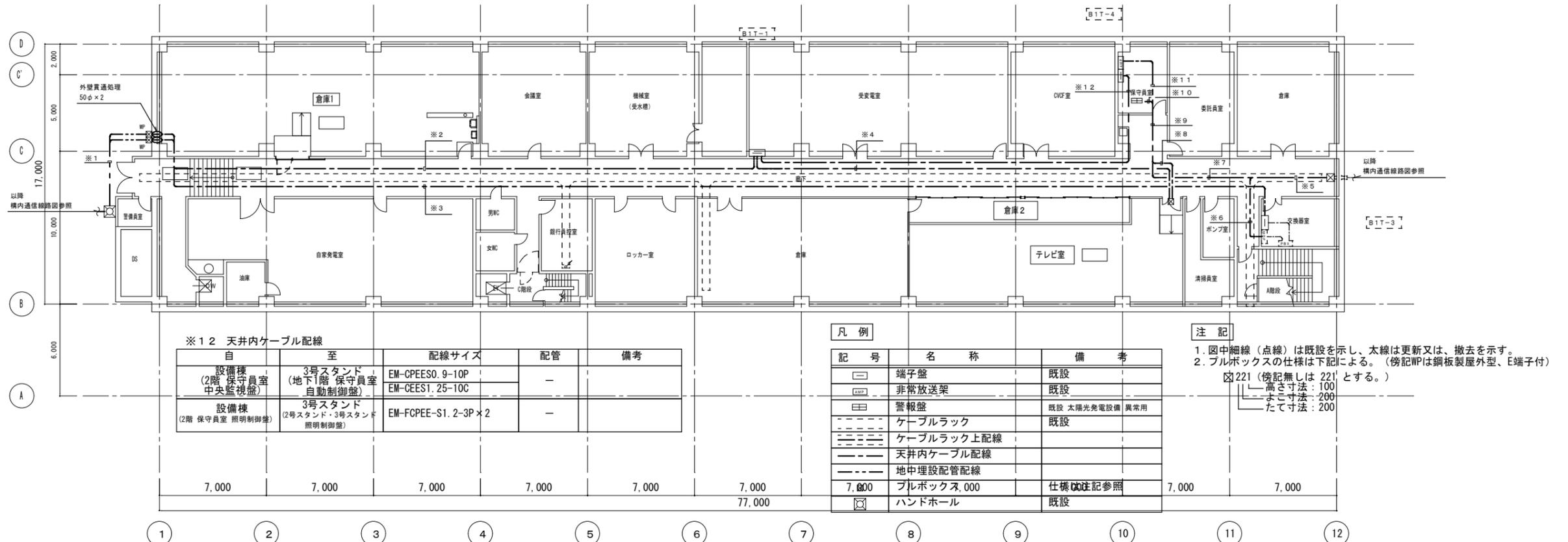
自	至	配線サイズ	配管	備考
3号スタンド (警報盤)	2号スタンド (BIT-1)	撤去: EM-CEE 2° -2C	-	太陽光発電設備 異常
3号スタンド (AMP)	2号スタンド (BIT-1)	撤去: EM-AE1. 2-10P	-	実況放送設備
		撤去: EM-CPEE1. 2-5P	-	
	3号スタンド (テレビ室)	撤去: EM-CPEE1. 2-10P	-	
		撤去: L-4E6AT x 2	-	

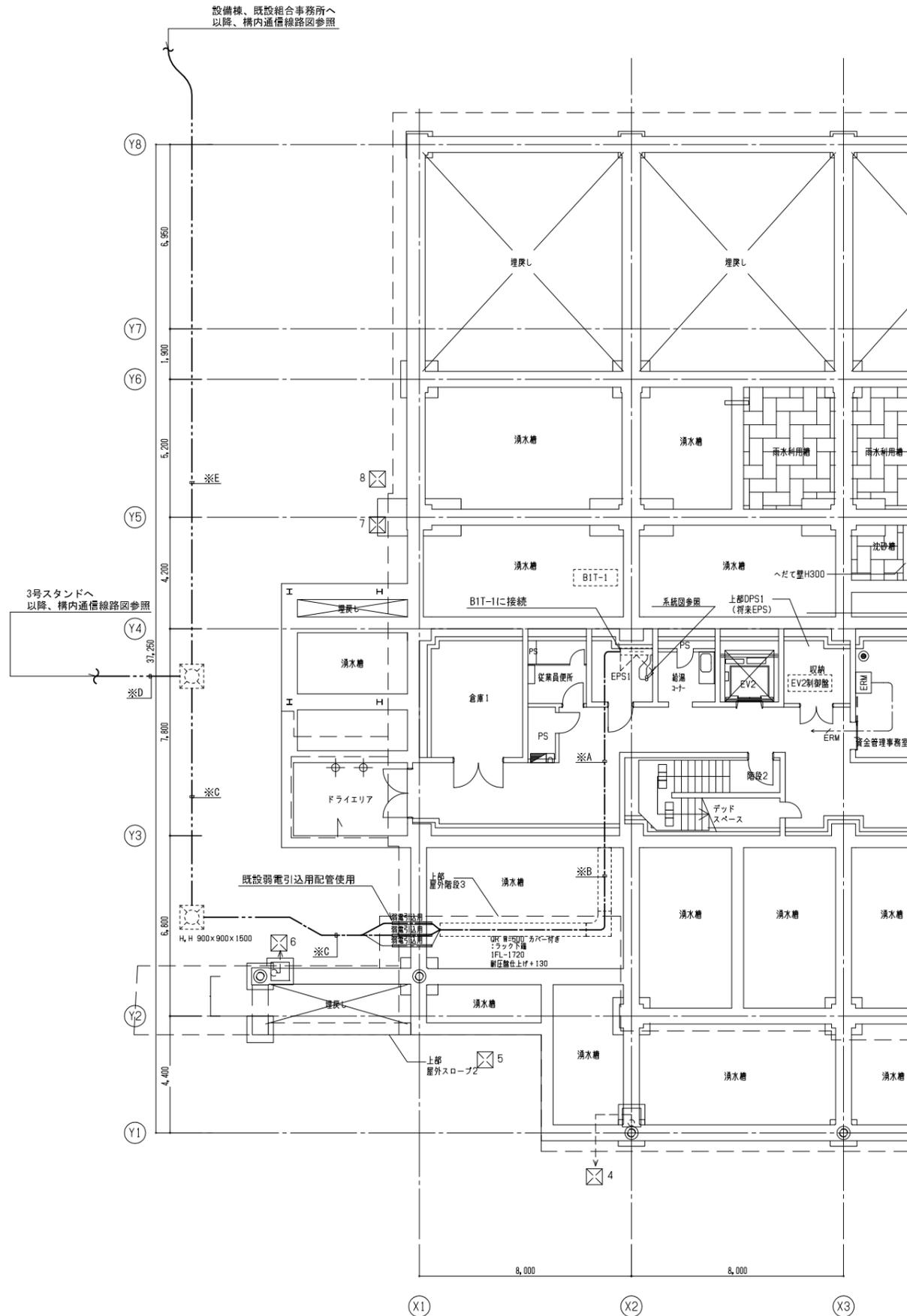
※10 天井内ケーブル配線

自	至	配線サイズ	配管	備考
3号スタンド (警報盤)	2号スタンド (BIT-1)	撤去: EM-CEE 2° -2C	-	太陽光発電設備 異常

※11 天井内ケーブル配線

自	至	配線サイズ	配管	備考
3号スタンド (AMP)	2号スタンド (BIT-1)	撤去: EM-AE1. 2-10P	-	実況放送設備
		撤去: EM-CPEE1. 2-5P	-	
	3号スタンド (テレビ室)	撤去: EM-CPEE1. 2-10P	-	
		撤去: L-4E6AT x 2	-	





※A 天井内ケーブル配線

自	至	配線サイズ	配管	備考
3号スタンド 一設備棟	2号スタンド (BIT-1)	撤去: EM-CCP-P0.5-100P →新設: EM-EBT0.5-100P	-	構内交換設備
3号スタンド 一設備棟		撤去: EM-AE1.2-10P →新設: EM-HP1.2-10P	-	実況放送設備
設備棟	2号スタンド (BIT-1)	新設: S-100-HFL	-	テレビ共聴設備
3号スタンド 一設備棟		撤去: EM-CCE2* -2C →新設: EM-CCE2* -2C	-	太陽光発電設備 異常
3号スタンド	2号スタンド (BIT-1)	EM-S-7C-FBx2	-	鼠馬中継系統・CATV設備
		EM-HP1.2-25Px2	-	一般・非常放送設備
		EM-FCPEE-S 1.2-1P	-	電灯設備 扇明制御
		EM-CPEESO, 9-15Px2	-	E.V.監視盤
		G1ケーブル(マルチモード4芯)x2	-	入退室管理設備
		EM-HP1.2-10Px8	-	自動火災報知設備
		EM-CPEESO, 9-5P	-	インターホン設備

※B ケーブルラック上配線

自	至	配線サイズ	配管	備考
3号スタンド 一設備棟	2号スタンド (BIT-1)	撤去: EM-CCP-P0.5-100P →新設: EM-EBT0.5-100P	-	構内交換設備
3号スタンド 一設備棟		撤去: EM-AE1.2-10P →新設: EM-HP1.2-10P	-	実況放送設備
設備棟	2号スタンド (BIT-1)	新設: S-100-HFL	-	テレビ共聴設備
3号スタンド 一設備棟		撤去: EM-CCE2* -2C →新設: EM-CCE2* -2C	-	太陽光発電設備 異常
3号スタンド	2号スタンド (BIT-1)	EM-S-7C-FBx2	-	鼠馬中継系統・CATV設備
		EM-HP1.2-25Px2	-	一般・非常放送設備
		EM-FCPEE-S 1.2-1P	-	電灯設備 扇明制御
		EM-CPEESO, 9-15Px2	-	E.V.監視盤
		G1ケーブル(マルチモード4芯)x2	-	入退室管理設備
		EM-CCE 2* -2C	-	太陽光発電設備 異常
		EM-HP1.2-10Px8	-	自動火災報知設備
EM-CPEESO, 9-5P	-	インターホン設備		

※C 地中埋設配管・配線 GL-600

自	至	配線サイズ	配管	備考
3号スタンド 一設備棟	2号スタンド (BIT-1)	撤去: EM-CCP-P0.5-100P →新設: EM-EBT0.5-100P	(FEP100) x1	構内交換設備 予備(LAN)
3号スタンド 一設備棟		撤去: EM-AE1.2-10P →新設: EM-HP1.2-10P	(FEP80) x2	実況放送設備 鼠馬中継系統・CATV設備 一般・非常放送設備 電灯設備 扇明制御 E.V.監視盤 入退室管理設備 太陽光発電設備 異常 自動火災報知設備 インターホン設備
3号スタンド・ 既設組合事務所	2号スタンド (BIT-1)	EM-S-7C-FBx2	(FEP80) x2	鼠馬中継系統・CATV設備
設備棟 (T-SE2-1)		EM-HP1.2-25Px2	(FEP80) x2	一般・非常放送設備
設備棟 (2階 保守員室 警報盤)	2号スタンド (地下1階 EPS)	EM-FCPEE-S 1.2-2C	(FEP80) x2	電灯設備 扇明制御
		EM-CPEESO, 9-15Px2	(FEP80) x2	E.V.監視盤
設備棟 (サーバー室) (投票センター)	2号スタンド (地下1階 EPS)	G1ケーブル(マルチモード4芯)x2	(FEP80) x2	入退室管理設備
		撤去: EM-CCE 2* -2C	(FEP80) x2	太陽光発電設備 異常
設備棟 (サーバー室) (投票センター)	2号スタンド (地下1階 EPS)	EM-HP1.2-10Px8	(FEP80) x2	自動火災報知設備
		EM-CPEESO, 9-5P	(FEP80) x2	インターホン設備
設備棟 (T-SE2-1)	2号スタンド (地下1階 EPS)	新設: S-100-HFL	新設: (FEP30)	テレビ共聴設備
設備棟 (2階 保守員室 警報盤)		新設: EM-CCE2* -2C	新設: (FEP30)	太陽光発電設備 異常
設備棟 (サーバー室) (投票センター)	2号スタンド (地下1階 EPS)	新設: EM-G150/125-24C x5 (別途工事)	新設: (FEP80)	構内情報通信網設備
設備棟 (サーバー室) (投票センター)		新設: EM-CPEESO, 65-50P x5 (別途工事)	新設: (FEP80)	構内情報通信網設備

※D 地中埋設配管・配線 GL-600

自	至	配線サイズ	配管	備考
3号スタンド	2号スタンド (BIT-1)	撤去: EM-EBT0.5-100P →	(FEP100) x1	構内交換設備 予備(LAN)
		撤去: EM-AE1.2-10P	(FEP80) x2	実況放送設備 鼠馬中継系統・CATV設備 一般・非常放送設備 電灯設備 扇明制御 E.V.監視盤 入退室管理設備 太陽光発電設備 異常 自動火災報知設備 インターホン設備
		EM-S-7C-FBx2	(FEP80) x2	鼠馬中継系統・CATV設備
		EM-HP1.2-25P	(FEP80) x2	一般・非常放送設備
		EM-FCPEE-S 1.2-2C	(FEP80) x2	電灯設備 扇明制御
		EM-CPEESO, 9-15Px2	(FEP80) x2	E.V.監視盤
		G1ケーブル(マルチモード4芯)x1	(FEP80) x2	入退室管理設備
撤去: EM-CCE 2* -2C	(FEP80) x2	太陽光発電設備 異常		
設備棟	2号スタンド (BIT-1)	EM-HP1.2-10Px4	(FEP80) x2	自動火災報知設備
設備棟 (2階 保守員室 警報盤)		新設: S-100-HFL	新設: (FEP30)	テレビ共聴設備
設備棟 (サーバー室) (投票センター)	2号スタンド (地下1階 EPS)	新設: EM-CCE2* -2C	新設: (FEP30)	太陽光発電設備 異常
設備棟 (サーバー室) (投票センター)		新設: EM-G150/125-24C x5 (別途工事) 新設: EM-CPEESO, 65-50P x5 (別途工事)	新設: (FEP80)	構内情報通信網設備

※E 地中埋設配管・配線 GL-600

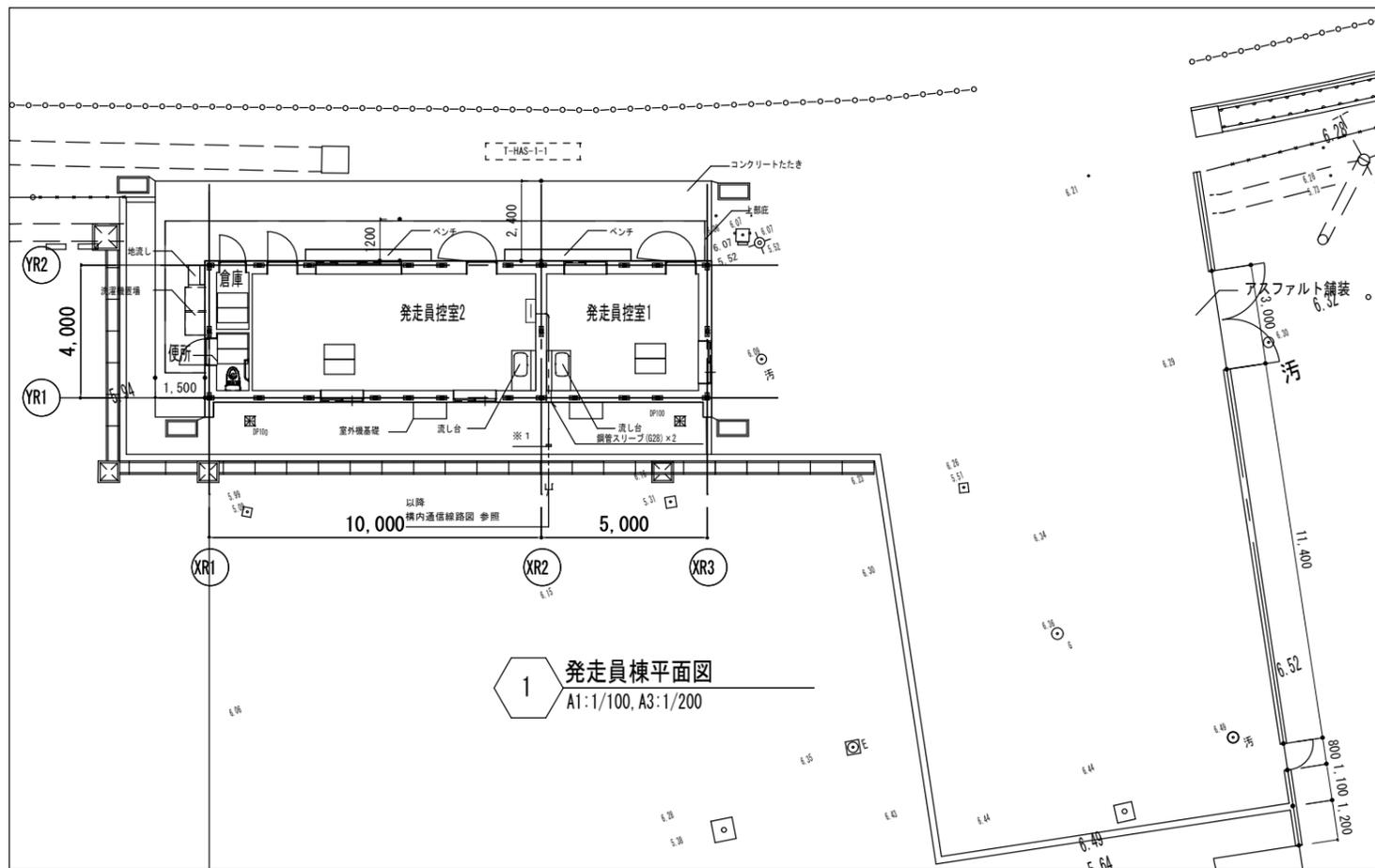
自	至	配線サイズ	配管	備考
設備棟	2号スタンド (BIT-1)	新設: EM-EBT0.5-100P	新設: (FEP30)	構内交換設備
既設組合事務所	2号スタンド (BIT-1)	新設: EM-HP1.2-10P	新設: (FEP30)	実況放送設備
		EM-HP1.2-25P	(FEP100) x4	一般・非常放送設備 入退室管理設備 自動火災報知設備
設備棟 (2階 保守員室 警報盤)	2号スタンド (BIT-1)	G1ケーブル(マルチモード4芯)x1	(FEP100) x4	入退室管理設備 自動火災報知設備
設備棟 (サーバー室) (投票センター)		EM-HP1.2-10Px4	(FEP100) x4	自動火災報知設備
設備棟 (サーバー室) (投票センター)	2号スタンド (地下1階 EPS)	新設: S-100-HFL	新設: (FEP30)	テレビ共聴設備
設備棟 (サーバー室) (投票センター)		新設: EM-CCE2* -2C	新設: (FEP30)	太陽光発電設備 異常
設備棟 (サーバー室) (投票センター)	2号スタンド (地下1階 EPS)	新設: EM-G150/125-24C x5 (別途工事) 新設: EM-CPEESO, 65-50P x5 (別途工事)	新設: (FEP80)	構内情報通信網設備

凡例

記号	名称	備考
○	端子盤	既設
□	ケーブルラック	既設
—	ケーブルラック上配線	
—	天井内ケーブル配線	
—	地中埋設配管配線	
○	ハンドホール	既設

注記

1. 図中細線(点線)は既設を示し、太線は更新又は、撤去を示す。

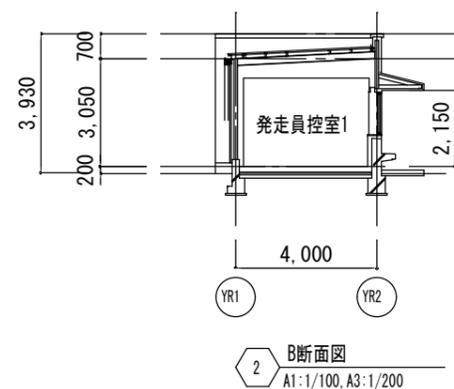
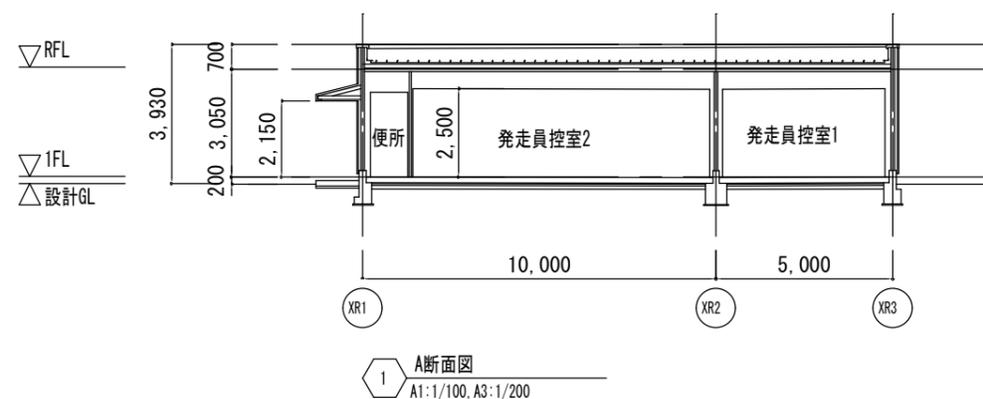


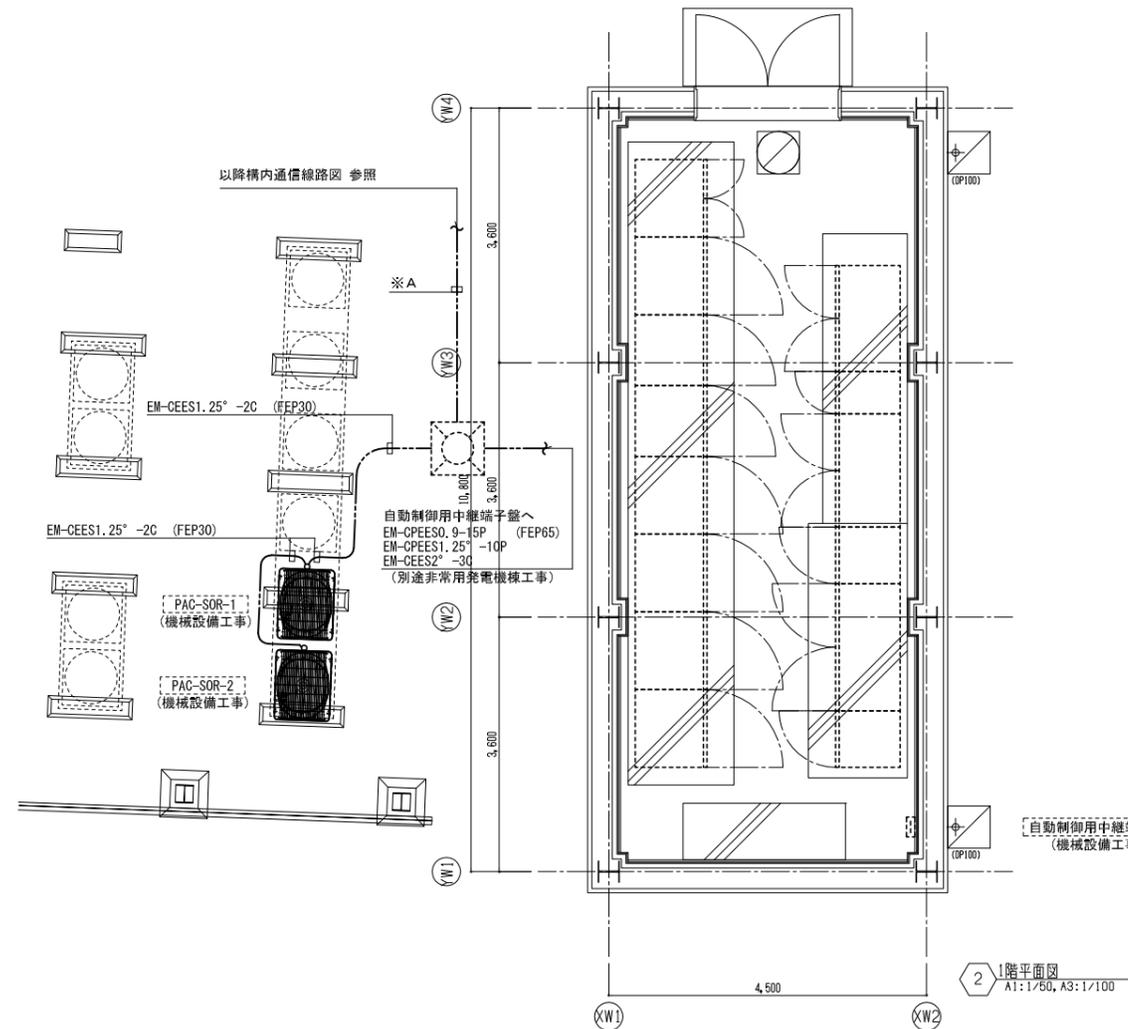
※1 地中埋設配管配線 GL-600

自	至	配線サイズ	配管	備考
設備棟 (PBX) (T-SE-2-1)	発走員詰所	EM-EBT0. 5-10P	既設配管	構内交換設備
設備棟 (T-SE-2-1)	発走員詰所	EM-S-7C-FB		テレビ共同受信設備
設備棟 (T-SE-1-1)	発走員詰所	S-10C-HFL		競馬中継用テレビ設備

凡例

記号	名称	備考
□	弱電用端子盤	既設
---	地中埋設配管・配線	





※A 地中埋設配管配線 GL-600

自	至	配線サイズ	配管	備考
設備棟 (2階 保守員室 中央監視盤)	PAC-SOR-1	EM-CEES1.25°-2C	(FEP30)	
非常用発電機棟	走路照明キュービクル棟 (自動制御用中継端子盤)	EM-CPEES0.9-15P	(FEP65)	別途非常用発電機棟工事
		EM-CEE-S1.25°-20C		
		EM-CEES2.0°-3C		

凡例

記号	名称	備考
□	自動制御用中継端子盤	機械設備工事
○	ハンドホール	別途走路照明電源設備工事
---	露出配管・配線	
---	地中埋設配管・配線	GL-600以上

注記

1. プルボックスの仕様は下記による。(鋼板製)

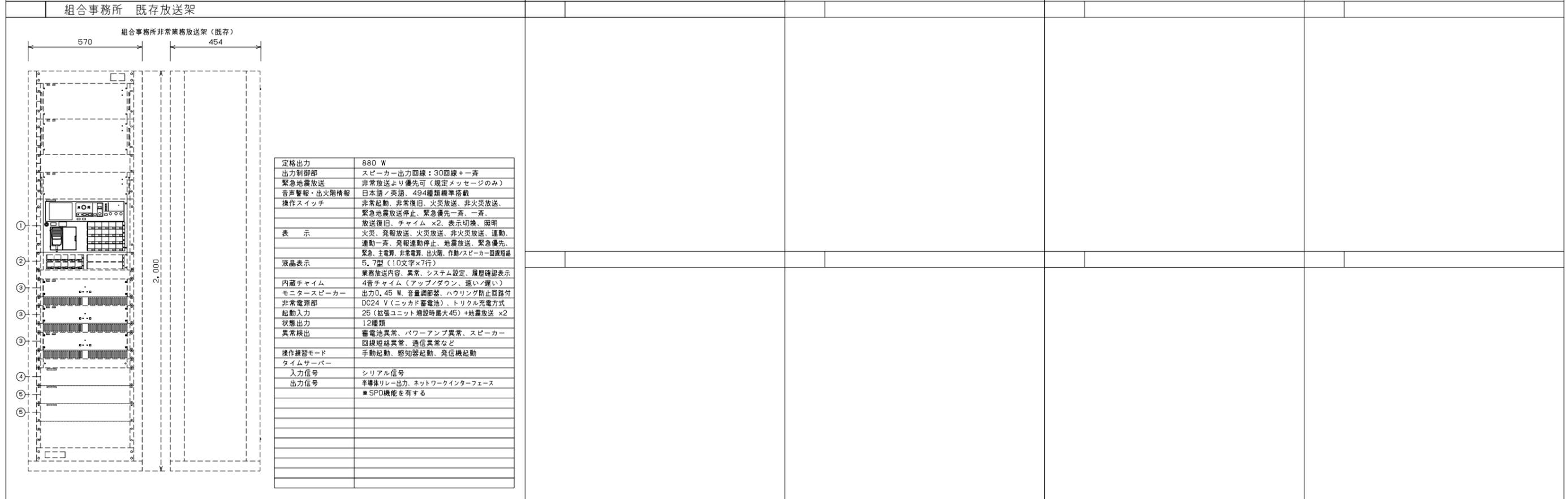
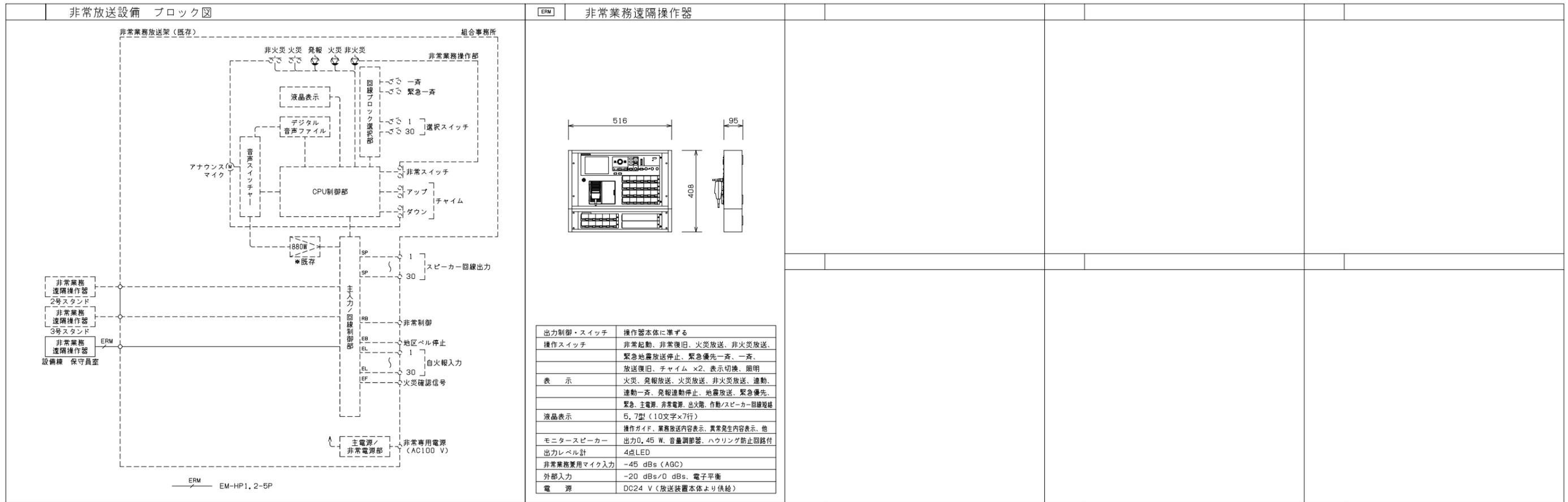
□221 (傍記無しは 221 とする。)

高さ寸法：100
よこ寸法：200
たて寸法：200

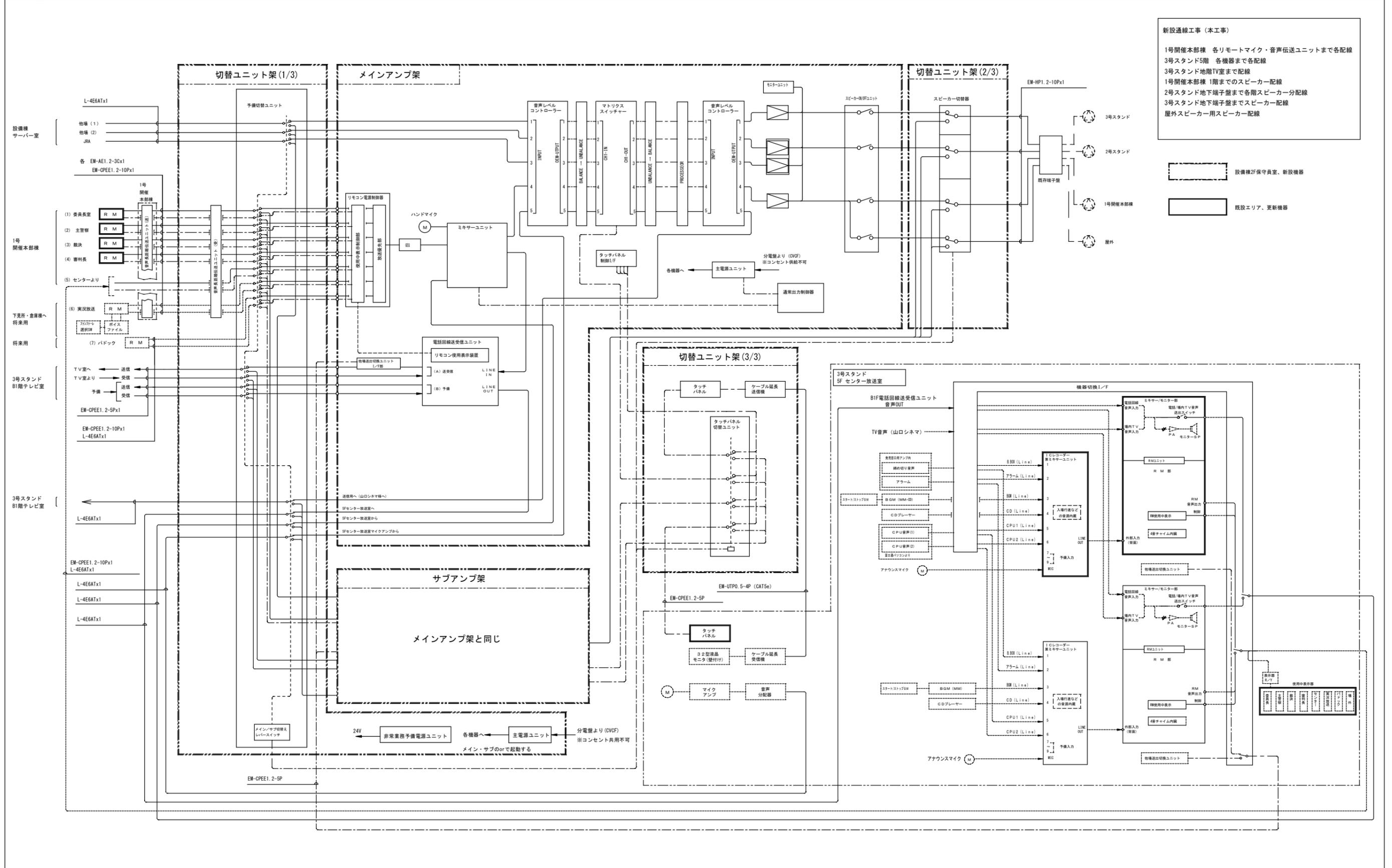
(傍記 WP は屋外型、溶融亜鉛メッキ仕上げとする)

特記事項

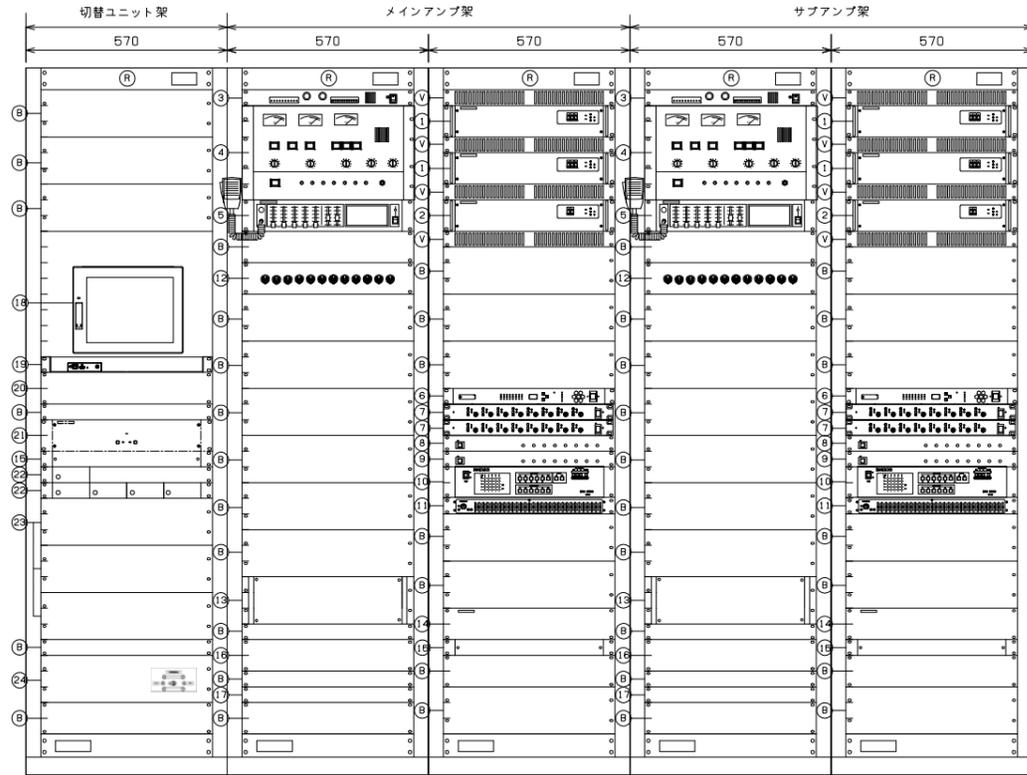
※1. □は非常用発電機棟工事(別途工事)を示す。



※形状及び寸法は参考とする。

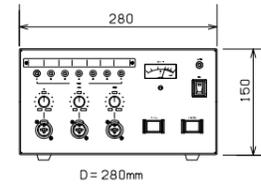


1	パワーアンプ (270W)	16	リモコン電源制御器
2	パワーアンプ (180W)	17	他場送出切替ユニット I/F
3	モニターユニット	18	タッチパネル
4	電話回線送受信ユニット	19	ケーブル延長送信器
5	ミキサーユニット	20	タッチパネル切替ユニット
6	プロセッサー	21	非常業務予備電源ユニット
7	音声レベルコントローラー	22	音声長距離伝送ユニット (受信器)
8	不平衡・平衡変換器	23	スピーカー切替器
9	平衡・不平衡変換器	24	予備切替ユニット
10	マトリクススイッチャー		
11	グラフィックコライザー		
12	スピーカー回線ON/OFFユニット		
13	タッチパネル制御ユニット	V	ベンチレートパネル
14	通常出力制御ユニット (端子部)	B	ブラックパネル
15	主電源ユニット	R	システムラック



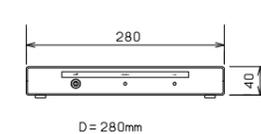
パワーアンプ (270W)	音声レベルコントローラー	主電源ユニット
定格出力 90 W x3チャンネル、270 W (総合)	入力 8chヘッドアンプ、マイク・LINE対応	AC100 V入力 30 Aサーキットブレーカー
周波数特性 100 Hz~10 kHz (±2 dB定格負荷時)	全周波数歪率 0.1%以下 (THD+N)	AC100 V出力 スイッチ非連動: 9 (合計最大8 A x3)
信号対雑音比 85 dB以上 (電力増幅器単体測定)	周波数特性 20Hz~20kHz 0 +4dBu, 10kΩ	スイッチ非連動: 3 (合計最大6 A)
パワーアンプ (180W)	ファンタム電源	リモコン電源制御器
定格出力 90 W x2チャンネル、180 W (総合)	+48V DC、個別ON/OFFスイッチ	リモコン7台対応
周波数特性 100 Hz~10 kHz (±2 dB定格負荷時)		使用中表示器、放送優先部
信号対雑音比 85 dB以上 (電力増幅器単体測定)	不平衡・平衡変換器	
モニターユニット	入力 (アンバランス)	他場送出切替ユニット I/F
モニター入力 10回路、Hi/Lowスピーカーライン、ラインレベル	ROAピンジャック	入力x1、出力x1、制御入力x1
スピーカー 1 W (8 Ω) 出力レベル表示 LED x11	出力 (バランス) XLR-3-32相当 (GND、HOT、COLD)	制御SW/他場音声IN
電話回線送受信ユニット	平衡・不平衡変換器 <th>タッチパネル</th>	タッチパネル
送受信選択 TEL (A)、TEL (B) 2系統、LINE INx1	入力 (バランス) XLR-3-32相当 (GND、HOT、COLD)	パネル 12型TFT LCD
送受信表示 LINE OUTx1	出力 (アンバランス) ROAピンジャック	表示ドット数 W1024xH768ドット
音声表示	マトリクススイッチャー	タッチスイッチ
針式VUメーターx3、モニタースピーカー内蔵	音声入力 -10 dBu 50 kΩ (RCAピン) 5系統	アナログ抵抗膜方式
表示装置	音声出力	ケーブル延長送信器
リモコン使用表示部 表示灯 LED x7個	-10 dBuローインピット (RCAピン) 5系統	入力信号 HDMI (HDCP対応、パススルー)、
ミキサーユニット	音声信号方式	RS-232C信号、LAN信号
入力 マイクライン x3、フォノライン、アナウンスマイク、ライン、Wチャイム、リモコン	アンバランス (不平衡) 信号2チャンネル (ST)	操作部 RM音声送出、電話回線/場内TV音声送出
出力 マイク、ラジオ、4音チャイム	周波数特性 10 Hz ~ 50 kHz +1 dB~-1dB以内	表示装置 リモコン使用表示部 表示灯 LED x7個
プロセッサイクロホン	音声クロストーク	送出レベル
単一指向性ダイナミック型、トークスイッチ付	80 dB以上、音声S/N比: 85 dB以上	針式VUメーターx2、モニタースピーカー内蔵
	外部制御	備考
	RS-232C、RS-422A、10Base-T/100Base-TX (RJ-45)、JパラレルR	4音チャイム内蔵、起動SW
	グラフィックコライザー	リモコン電源制御部にて、優先順位付け
	チャンネル数 1ch 31バンド構成	
	周波数特性	
	10Hz~50kHz (+0.5/-3dB)	
	ダイナミックレンジ	
	112dB	
	スピーカー回線ON/OFFユニット	
	スイッチ 2極双投トグルスイッチ12個	
	タッチパネル制御ユニット	
	制御1/4ユニット	
	通常出力制御ユニット (端子部)	
	端子 スピーカー回線出力 10回線	
	予備切替ユニット	
	予備切替ユニット 2系統切替 (メイン/サブ)	

リモコン音声送出ユニット



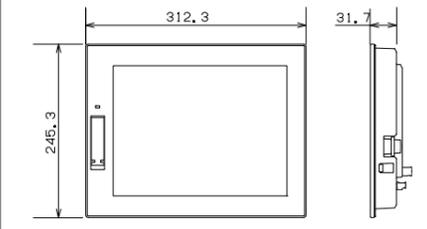
入力系統	マイクx2、外部x1 (予備入力x1) と背面切替
送受信選択	2系統 (予備) LINE INx1 LINE OUTx1
送出レベル	針式VUメーター
表示装置	リモコン使用表示部 表示灯 LED x7個
備考	リモコン電源制御部にて、優先順位付け
	4音チャイム内蔵、起動SW

音声長距離伝送ユニット (送)



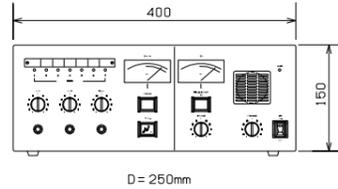
音声入力	ラインレベル 平衡/600Ω x1系統
音声出力	Hiスピーカーレベル 10kΩ/1W x1系統
外形寸法	W280mm、H40mm、D280mm
電源	A/Cアダプタから供給

タッチパネル



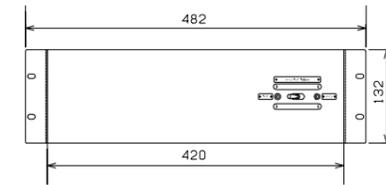
パネル	12型TFT LCD
表示ドット数	W1024xH768ドット
表示色	1600万色
入出力	アナログRGB入力、DVI-D出力
タッチスイッチ	アナログ抵抗膜方式
作動力	0.98N以下
メモリ容量	256MB

センター放送室用リモコン



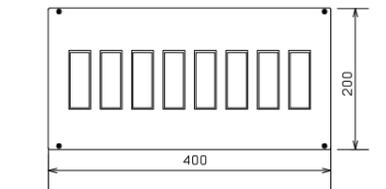
入力系統	マイクx2、外部x2 (優先側、常時入力側)
ライン入力	場内TV音声入力、電話回線音声入力
音量調節機能	場内TV音量調節、スピーカー音量調節
操作部	RM音声送出、電話回線/場内TV音声送出
表示装置	リモコン使用表示部 表示灯 LED x7個
送出レベル	針式VUメーターx2、モニタースピーカー内蔵
備考	4音チャイム内蔵、起動SW
	リモコン電源制御部にて、優先順位付け

機器切換 I/F



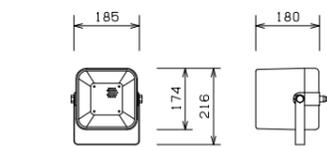
スイッチ	2極双投トグルスイッチx1
切替機能	センター放送室用リモコン メイン・サブ切替
表示機能	使用中表示器信号送出

使用中表示器



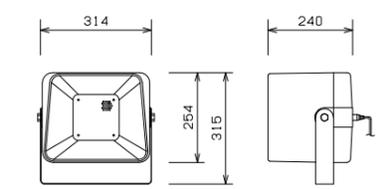
表示装置	表示灯 LED x8個 使用中表示
備考	別途 表示器リレーにて切替
表示機能	機器切換 I/Fに連動

ホーンスピーカー



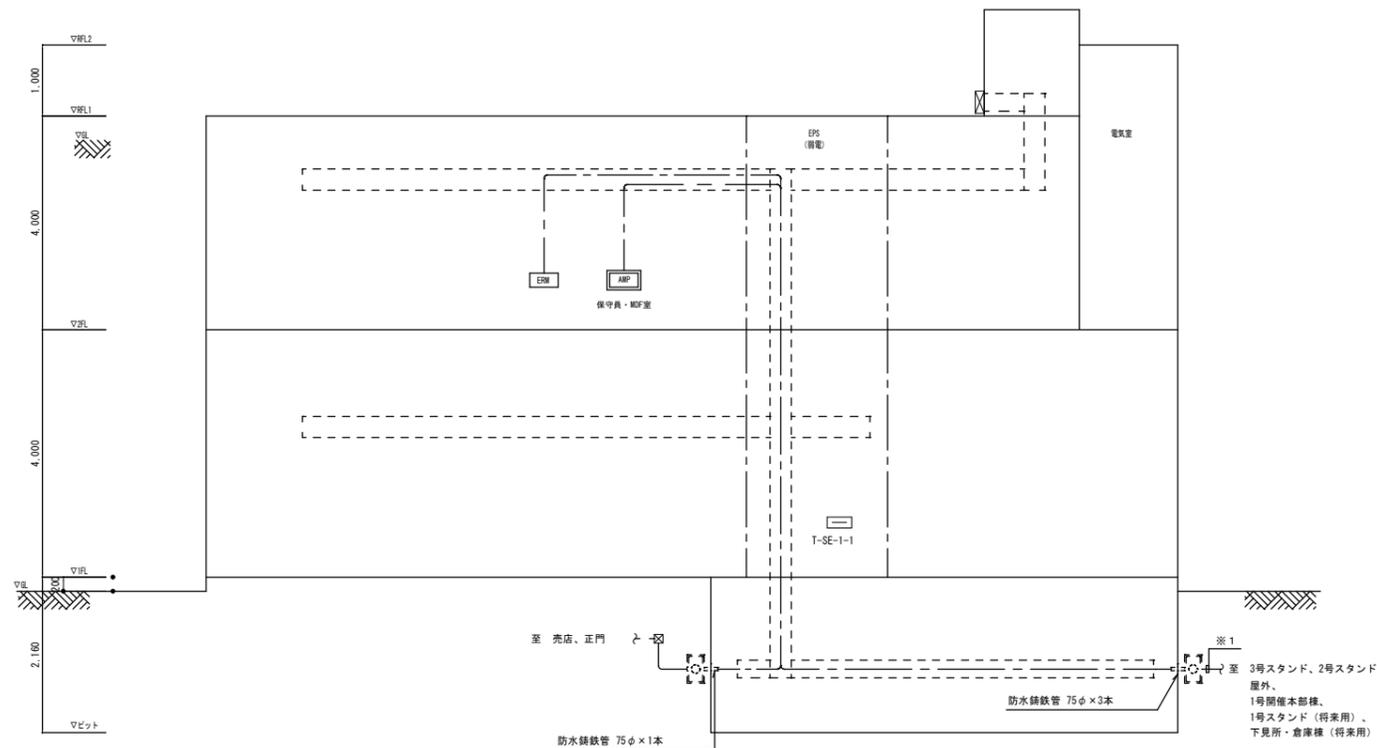
スピーカーユニット	12 cm防滴型
定格入力	6 W/3 W/1 W
出力音圧レベル	96 dB/W (1 m)
周波数特性	150 Hz~15 kHz
入力インピーダンス	1.7 kΩ/3.3 kΩ/10 kΩ
防水保護等級	IPX4準拠 (JIS C 0920-2003)

ホーンスピーカー (15W)



スピーカーユニット	12 cm防滴型
定格入力	15 W/10 W/3 W
出力音圧レベル	99 dB/W (1 m)
周波数特性	150 Hz~15 kHz
入力インピーダンス	670 Ω/1 kΩ/3.3 kΩ
防水保護等級	IPX4準拠 (JIS C 0920-2003)

*形状及び寸法は参考とする。



凡例

記号	名称	備考
非常放送設備		
ERM	非常業務通隔操作器	
競馬実況放送設備		
AMP	競馬実況放送架	
共通		
☒	ブルボックス	構内交換設備工事
☒	マンホール M3	構内交換設備工事
---	ケーブルラック	構内交換設備工事
---	ケーブルラック上配線	
---	配管・配線	

注記

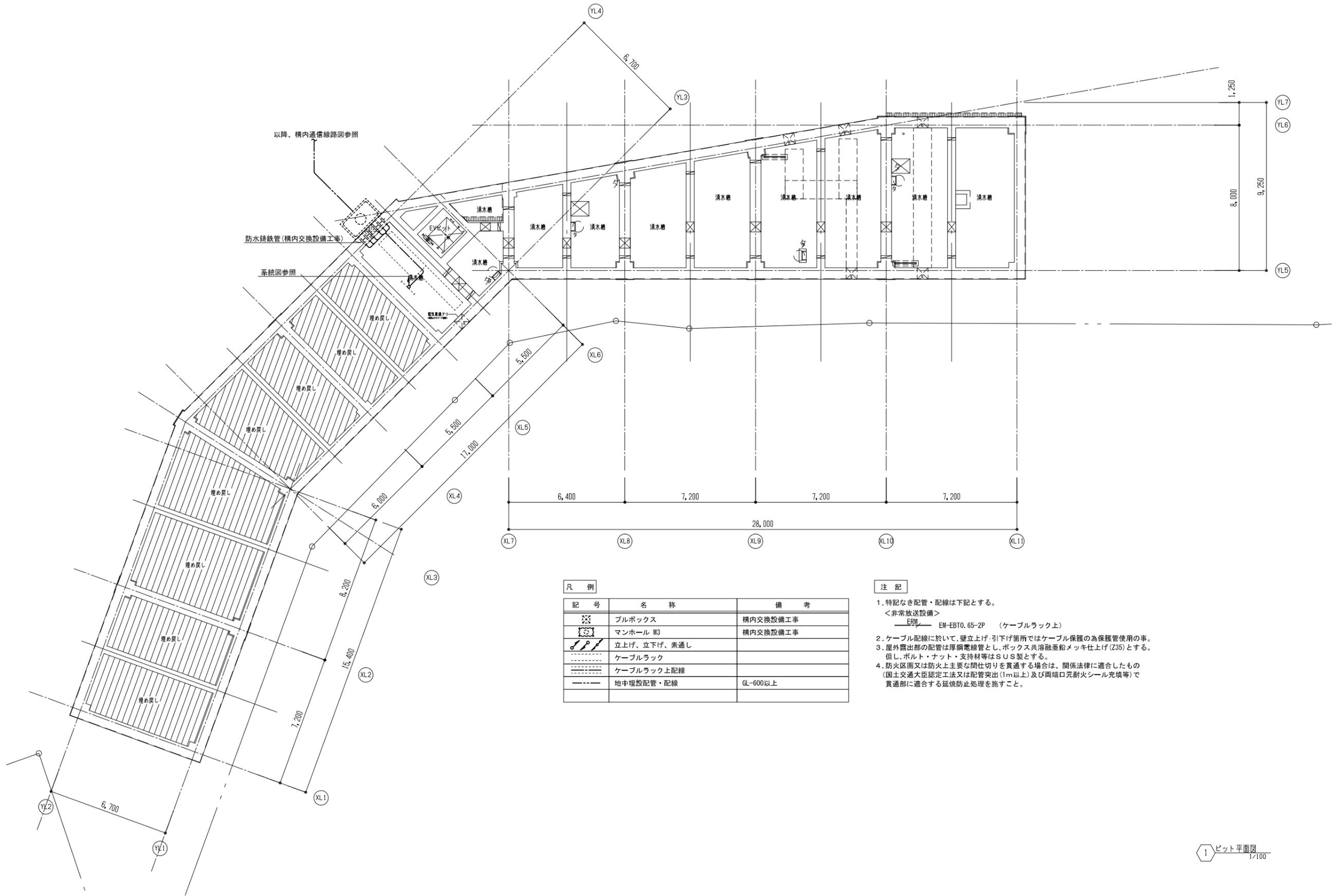
- 特記なき配管・配線は下記による。
 <非常放送設備>
 ERM — EM-HP1.2-5P (ケーブルラック上)
- 防火区画又は防火上主要な間仕切りを貫通する場合は、関係法律に適合したもので貫通部に適合する延焼防止処理を施すこと。
- ケーブル配線に於いて、壁立上げ・引下げ箇所ではケーブル保護の為保護管使用の事。

※1 地中埋設配管配線 GL-600

自	至	配線サイズ	配管	備考
設備棟 (競馬実況放送架)	3号スタンド	EM-CPEE1.2-5P x 4	(FEP100)	B1階テレビ室
		L-4EGAT		
		EM-CPEE1.2-5P x 2		5Fセンター放送室
		EM-CPEE1.2-10P		
		L-4EGAT x 4		
		EM-UTPO.5-4P (CAT5e)		3号スタンド北側付近 1号開催本部棟付近
		EM-HP1.2-10P		
2号スタンド 1F~4F	EM-HP1.2-10P			
屋外 (既設スピーカー)	EM-HP1.2-5P			
1号開催本部棟	EM-AE1.2-3C x 4			
	EM-CPEE1.2-10P x 4			
1号スタンド角 5F~1F	EM-HP1.2-10P x 6			
設備棟 (非常業務通隔操作器)	北門警備室 (既設非常業務放送架)	EM-HP1.2-5P	(FEP100)	
		EM-HP1.2-10P		
設備棟 (中継器盤)	北門警備室 (既設総合受信器盤)	EM-HP1.2-5P		
		EM-HP1.2-10P		

特記事項

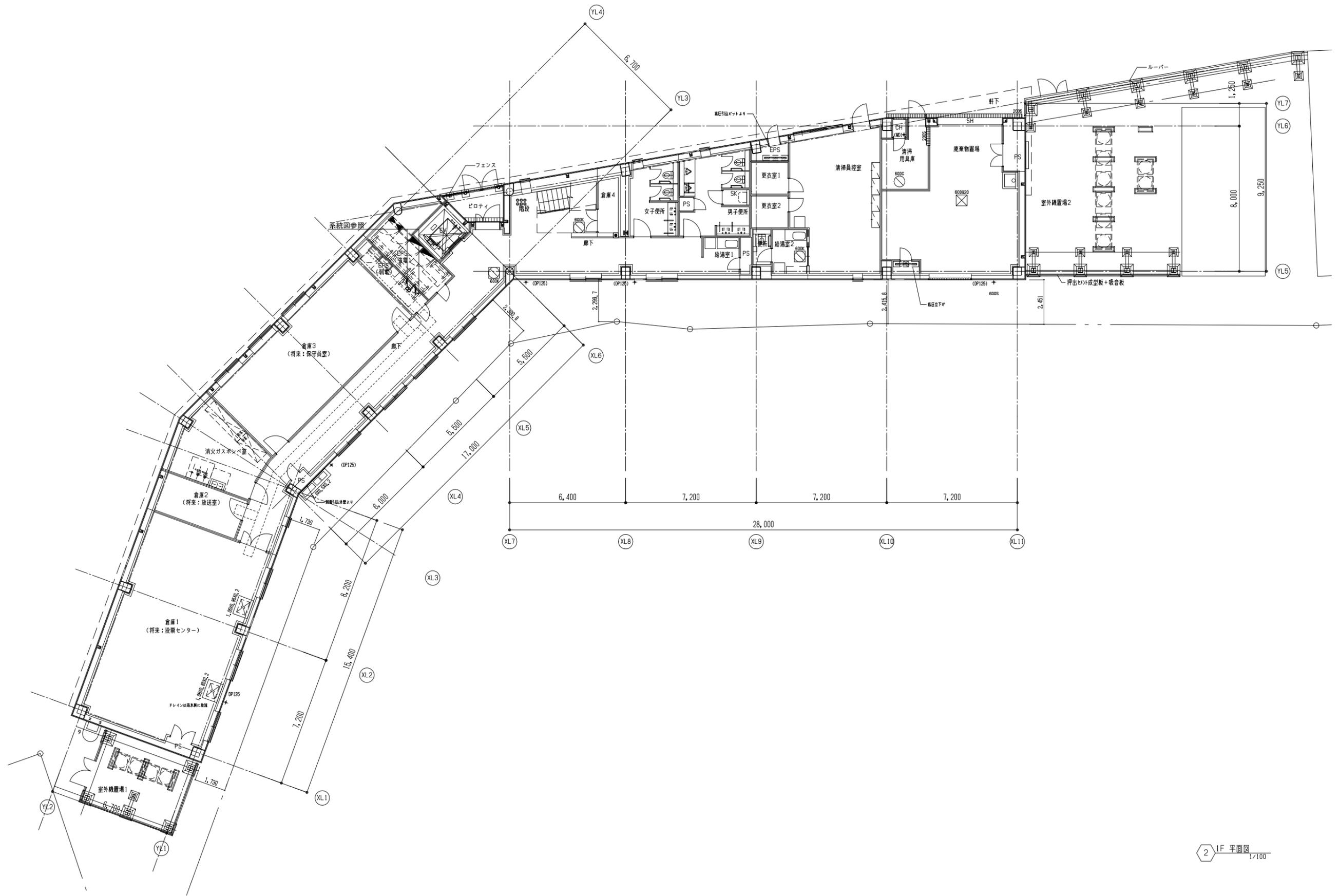
- ※1 は将来工事範囲を示す。
- ※2 設備棟から各棟までの幹線において、幹線は各棟の工事であり、配管、ハンドホールは別途工事とする。



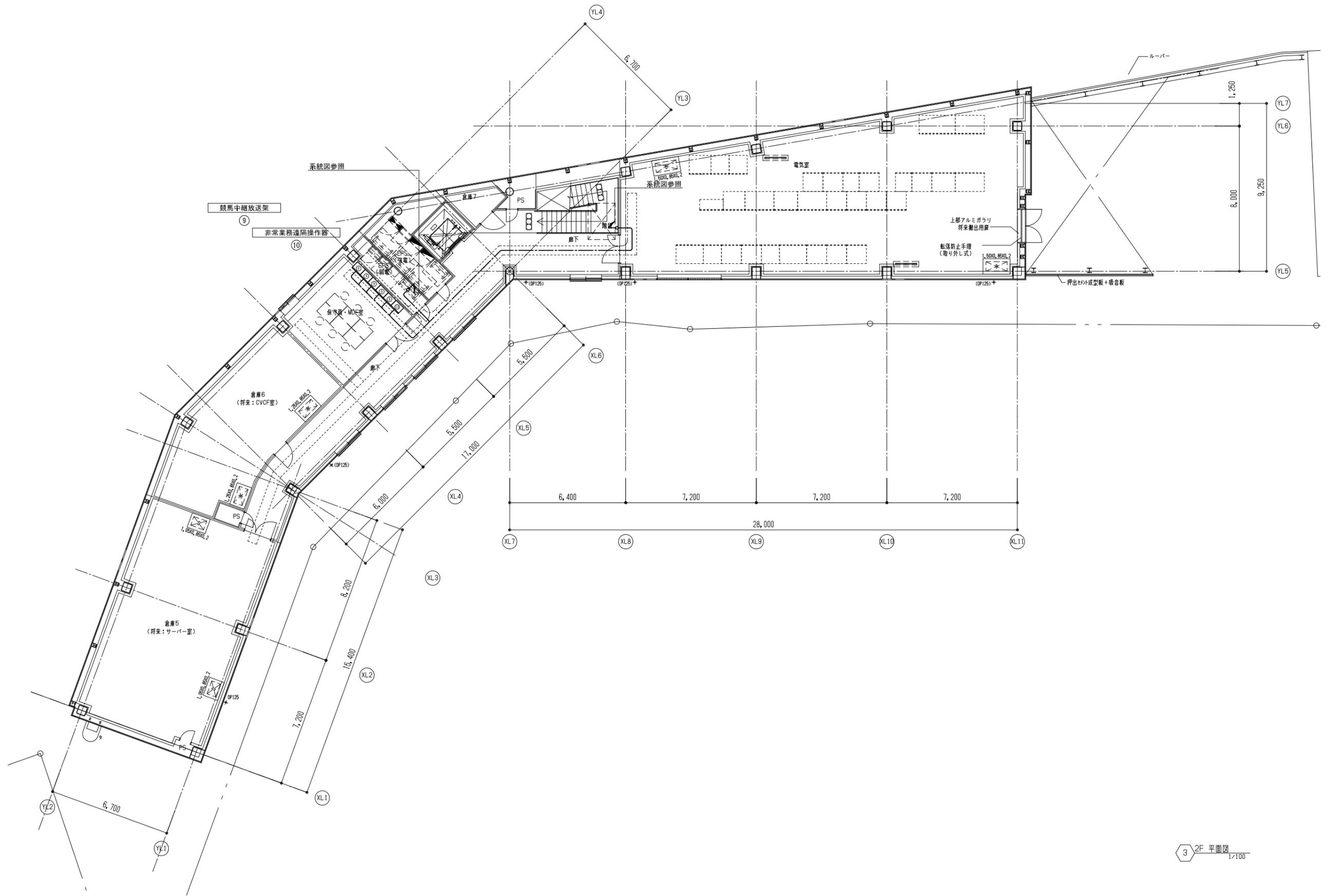
記号	名称	備考
	ブルボックス	構内交換設備工事
	マンホール M3	構内交換設備工事
	立上げ、立下げ、素通し	
	ケーブルラック	
	ケーブルラック上配線	
	地中埋設配管・配線	GL-600以上

- 注記**
- 特記なき配管・配線は下配とする。
 <非常放送設備>
 ERM EM-EBT0.65-2P (ケーブルラック上)
 - ケーブル配線に於いて、壁立上げ・引下げ箇所ではケーブル保護の為保護管使用の事。
 - 屋外露出部の配管は厚銅電線管とし、ボックス共溶融亜鉛メッキ仕上げ(Z35)とする。但し、ボルト・ナット・支持材等はSUS製とする。
 - 防火区画又は防火上主要な間仕切りを貫通する場合は、関係法律に適合したもの(国土交通大臣認定工法又は配管突出(1m以上)及び両端口元耐火シール充填等)で貫通部に適合する延焼防止処理を施すこと。

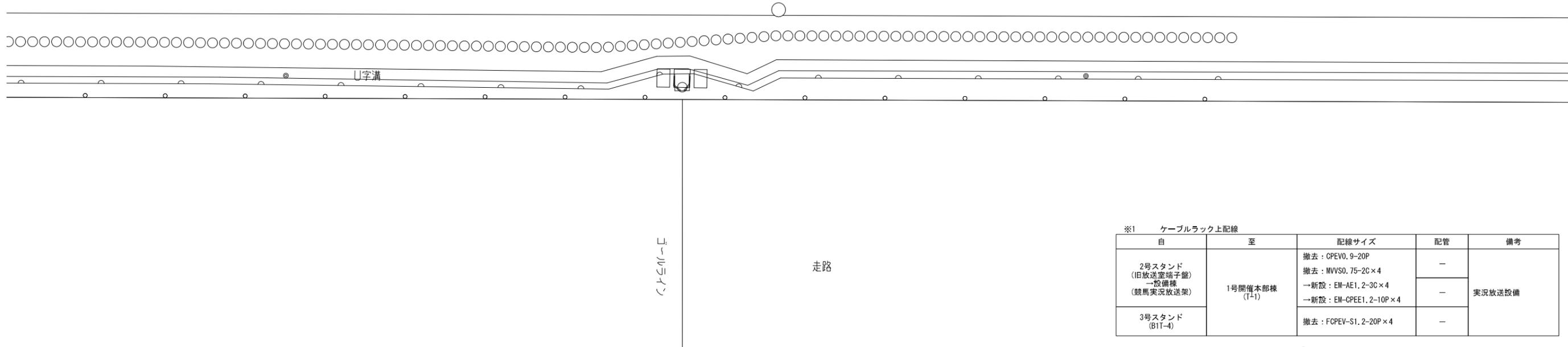
1 ピット平面図 1/100



2 1F 平面図 1/100

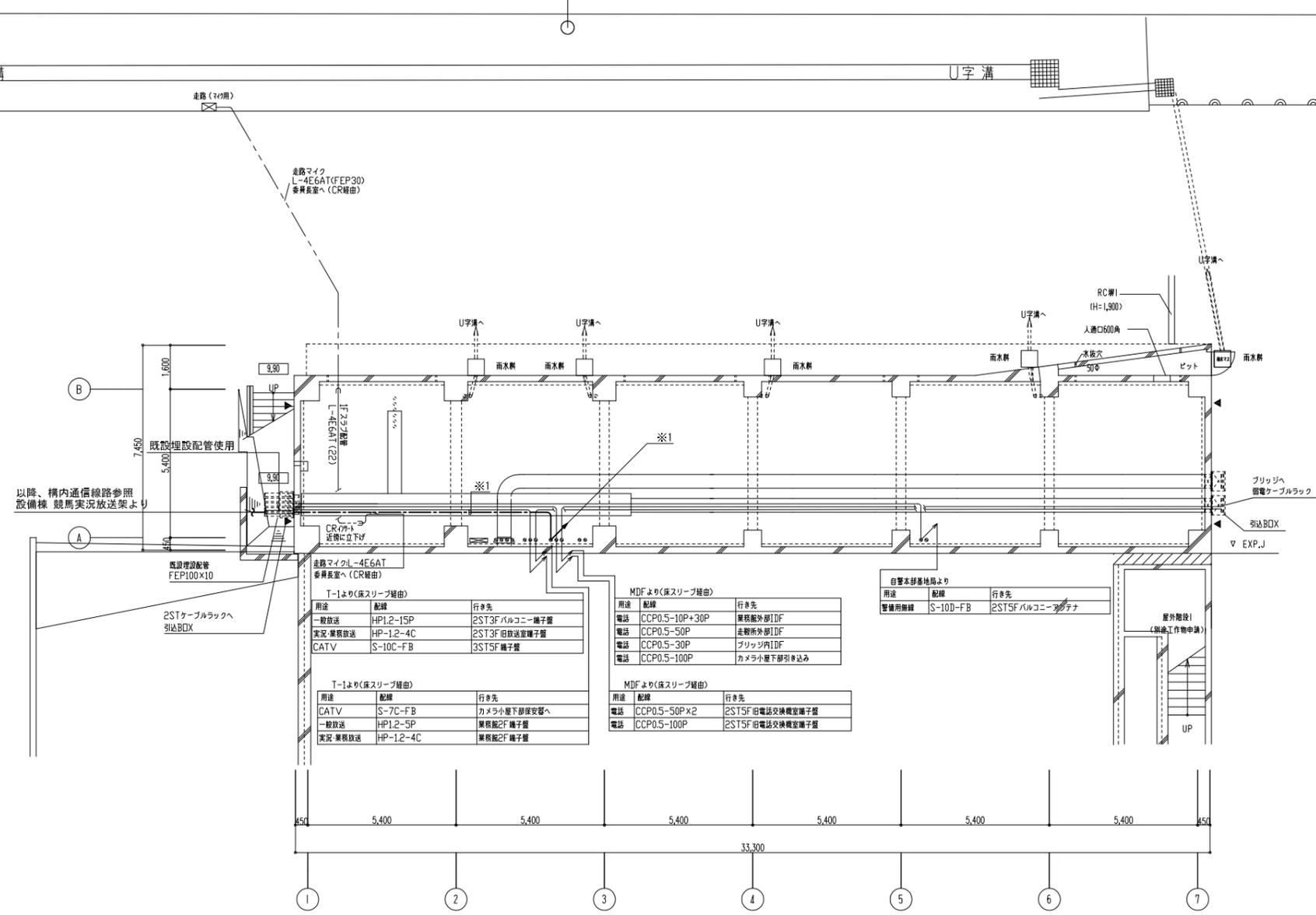


3 2F 平面図 1/100



※1 ケーブルラック上配線

自	至	配線サイズ	配管	備考
2号スタンド (旧放送室端子盤) →設備棟 (競馬実況放送架)	1号開催本部棟 (T-1)	撤去: CPEV0. 9-20P 撤去: MVVS0. 75-2C×4 →新設: EM-AE1. 2-3C×4 →新設: EM-CPEE1. 2-10P×4	-	実況放送設備
3号スタンド (BIT-4)		撤去: FCPEV-S1. 2-20P×4	-	



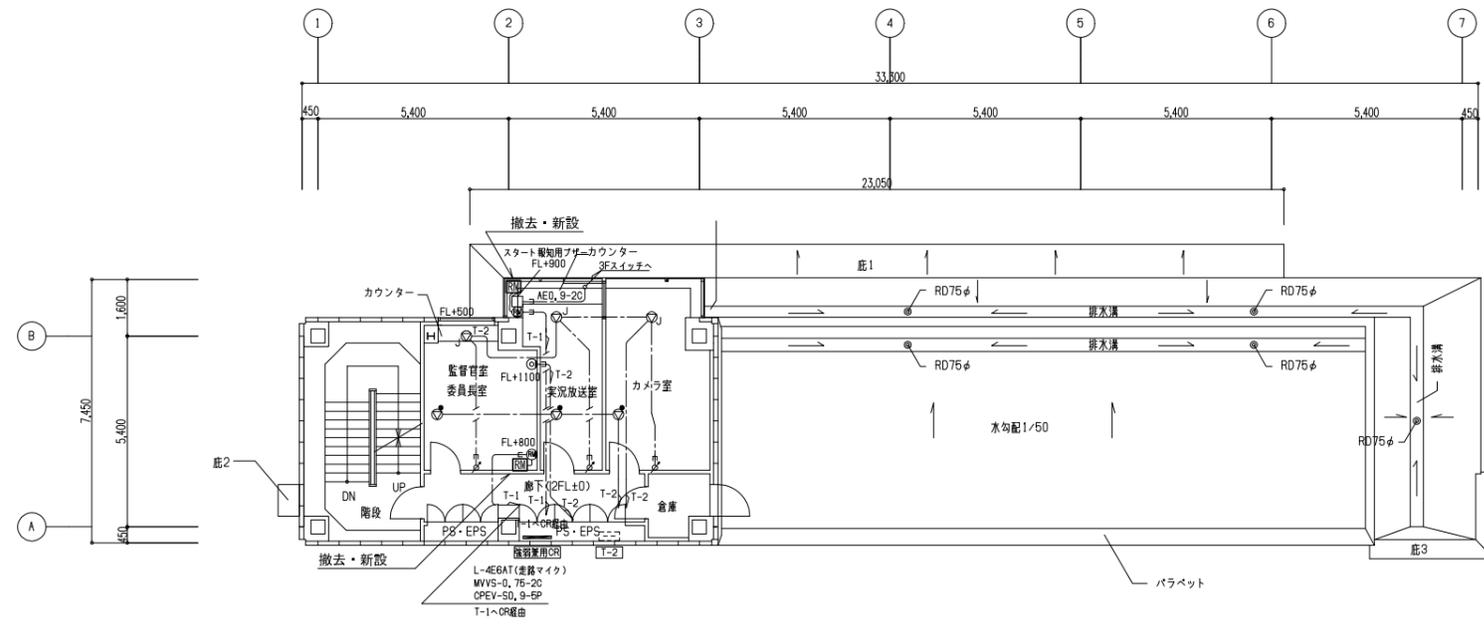
凡例

記号	名称	備考
□	端子盤	既設
●	天井埋込スピーカ (一般放送用) 赤シール	既設
○	天井埋込スピーカ (実況放送用) 青シール	既設
⊙	リモートマイク 配線取出用ノズル	既設
⊗	リモートマイク	既設
⌘	アッテネータ	既設
⊕	TVユニット (1個用)	既設
—	ケーブルラック	既設
---	ケーブルラック上配線	
----	天井内ケーブル配線	

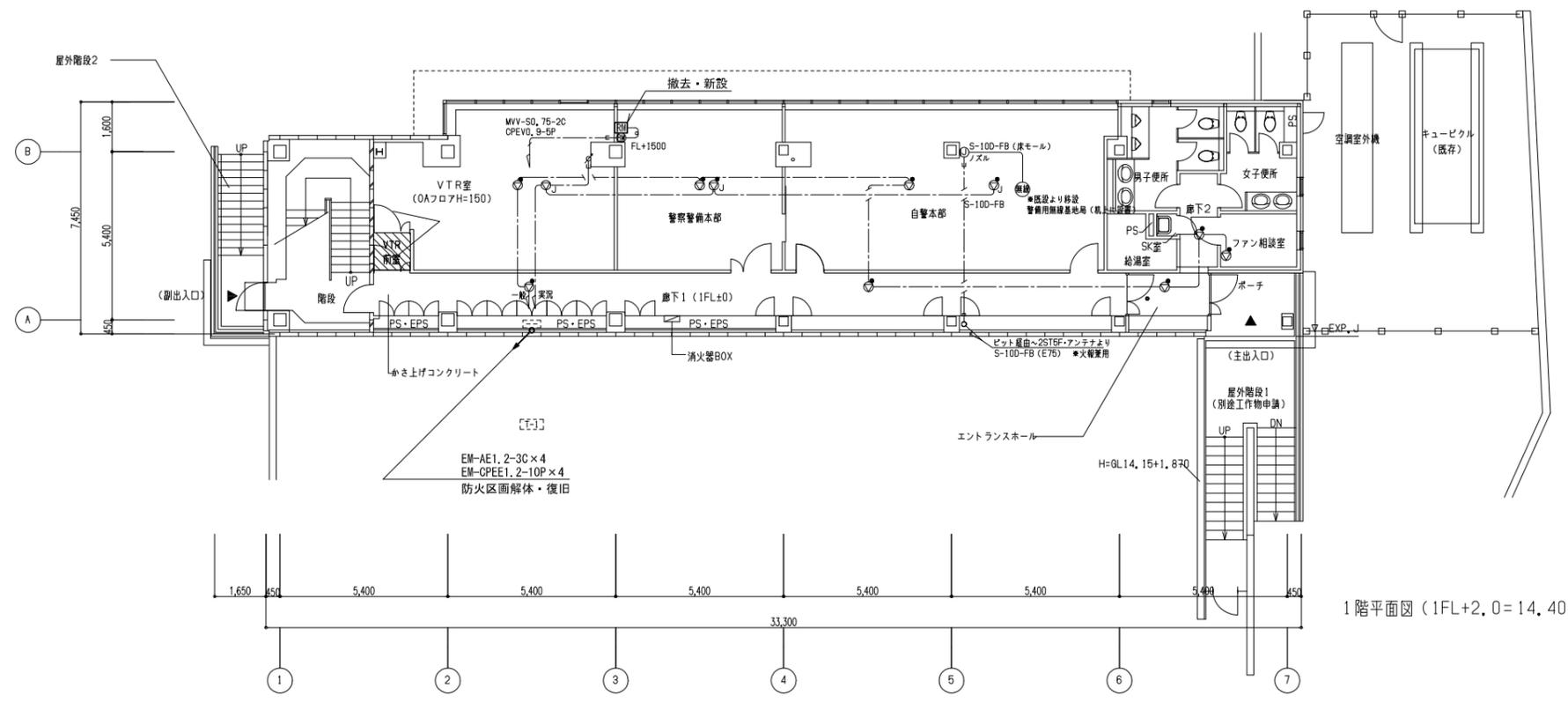
注記
1. 図中、太線は新設を示し、細線は既設を示す。



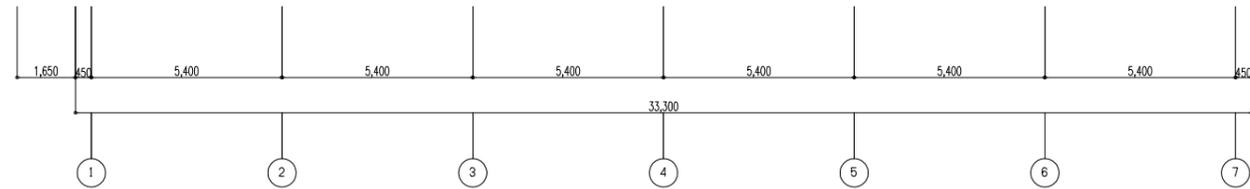
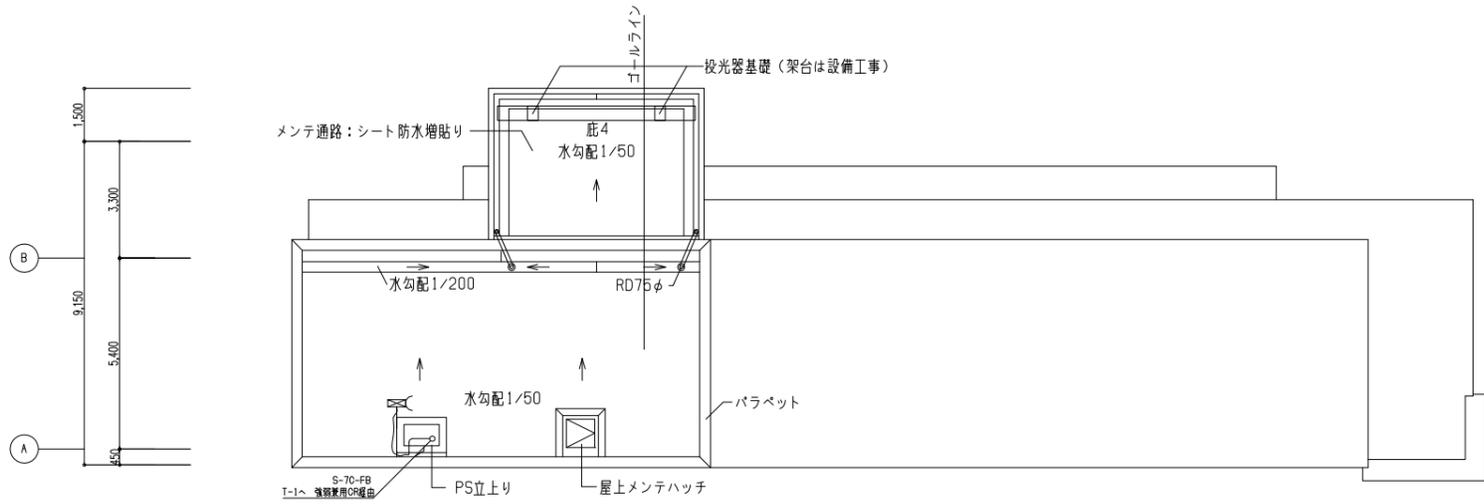
ビット平面図



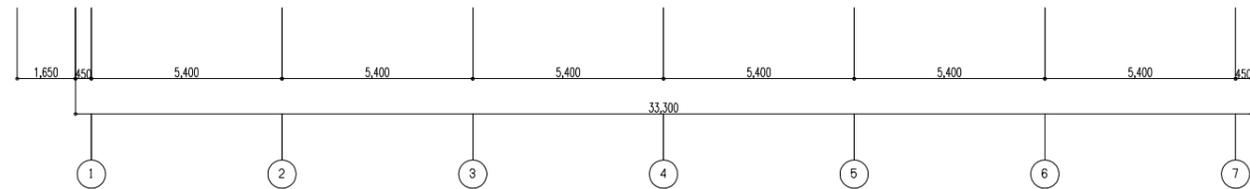
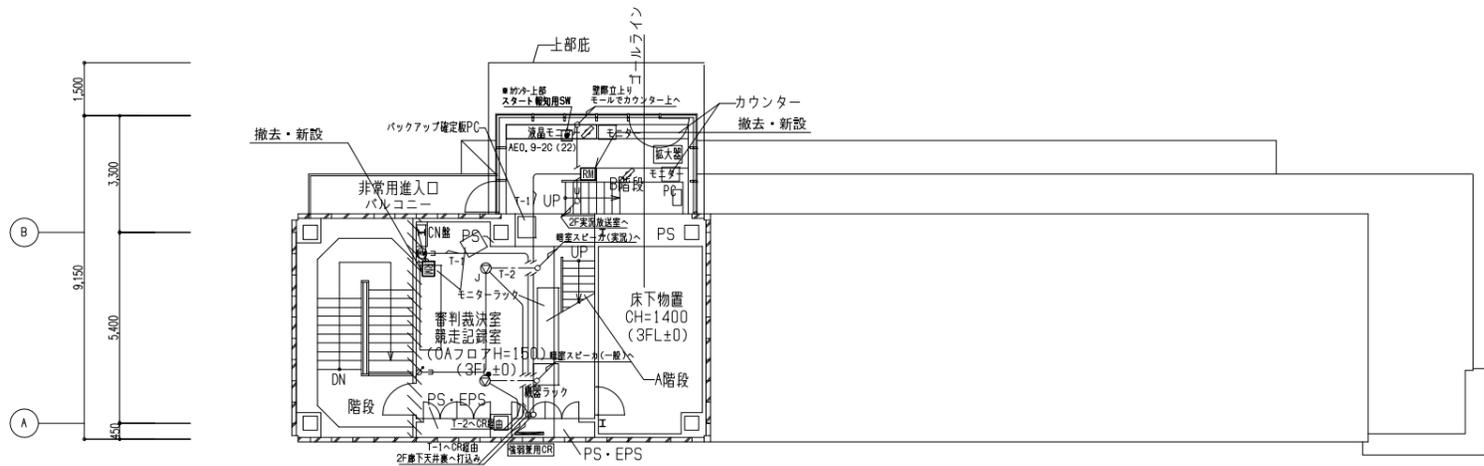
2階平面図



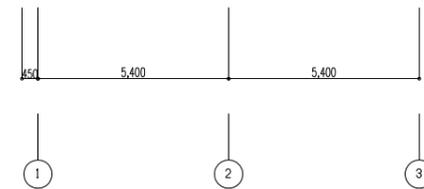
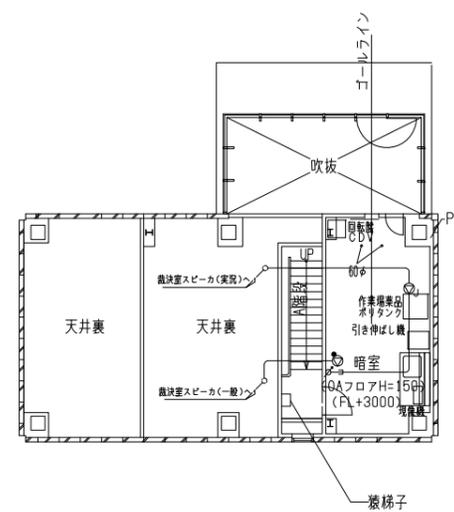
1階平面図 (1FL+2.0=14.40)



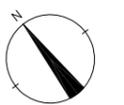
R階平面図



3階平面図 (3FL+1500)



3階平面図 (3FL+3000)



凡例

記号	名称	記	事
RS	表示器	R型副表示	
RS	中継器盤	端子付	
RS	自火報受信盤	既設	
RS	機器収容箱	埋込型 縦型	◎◎ 収容
Ⓟ	発信機	P型1級 (アドレス方式)	フラット型表示灯付
Ⓟ	地区音響装置	DC24V 8mA ダイオード内蔵	
Ω	終端抵抗	地区音響用 10Ω	
Ⓜ	光電式スポット型感知器		特記参照
Ⓜ	光電式スポット型感知器	側面点検BOX付	特記参照
Ⓜ	定温式スポット型感知器	防水型	特記参照
ELV	E L V 制御盤	E L V 工事	
---	配管配線	天井いんべい	
---	配管配線	ケーブル線	
---	配管配線	地中埋設	
---	配管配線	立上り、引下げ、素通し	
---	マンホール	構内交換設備工事	
---	ブルボックス		
---	警戒区域境界線		
Ⓜ	警戒区域番号		No. 1 ~ 6
Ⓜ	発信機番号		No. 1 ~ 4
Ⓜ	N2区域番号 (将来)		No. 1

特記

- 1) 本工事は増築に伴う設備工事とする。
 - 2) 本工事の全回線は、北門警備室既設総合受信器盤に収容接続する。
また、既設総合受信器盤の表示器を2階保守員室に設置する。
 - 3) 総合受信器盤の本工事分表示内訳は下記のとおり (参考)。
・火災受信盤
- | 内容 | 回線 | アドレス |
|-----------------|-------|---------|
| アドレス付発信機 | 4 L | 4 A D |
| 自動試験機能付感知器 | 4 4 L | 4 4 A D |
| ベル鳴動用 | 1 L | 1 A D |
| E L V 制御盤移報用 | 1 L | 1 A D |
| N 2 制御盤移報用 (将来) | 1 L | |
| N 2 警報 (将来) | 1 L | 2 A D |
| N 2 起動 (将来) | 1 L | |
| N 2 放出 (将来) | 1 L | |
| N 2 電路異常 (将来) | 1 L | |
| N 2 手動中 (将来) | 1 L | 1 A D |
| S C 1 作動・故障表示 | 4 L | |
| 今 回 合 計 | 6 0 L | 5 3 A D |
- 4) 中継器 1 個あたりの仕様は下記の通り。
・発信機 (アドレス方式) : 1 回線 / 1 アドレス
・自動試験機能付感知器 : 1 回線 / 1 アドレス
・ベル用中継器 (自動試験機能付) : 1 回線 / 1 アドレス
・監視用中継器 : 4 回線 / 1 アドレス
 - 5) 中継器盤内には、階ごとかつ一定エリア以下ごとに短絡部切離用中継器 (ショートサーキットアイソレータ) を設け、主信号線及び制御線短絡時に設備全体に波及しないよう切り離しを行うものとする。
 - 6) Ⓜ、Ⓜ の仕様は下記の通り。
・型式 - 光電アナログ式スポット型感知器
・自動試験機能付
・自動汚れ感度補正機能付
・発報レベル
 - 煙濃度 5.2% / m : 注意表示
 - 煙濃度 10% / m : 火災表示 (2 種相当)
 - ※ 5.2% / m ~ 17% / m の範囲内で火災感度変更が可能
 - 煙濃度 17% / m : 防排煙設備連動 (3 種相当)
- ・イオン領域検出型

- 7) Ⓜ の仕様は下記の通り。
・型式 - 熱アナログ式スポット型感知器
・自動試験機能付
・発報レベル
 - 55℃ : 注意表示
 - 65℃ : 火災表示 (特種相当)
 - ※ 45℃ ~ 85℃ の範囲内で感度変更が可能
 - 8) 地区警報は一斉鳴動方式とする。
 - 9) 防災監視盤より下記の設備盤へ移報を行う。(現地にて無電圧・有電圧の確認をすること)
- | 設備盤名称 | 信号種別 | 点数 | 経由 |
|--------------|--------|----|------|
| E L V 制御盤 | 火災一括信号 | 1 | 中継器盤 |
| N 2 制御盤 (将来) | 火災一括信号 | 1 | 中継器盤 |
| 受変電 | 火災一括信号 | 1 | 中継器盤 |
| 中央監視 | 火災一括信号 | 1 | 中継器盤 |
- ※指定がある場合を除き、受信機から上記設備への移報停止が行えるものとする。
- 10) 煙感知器用点検ボックス (エレベータ昇降路用) の設置において、以下の工事区分はエレベータ工事とする。
・エレベータ連動停止用スイッチ (スイッチ、取り付け、結線、試験)
・注意喚起シール (シール、貼り付け)
 - 11) 特記なき配管配線は下記の通りとする。

自	至	配線サイズ	配管	備考
設備棟 (中継器盤)	北門警備室 (既設総合受信器盤)	EM-HP1.2-5P EM-HP1.2-10P	(FEP100)	
 - 12) 北門警備室棟受信盤 (別途工事) より受信した火災確定信号を、表示器の最寄りのRS盤から、保守員室の中央監視 iTM盤 (機械設備工事) に送る。

中継器盤点数表

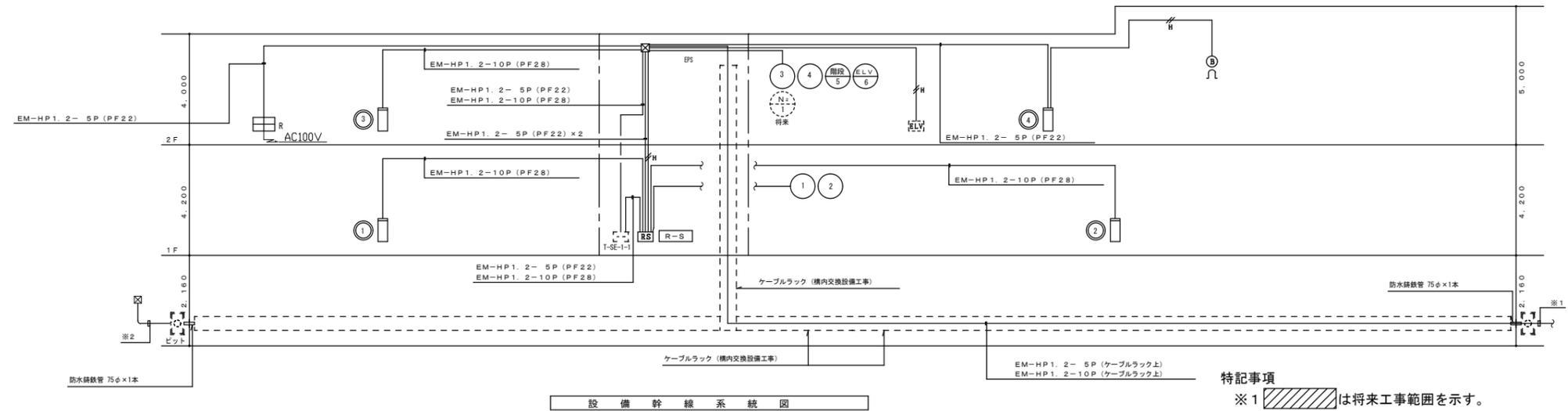
系統番号	中継器名称	機器種類	移報					中継器アドレス合計	自火報			短絡部切離用中継器 (S C 1)	制御線短絡部切離用中継器	盤寸法 (H x W x D)
			ベル	E L V 制御盤	N 2 制御盤 (将来)	N 2 制御盤 (将来)	S C 1 作動故障表示		アドレス付発信機	アナログ煙感知器	アナログ熱感知器			
*	R-S	回線数 1 F 2 F	1	1	1	5	4	2	18	10	53	1	1	900 x 500 x 160
			1	1	2	1	4	34	10					
合計		回線数合計	1	1	1	5	4	4	34	10	53	1	1	
		アドレス数合計	1	1	2	1	5	4	34	10	53	1	1	

※1 地中埋設配管配線 GL-600

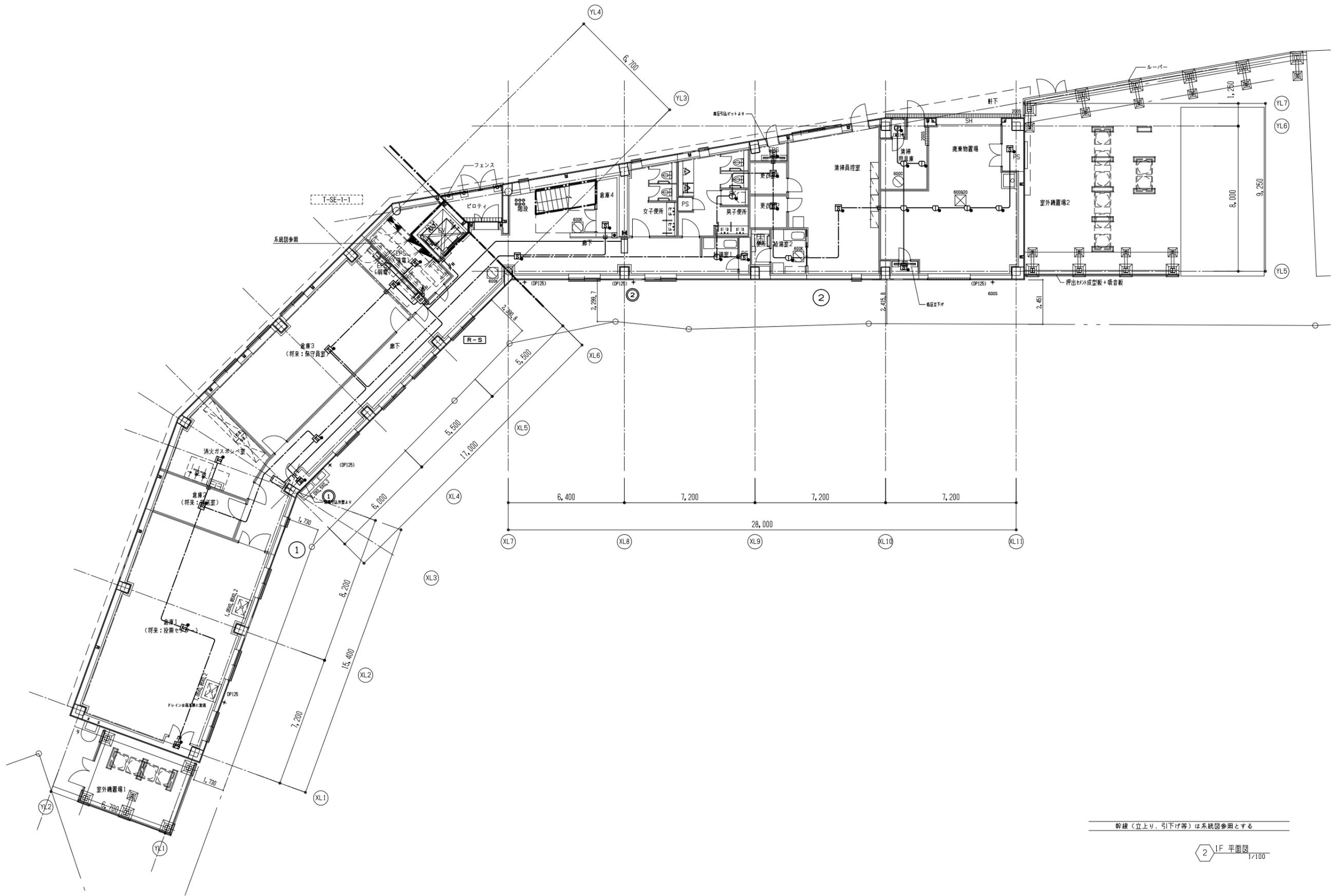
自	至	配線サイズ	配管	備考
設備棟 (中継器盤)	北門警備室 (既設総合受信器盤)	EM-HP1.2-5P EM-HP1.2-10P	(FEP100)	

※2 地中埋設配管配線 GL-600

自	至	配線サイズ	配管	備考
設備棟 (中継器盤)	※1	※1	(FEP80)	



- 特記事項
- ※1 は将来工事範囲を示す。
 - ※2 設備棟から各棟までの幹線において、配線は各棟の工事であり、配管、ハンドホールは別途工事とする。



2 1F 平面図 1/100

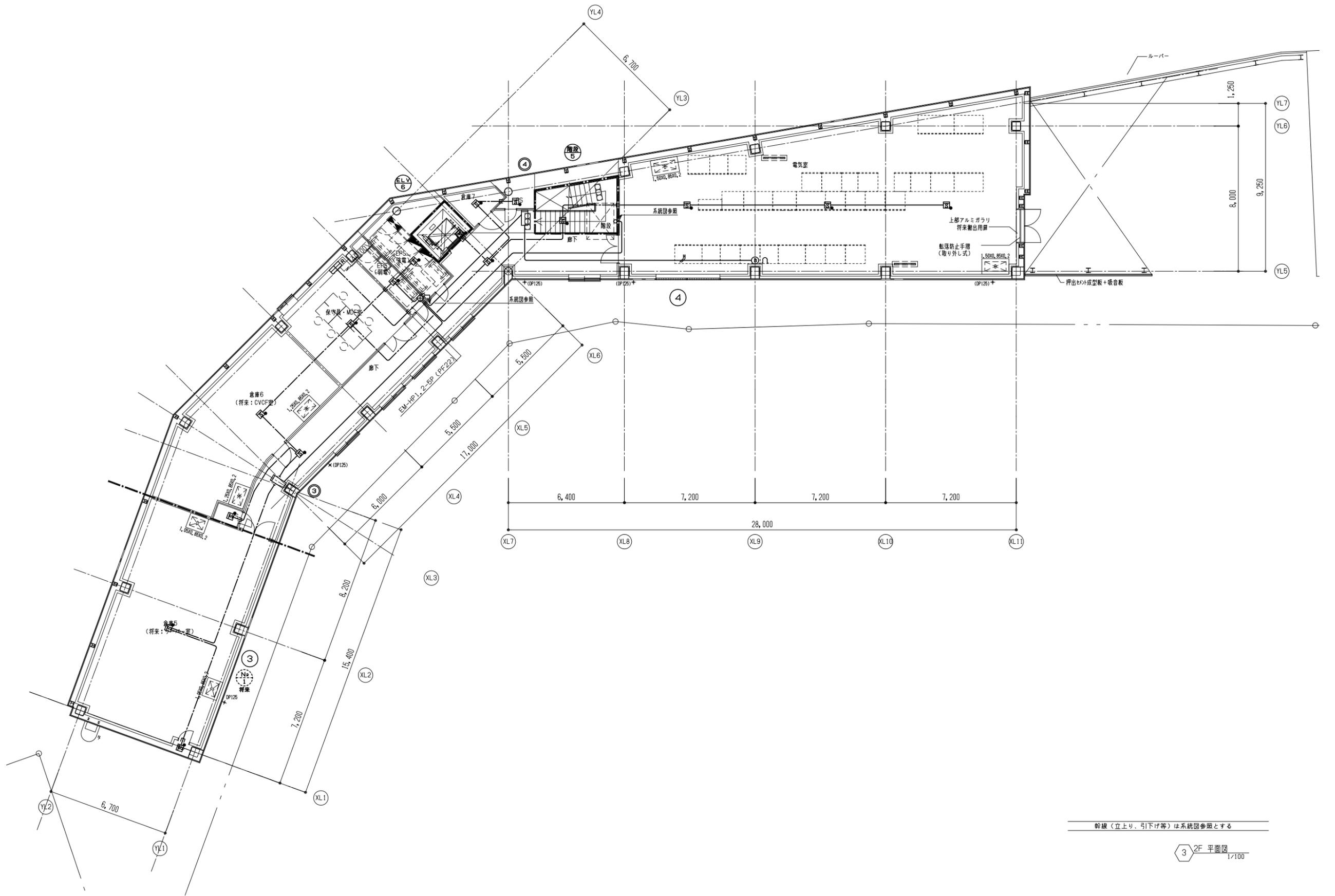
訂正	特記

埼玉県 浦和競馬組合	課長	副課長	主幹	主査	担当
	飛塚	石井	桑名	井上	桑名

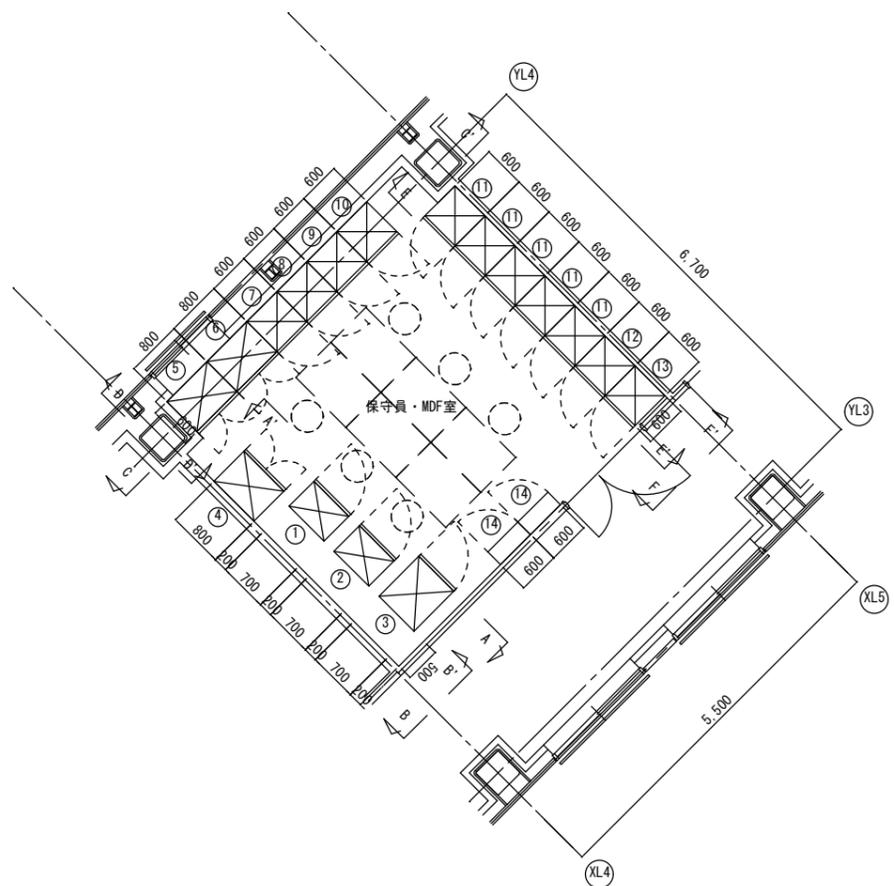
設計	設備設計1級建築士証交付(番号)第4745号 1級建築士登録第346629号 池田 謙
設計	建築設備士登録第 号
設計	建築設備士登録第 号
監査	建築設備士登録第 号
意見	建築設備士登録第 号

図面名称	自動火災報知設備 1階平面図
縮尺	A1:1/100 A3:1/200

図面番号	E-3262
区分	電気設備図



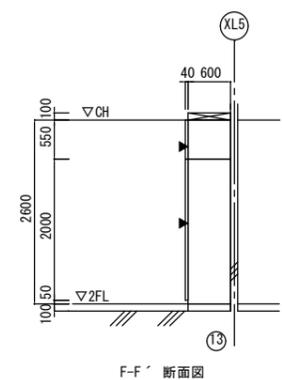
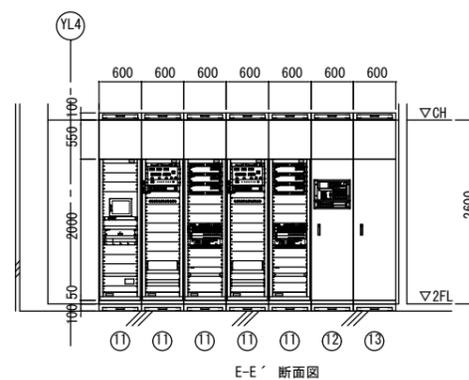
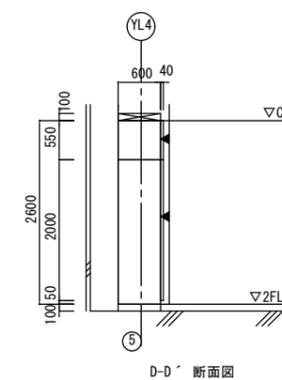
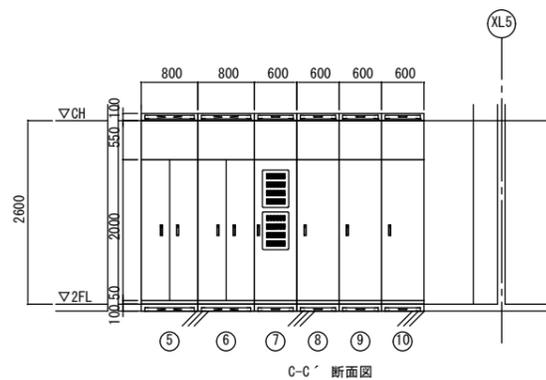
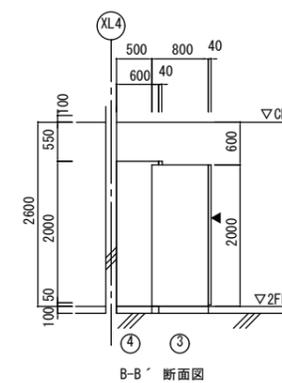
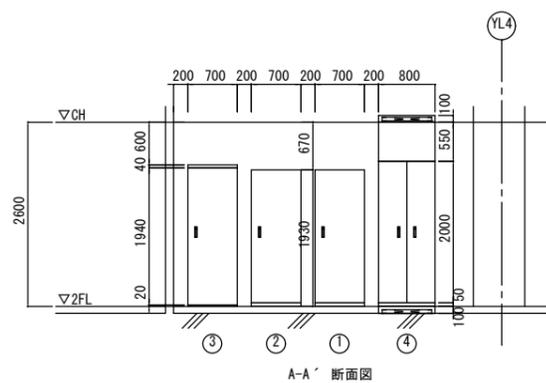
3 2F 平面図 1/100

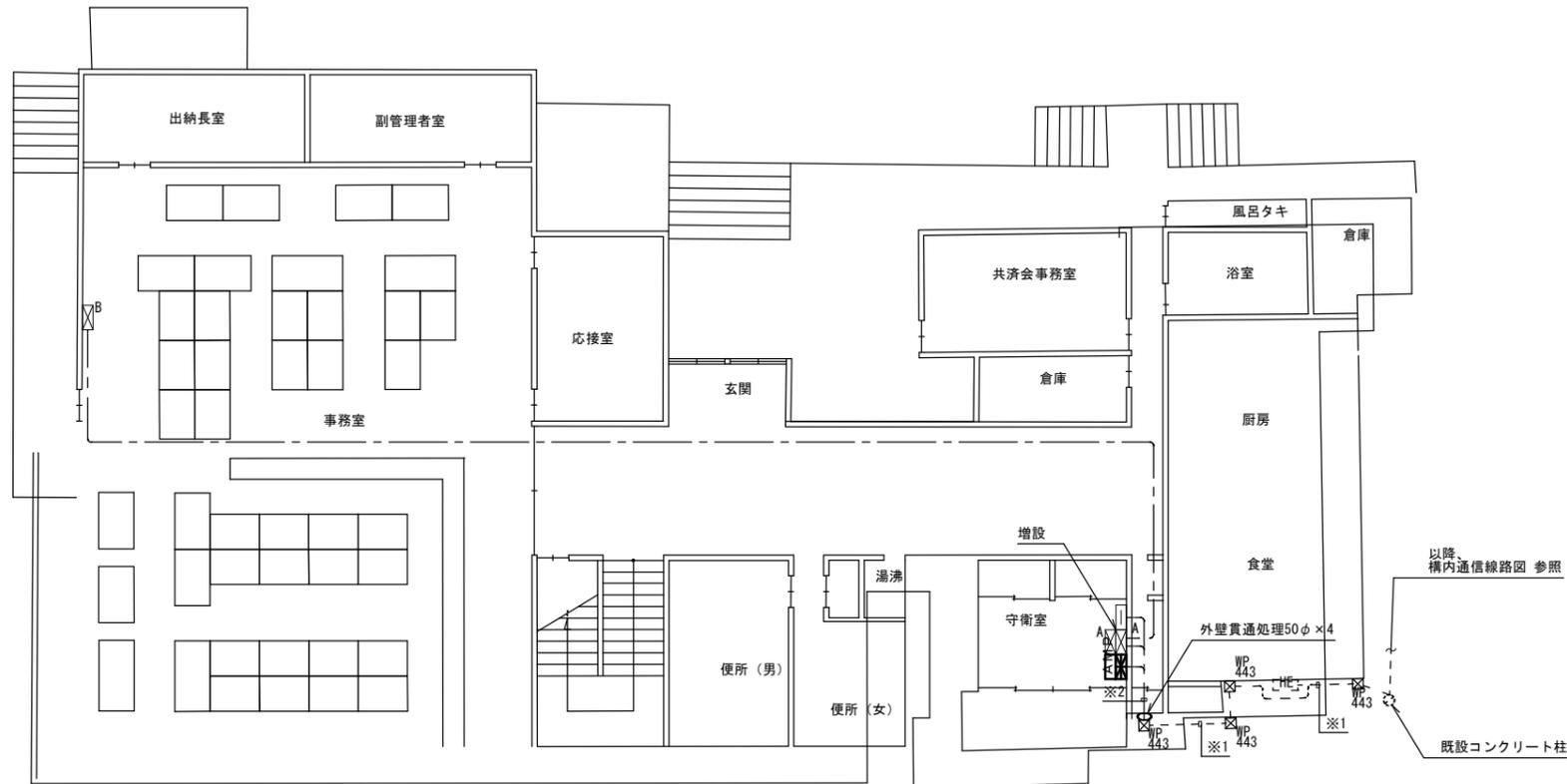


No.	名称	備考
①	電源装置 (PBX用)	
②	PBX	
③	19インチラック	
④	MDF-1	
⑤	MDF-2	
⑥	MDF-3	
⑦	2号・3号スタンド 照明制御盤	
⑧	1号開催本部棟 照明制御盤	将来用
⑨	走路照明 照明制御盤	
⑩	ELV監視盤	
⑪	競馬中継放送架	
⑫	R型副表示器, 非常業務遠隔操作器, 誘導灯信号装置	
⑬	警報盤 (太陽光), デマンド監視装置	
⑭	中央監視設備RS盤	

注記

1. 総合盤は銅板製指定色塗装とする。形状及び寸法は全て参考とする。
2. 総合盤壁に格納荷重をかけてはならない。
函体より台座を設けて機器を固定すること。
3. 盤内には、ケーブル固定アングルを随所に設け、整線を行うこと。





凡 例

記 号	名 称	備 考
テレビ共聴設備		
□HE	ヘッドエンド	既設
入退室監視設備		
⊠A	機器収納ボックス	破線は既設
⊠B	事務室センタ装置	既設
非常放送設備		
⊠MFE	非常業務放送架	※主装置を北門警備室に変更
自動火災報知設備		
⊠FAC	自火報受信盤	※主装置を北門警備室に変更
共通		
□	弱電端子盤	既設
⊠	フルボックス	仕様は注記参照
---	天井内ケーブル配線	
----	露出配管・配線	

注 記

- 特記なき配管・配線は下記とする。
<入退室監視設備>
----- EM-UTPO. 5-4P (CAT5e)
- ケーブルころがし配線において壁の貫通及び引下げ等は、配管にて保護すること。
- 屋外露出部の配管は厚鋼電線管とし、ボックス共溶融亜鉛メッキ仕上げ (Z35) とする。但し、ボルト・ナット・支持材等はSUS製とする。
- 防火区画又は防火上主要な間仕切りを貫通する場合は、関係法律に適合したもの (国土交通大臣認定工法又は配管突出 (1m以上) 及び両端口元耐火シール充填等) で貫通部に適合する延焼防止処理を施すこと。
- フルボックスの仕様は下記による。(鋼板製、E端子付)
⊠221 (傍配無しは 221 とする。)
┌ 高さ寸法: 100
├ よこ寸法: 200
└ たて寸法: 200
(傍記 WP は屋外型、溶融亜鉛メッキ仕上げとする)

※ 1 露出配管配線

自	至	配線サイズ	配管	備考
設備棟 (PBX)	既設組合事務所 (既設端子盤)	EM-EBT0. 5-20P	(G22)	構内交換設備
設備棟 (T-SE-1-1)	既設組合事務所 (既設端子盤)	EM-G150/125-8C	(G22)	構内情報通信網設備
設備棟 (T-SE-2-1)	既設組合事務所 (既設HE)	S-10C-HFL	(G22)	テレビ共同受信設備
既設組合事務所	3号スタンドテレビ室 (既設端子盤)	S-10C-HFL	(G22)	競馬中継テレビ設備
3号スタンド テレビ室 ~ 設備棟	既設組合事務所	S-10C-HFL	-	競馬中継用テレビ設備
設備棟 (収納ボックス)	既設組合事務所 (既設収納ボックス)	EM-G150/125-2C	(G22)	入退室監視設備

※ 2

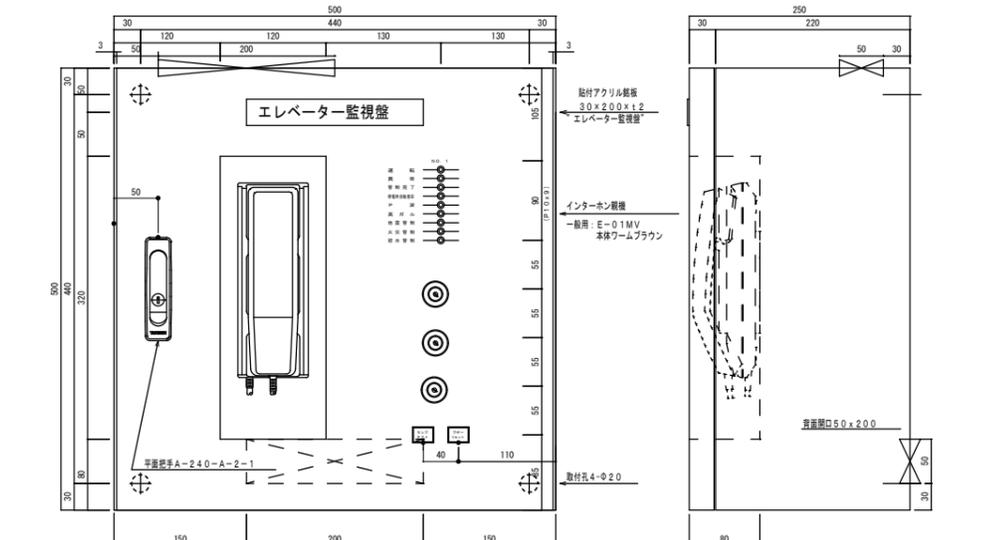
自	至	配線サイズ	配管	備考
設備棟 (PBX)	既設組合事務所 (既設端子盤)	EM-EBT0. 5-20P	-	構内交換設備
設備棟 (T-SE-1-1)	既設組合事務所 (既設端子盤)	EM-G150/125-8C	-	構内情報通信網設備
既設組合事務所	3号スタンドテレビ室 (既設端子盤)	S-10C-HFL	-	競馬中継テレビ設備
3号スタンド テレビ室 ~ 設備棟	既設組合事務所	S-10C-HFL	-	競馬中継用テレビ設備
設備棟 (収納ボックス)	既設組合事務所 (既設収納ボックス)	EM-G150/125-2C	-	入退室監視設備

特記事項

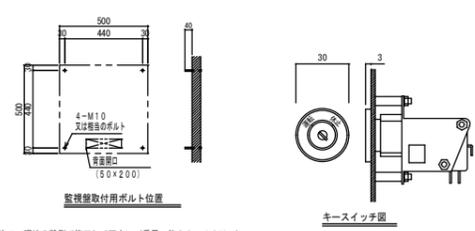
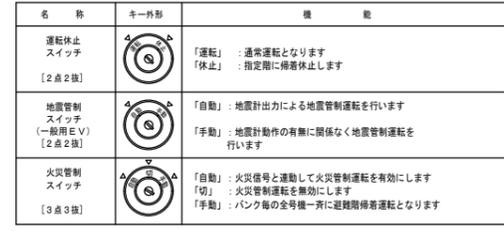
※ 1 は将来工事範囲を示す。

仕様項目	No.1
機種	機械室レスエレベーター
用途	乗用
制御方式	可変電圧可変周波数制御（回生なし）
操作方式	乗合全自動方式（1C-2BC）
積載量	600kg
定員	9名
定積速度	60m/min
戸閉方式	2枚戸両引き（CO）
出入口幅 JJ	800mm
出入口高さ HH	2100mm
かご室サイズ（内法開口 AA）	1400mm
かご室サイズ（内法奥行 BB）	1100mm
かご室内高さ	2300mm
出入口方式	一方出入口
正面制停止数	2停止（1-2階）
動力用電源	AC-GC3φ-200V-50Hz
照明用電源	AC-GC1φ-100V-50Hz
耐震設計施工指針耐震クラス	クラスA14
数値間隔	10mm
地震時管制運転方式	P波+S波センサー3段設置（普通級）
停電時自動着床装置（MELD）	あり
乗場三方枠	大枠実成幕なし 130mm~350mm ステンレスヘアライン（1-2階）
乗場戸	鋼板塗装（メーカー標準色）（1-2階）
乗場数	アルミ製（1-2階）
乗場インジケータ	一体セグメントLED（緑色） ステンレスヘアライン（1-2階）
乗場インジケータタイプ	ステンレスクリックボタン（φ33・凸文字・黄緑色LED）抗ウイルス・抗菌コート（1-2階）
乗場ボタンタイプ（非接触式タッチレスボタン）	フラット文字・白色LED（1-2階）
乗場インジ表示灯1	休止表示
乗場休止スイッチ	あり
乗場休止スイッチ取付位置	乗場インジ組込
天井	CL2：ダウンライト（白色） 天井素材：化粧鋼板
正面壁	化粧鋼板
側面壁	化粧鋼板
袖壁材質	ステンレスヘアライン
出入口上板	化粧鋼板
かご室戸	化粧鋼板
巾木	ステンレスヘアライン
かご床	樹脂タイル2mm エレベーター工事
かご室数階	アルミ製 2枚戸両引き用
かご操作盤タイプ	袖壁操作盤
かご操作盤フェースプレート材質	ステンレスヘアライン
かごボタン	ステンレスクリックボタン（φ33・凸文字・黄緑色LED）抗ウイルス・抗菌コート
かごボタンタイプ（非接触式タッチレスボタン）	フラット文字・白色LED
正操作盤インジケータタイプ	かご内液晶インジケータ（10.1インチ）
かご操作盤液晶インジケータ表示言語	平常時：（日英）、注意喚起（日英/中韓切替）、緊急時：（日英/中韓）
かご室換気	ヘルスエア（空気中のウイルス・菌の抑制、脱臭、集塵機能）
壁保護膜	磁石式（保護高さ標準：床面より上端まで1895mm）
床保護マット	あり
気配りドアセンサ	あり
セーフティシュー	片側（マルチビームドアセンサー付き）
センシングドアシステム（TOFセンサ）	タッチレス戸閉促進・乗場前後検知防止
遠隔機能	ディフェンスタ 2枚戸両引き用（1-2階）
点字名板取付方法	なし
おもり非常止め	なし
火災時管制運転方式	火報信号連動式
冠水時管制運転	あり
インターホン型式	6V1局
乗場インターホンボックスタイプ	鋼板塗装（埋込み形）
かご内アナウンス	かご内4ヵ所周回アナウンス（通常時：日英、緊急時：日英/中韓）
かご室スピーカー	あり
スピーカーON-OFFスイッチ	あり（開戸設置）
高誤差対策種類	DCリアクトル（Ki=1.8）
フェニチャープレート	エレベーター手配（標準品）
レール支持方式	1フロア1ブラケット
煙感知器点検口スイッチ	正面扉上部取付【標準】
仮設動力電源	1式
戸開走行保護装置	国土交通大臣認定品

昇降機設備工事区分		建築工事	電気工事	その他設備工事	昇降機工事	備考
建築	1	昇降路の堅造工事及び各階出入口、インジケータ、押ボタン等の穴あけ工事 (昇降路は5cm ² 通り300Nの外力が作用した時に15mmを超える変形及び塑性変形が生じない構造とすること)	○			
	2	鉄骨構造階のフラスケー、立柱及び中間ビーム（必要の場合）並びにシキイ受材の設置工事	○			
	3	鉄骨構造階の三方枠、インジケータ、押ボタン、ハンガース等の取付用鋼材設置工事	○			
	4	各階乗場出入口枠周囲のモルタル詰め工事	○			
	5	乗場機器取付後の出入口廻りの壁及び床の仕上げ工事				○
	6	通過階がある場合の非常口設置工事（自動閉鎖かつ自動施錠付、巾：750以上×高さ：1200以上）	○			
	7	ビツ内防水仕上げ工事				○
	8	ビツ内タラップ設置工事	○			
	9	ビツ内点検口設置工事（ビツ深さが3000を超える場合） (自動閉鎖かつ自動施錠付、巾：750以上×高さ：1200以上)	○			
	10	ビツ床下部使用の場合の建築対策工事	○			
	11	ビツが深い場合の床の戻し工事	○			
	12	昇降路頂部にエレベーター機器搬入用のフック又はビームの設置工事（20kN）/台	○			
	13	機器搬入口の仮設及び復旧工事	○			
	14	その他建築に関する工事	○			
設備	1	動力用電源・照明電源・接地線の昇降路受電端子迄の引込工事（壁ぎ込み工事含む）		○		
	2	インターホン取付位置より昇降路までの配管配線工事（0.9φ×10本）/台		○		
	3	火報信号の昇降路より外部の配管配線工事		○		
	4	遮断ドア採用の場合、遮断ドア設置階乗場ロビーに火災感知器または、煙感知器の設置工事		○		
	5	エレベーターの遠隔管理用配管・配線工事（昇降路内から最寄りの電話中継室まで）		○		
	6	ビツ内点検用コンセント設置工事（照明用AC-GC100Vとは別系統のこと）		○		
	7	昇降路頂部の煙感知器設置工事（外部より点検可能なこと） 平成20年国土交通省告示第1454号第一号により点検口の戸は錠付（工具を必要とするネジでも可）とし 戸が開いた時にはエレベーターを停止させる必要がある		○		
	8	かご内TVカメラ用配管配線工事（昇降路からモニター設置場所まで）・5C-2V同軸ケーブル		○		
	9	放送用配管線の昇降路制御室までの引込工事（非常放送がある場合3線式とすること）		○		
	10	昇降機設備監視盤製作				○
	11	昇降機監視盤用電源の監視盤までの引込工事		○		
	12	監視盤取付位置より昇降路までの配管配線工事（0.9φ× 本）/台		○		
	13	停電時電源識別接点の監視盤までの引込工事		○		
	14	昇降路の換気設備工事・発熱量 エレベーター駆動部（ W/1台）+エアコン（ -W/1台） （平成12年建設省告示第1413号第一号により昇降路内温度を40℃以下に保つ必要があり）	○			
注意	1	昇降路開口・奥行き寸法、昇降路全域（ビツ底部から昇降路頂部まで）にわたり確保のこと	○			
	2	コンクリート強度は21N/mm ² 以上のこと	○			
	3	電源電圧の変動は+5%~-10%以内、電圧不平衡率5%以内のこと		○		
	4	本エレベーター所定の性能維持のため下記条件が必要です (1) 昇降路内の温度は-5℃~40℃以内、湿度は月平均90%・日平均95%未満 かつ急激な温度変化等により水結・結露しないこと (2) 金属を消耗または腐食したり接点の接触障害の原因となるような塵及び化学的有害ガスがないこと		○		
	5	屋上等直接外気と接する乗場における雨水よけ設備（ひしし・風除室・水勾配・グレーチング・防落板等）		○		
	6	昇降路壁には電気・水道管の配管・器具を埋め込まないこと		○		
	7	昇降路内には他の用途の配管・ダクト等が露出ないように願います（建築基準法施行令第129条の2の4第1項第三号）		○		
	8	遮断器はインバータ回線対応のものを使用すること				
	9	輸送可能な積載積重や車などの重運物は概ね250kg以下とする 配積車対応仕様とした場合は積載量の1/2（最大500kg）まで対応できます			○	
	10	換気設備を設置する場合は昇降路外部より保守可能な位置とし、設置環境により雨水或いは、防水対策を実施のこと			○	
	11	エレベーターの保守・点検ならびに緊急対応のため、外部階段などから最上階および最下階エレベーターホールへアクセスできる経路を確保すること（個人宅など占有部を經由しないこと）			○	
	12	エレベーターから発生する高周波漏洩電流と高周波ノイズにより、他の設備に影響を受ける恐れがあります。 次の対策をお勧めします。 (1) エレベーター動力と通信機器・OA機器等弱電機器の電源線・通信線を1m以上分離する。 (2) エレベーターを含む動力の電源トランスと通信機器・OA機器等弱電機器の電源トランスを分離する。 (3) エレベーターを含む機器アース線と通信機器・OA機器等弱電機器のアース線の分岐配線と接地極の分離をす。				○
	13	乗場壁へウレタン吹付けを行う場合は、乗場機器取付後に施工願います。 乗場機器取付け前にウレタン吹付けを行うと、乗場機器取付け時の溶接の火花に引火する恐れがあります。				○
	14	乗場に向かって強風が吹く場合には、防風対策（建築工事）を行って下さい。 風圧により乗場の戸が閉まらない恐れがあります。				○
15	施工作業時間条件：月曜日～土曜日 8：00～17：00				○	

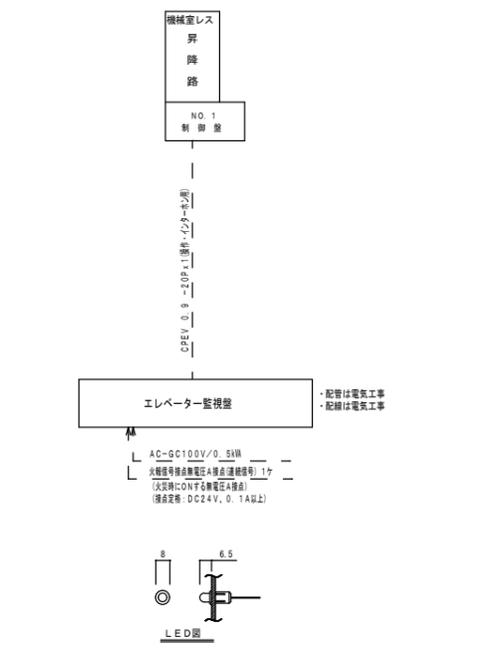


名称	種類	機能
運転灯	発光ダイオード φ5 緑色	カゴが運転可能なとき点灯します
異常灯	発光ダイオード φ5 赤色	安全装置が作動した場合、戸を開かない場合等によりカゴが再起動不能の場合点灯します
管制完了灯	発光ダイオード φ5 赤色	管制運転において、カゴが指定階に着床し戸が全開するとき点灯します
停電時自動着床灯	発光ダイオード φ5 赤色	停電時自動着床電源供給時点灯、停電時自動着床電源遮断時消灯します
P波灯	発光ダイオード φ5 赤色	P波感知器（初期発動）が作動したとき点灯します
高ガル灯	発光ダイオード φ5 赤色	S波感知器で高ガルを感知したとき点灯します
地震管制灯	発光ダイオード φ5 赤色	P波感知器またはS波感知器が作動したとき点灯します
火災管制灯	発光ダイオード φ5 赤色	火災管制運転に切り換ったときに点灯します
冠水管制灯	発光ダイオード φ5 赤色	冠水管制運転に切り換ったときに点灯します
キースイッチ	三菱電機製	#900
ランプテスト	I D E C	各表示灯の球切れをチェックします
ブザーリセット	I D E C	ブザーが鳴っている時に押しとブザーが鳴り止め、異常灯は復旧するまで点灯します
インターホン	N I C 製 D C 6 V	各エレベーターのカゴとの連絡用に設けてあります



（▽はキーの接点位置を示す）

注1. 現場の壁等で施工して下さい（重量 約3~40Kg）
（建設工事）
注2. ホールアンカーが打てる時はELV工事



1	筐体部：鋼板製 t 1.6 指定色焼付塗装仕上
2	筐体指定色：
3	表面部：文字・ラインはシルク印刷とする
4	シルク印刷仕様：書体 和 文=丸ゴシック体 英数字=丸ゴシック体 大きさ：表示部：5mm、操作部4mm ライン）0.5mm 色）
5	使用LED：丸型 MD-510シリーズ（押野電気） LED表示色：緑） 運転灯 赤） 上記以外の全て
6	操作部：ランプテスト、ブザーリセット 押印スイッチはLB3シリーズ（I D E C） レンズ透明、記名板乳白、本体黒色
7	表示灯電源：DC24Vエレベーター監視盤構成
8	操作電源：DC24V又は48Vエレベーター側構成
9	インターホン電源：DC6Vエレベーター側構成
10	入力電源：AC-GC100V
11	ELV：全号機バラレル伝送とする
12	機械室レスのインターホンはカゴのみとする
13	表示灯バックアップ用のUPS（電源装置）は内蔵しません

株式会社 日本設計

納品図書

訂正

特記

地玉集
浦和競馬組合

課長	副参事	主幹	主査	担当
飛塚	石井	桑名	井上	桑名

設計 設備設計1級建築士証交付（番号）第 4745 号
1級建築士登録 第 346629 号 池田 靖
設計 建築設備士登録 第 号
設計 建築設備士登録 第 号
法定合 建築設備士登録 第 号
意見 建築設備士登録 第 号

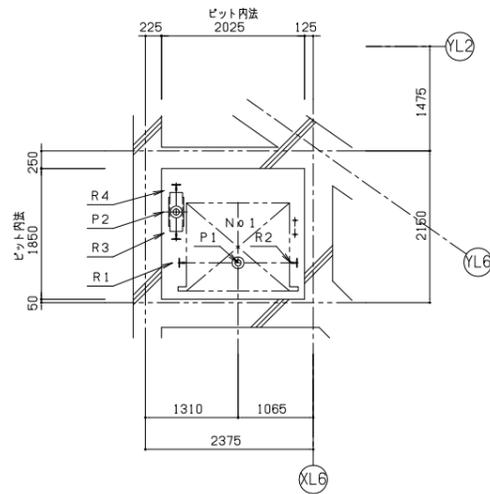
浦和競馬場設備機電設備工事

図面名称 昇降機設備詳細図-1（仕様書）

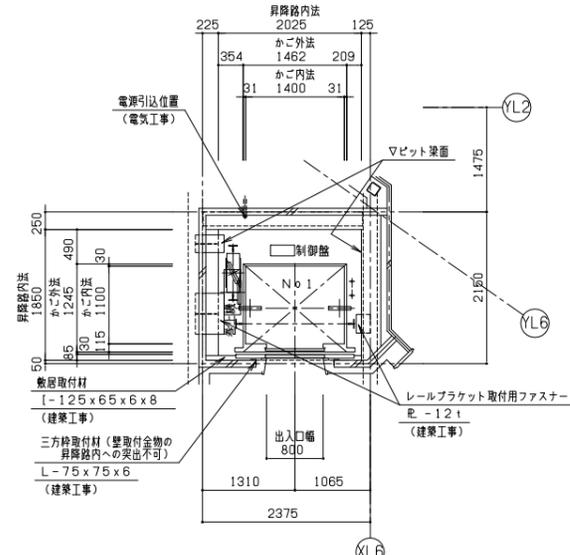
縮尺 NO SCALE

図面番号 E-3281

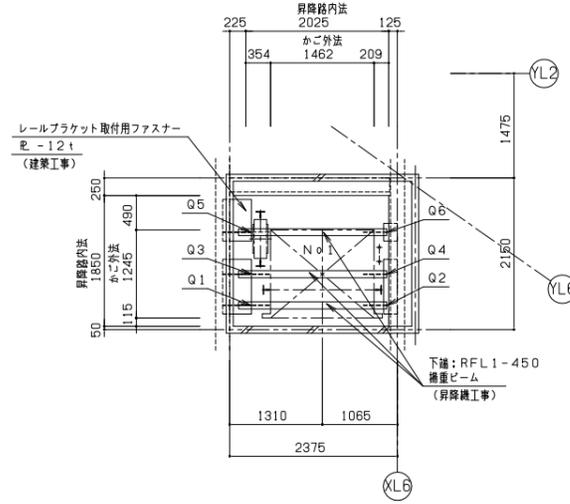
区分 電気設備図



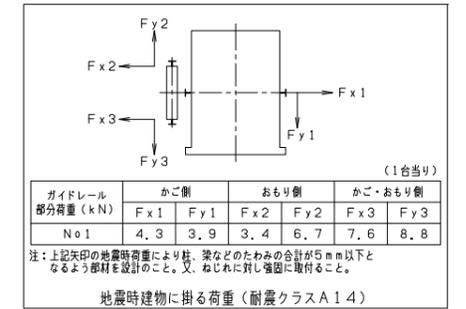
No.1
ピット平面図 (1/50)
(1FL-1250)



No.1
昇降路平面図 (1/50)
(1, 2FL)



No.1
昇降路頂部平面図 (1/50)
(RFL1)



ガイドレール部分荷重 (kN)						
ガイドレール部分荷重 (kN)	かご側		おもり側		かご・おもり側	
	Fx1	Fy1	Fx2	Fy2	Fx3	Fy3
No.1	4.3	3.9	3.4	6.7	7.6	8.8

注: 上記矢印の地震時荷重により柱、梁などのたわみの合計が5mm以下となるよう部材を設計すること。又、ぬじれに耐え強固に取付すること。

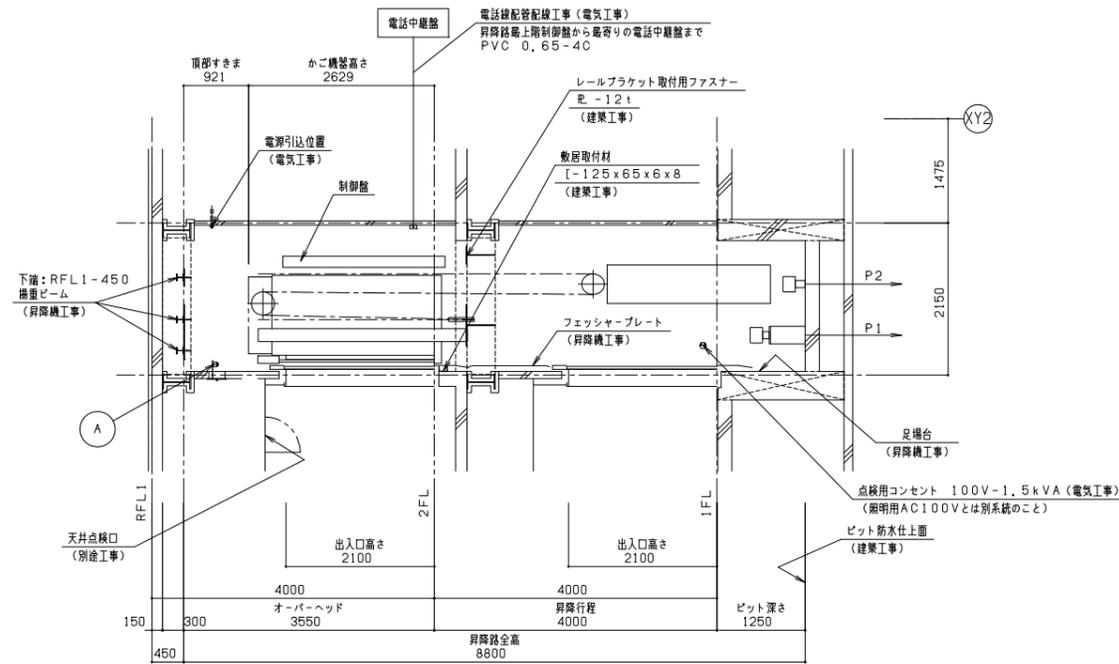
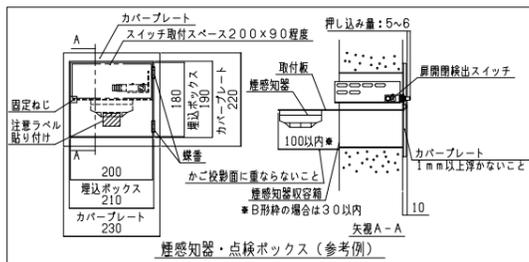
地震時建物に掛る荷重 (耐震クラスA14)

揚重ビーム荷重 (据付時)					
Q1 (kN)	Q2 (kN)	Q3 (kN)	Q4 (kN)	Q5 (kN)	Q6 (kN)
5.0	2.0	8.0	10.0	15.0	11.0

レール下部荷重 (長期荷重)			
R1 (kN)	R2 (kN)	R3 (kN)	R4 (kN)
3.6	20.2	36.1	17.2

ピット荷重 (短期荷重)	
P1 (kN)	P2 (kN)
78.1	67.0

- A 煙感知器 (電気工事)
- 外部より点検可能な構造とする
 - 雨水侵入が無い様にする
 - EV移動スイッチ付 (昇降機工事)
 - 煙感知器はかご投影面にかからない位置とする
 - 点検口は下記①または②とする
- ①EV昇降機専用用品 (スイッチ取付台座付き) (1)~(4) のいずれか
- ホーチキ KUS-1B
 - 能楽防災 FKSJ001A-HU
 - ニッタン N1D-T-G
 - パナソニック BV95351 (BOX) + BV95381H (扉)
- ②以下2項目を満足する点検口 ~ 「煙感知器・点検ボックス (参考例)」参照
- スイッチ取付スペース200x90程度確保できる。
 - 錠付または工具を必要とするネジ付きの蓋で、1mm以上浮かさないこと。



No.1
昇降路断面図 (1/50)
ブラケットスパン: 4000以下

動力電源設備 (CV-T電線使用時) (1台当り)

号機名	電源電圧周波数	電動機容量	設備容量	電源側NF容量	感度電流値 動作時間 (s)	電線サイズ	接地線サイズ
No.1	AC-GC 3φ200V 50Hz	4.1kW	4kVA	40AT	100mA以上 0.2秒以上	72mm ² 8mm ² 124mm ² 14mm ² 190mm ² 22mm ²	3.5mm ²

照明用電源AC-GC1φ100V 50Hz (設備容量1kVA 電源側NF容量20AT)

(*) 電源側に漏電遮断器を設置する場合

電源引込位置 (2FL+3150)
D種接地工事
電源引出し長さ 5000mm (電気工事)

高調波対策 (高調波流出電流計算値)

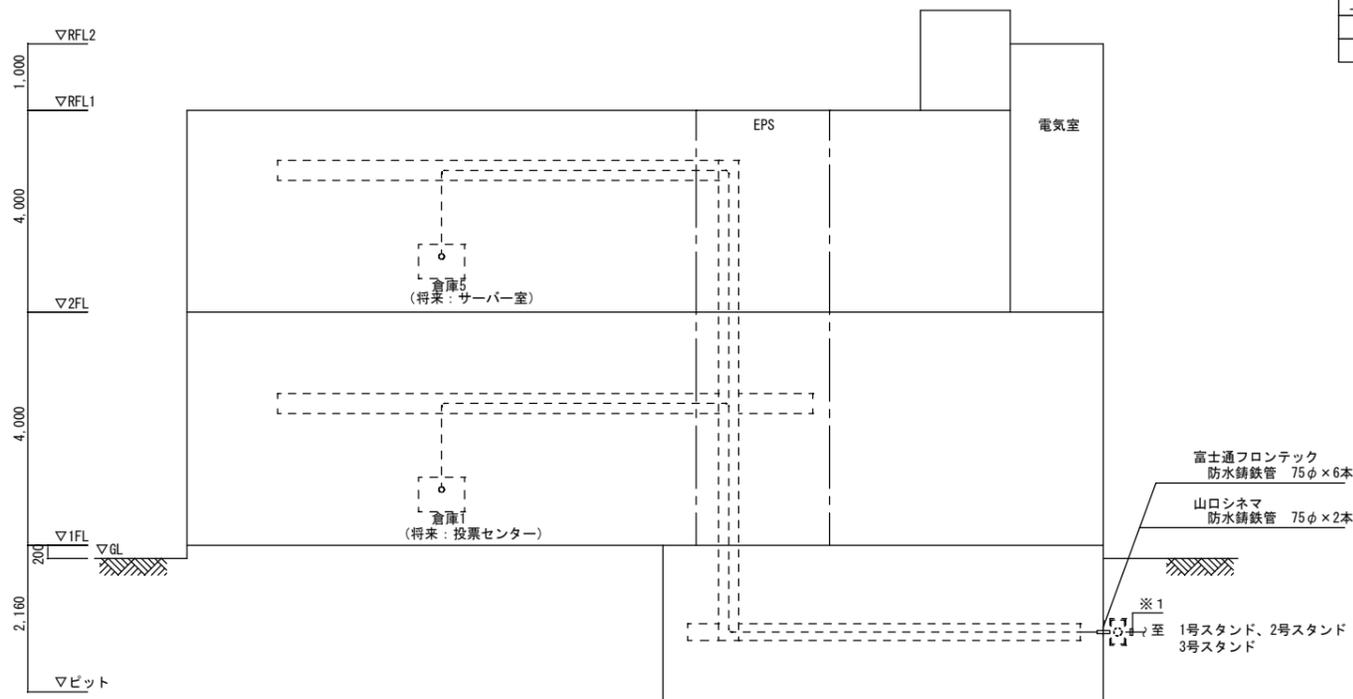
高調波対策内容	機器名称	定格容量 (kVA)	台数	合計容量 P1 (kVA)	回路分類 細分No.	6バルス 換算係数 (K1)	6バルス等価 容量 [K1xPi] (kVA)	機器最大 稼働率 (%)	基本電流に対する高調波電流発生率 In (%)							
									5次	7次	11次	13次	17次	19次	23次	25次
ノイズフィルタのみ (標準)	No.1	5.1	1	5.1	31	3.4	17.4	25	65	41	8.5	7.7	4.3	3.1	2.6	1.8
DCリアクトル追加 (Ki=1.8相当)	AXIEZ-LINKs(600kg-60m/min)				33	1.8	9.2	25	30	13	8.4	5	4.7	3.2	3	2.2

高圧または特別高圧需要家が高調波発生機器を新設、増設または更新する場合には「高圧または特別高圧で受電する需要家の高調波抑制対策ガイドライン」への適用が求められます。ガイドラインではその需要家から流出する高調波電流の上限値を定めており、超過する場合には何らかの対策を求められます。

* 各次数毎の高調波流出電流量は以下の計算により求めることができます。
各次数毎の高調波流出電流量 (mA) = $\frac{\text{合計容量 P1 (kVA)}}{\text{受電電圧 (kV)}} \times 10^3 \times \text{各次数毎の発生率 In (\%)} \times \text{機器最大稼働率 k (\%)}$

凡例

記号	名称	備考
----	ケーブルラック	構内交換設備工事
○	マンホール M3	構内交換設備工事
---	配管・配線	別途工事



※1 地中埋設配管配線 GL-600

自	至	配線サイズ	配管	備考
設備棟 (サーバー室) (投票センター)	3号スタンド (地下1階 CVCF室)	EM-G150/125-8C×4(別途工事)	(FEP100) ×3本	富士通フロンテック
		EM-CPEESO. 65-50P×6(別途工事)		
		EM-CPEESO. 65-30P×4(別途工事)		
		EM-CPEESO. 65-20P×2(別途工事)		
		EM-CPEESO. 65-10P×4(別途工事)		
		EM-CPEESO. 65-5P×1(別途工事)		
	2号スタンド (地下1階 EPS)	EM-G150/125-24C×5(別途工事)		
		EM-CPEESO. 65-50P×5(別途工事)		
		EM-G150/125-24C×5(別途工事)		
		EM-CPEESO. 65-50P×5(別途工事)		
		EM-G150/125-8C×4(別途工事)		
		EM-CPEESO. 65-50P×6(別途工事)		
1号スタンド (サーバー室)	EM-CPEESO. 65-30P×4(別途工事)			
	EM-CPEESO. 65-20P×2(別途工事)			
	EM-CPEESO. 65-10P×4(別途工事)			
	EM-CPEESO. 65-5P×1(別途工事)			
	設備棟 監視用	EM-G150/125-12C(別途工事)	(FEP100)	山ロシネマ
	設備棟 映像用 (投票センター)	EM-G150/125-12C(別途工事)		
	設備棟 RF用(各室)	EM-G150/125-4C(別途工事)		
	設備棟 映像用 (投票センター)	4E6AT×4(別途工事)		
	設備棟 予備	(EM-G150/125-12C)		
	設備棟 監視用	EM-G150/125-12C(別途工事)		
	設備棟 映像用 (投票センター)	EM-G150/125-12C(別途工事)		
	設備棟 RF用(各室)	EM-G150/125-4C(別途工事)		
設備棟 映像用 (投票センター)	4E6AT×4(別途工事)			
設備棟 予備	(EM-G150/125-12C)			